



付き合いって言ったって
そんな飲み方してたら
いつか死んじゃうわよ。

…うう、
分かって…
るよ…

ヒッ

ジャ



…もう。

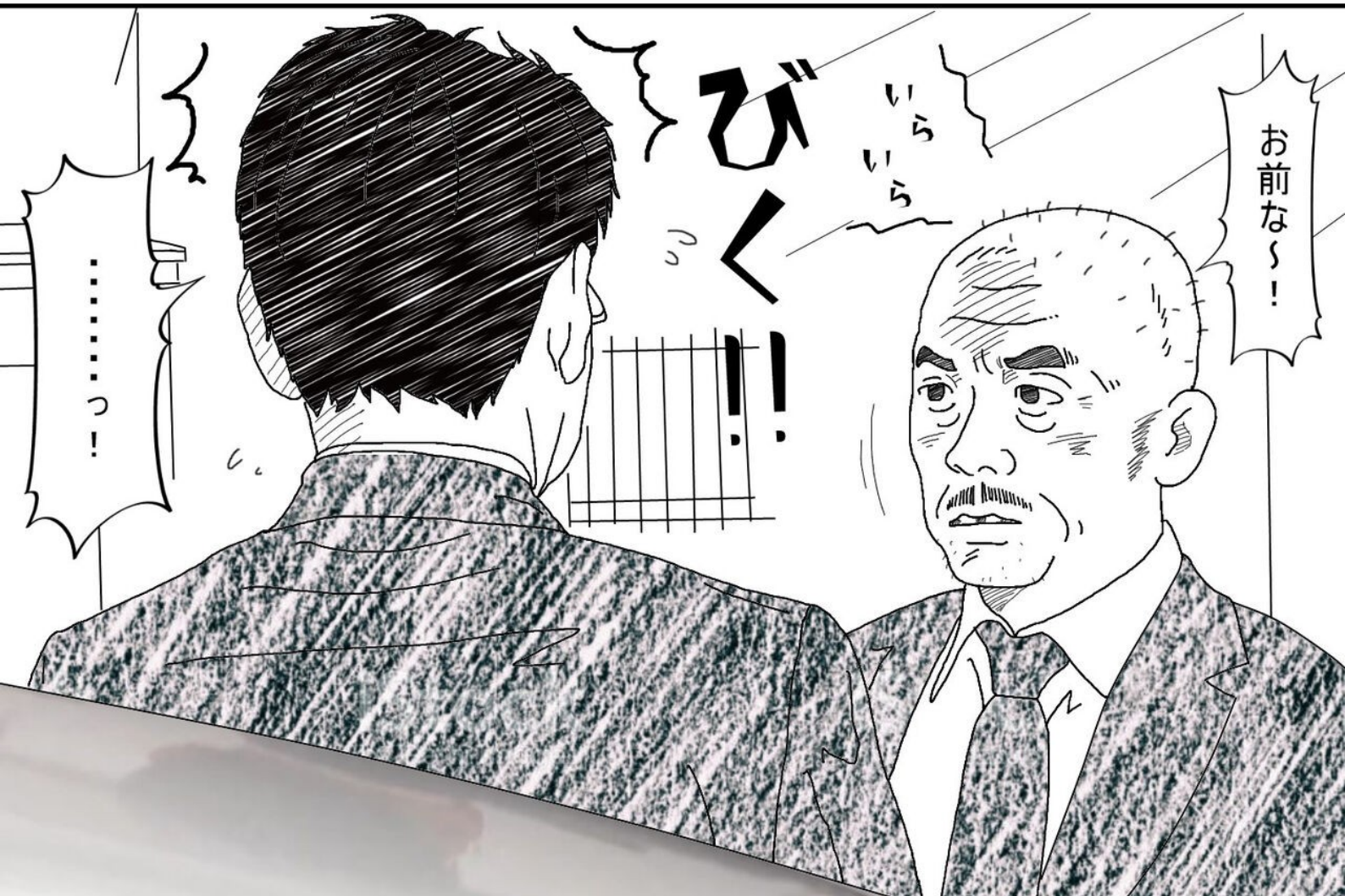
…うう。



毎回酔っぱらって
帰るのには、訳が
あった……………。

お
は
い

……………



お前な〜！

び
く
!!

……………!!



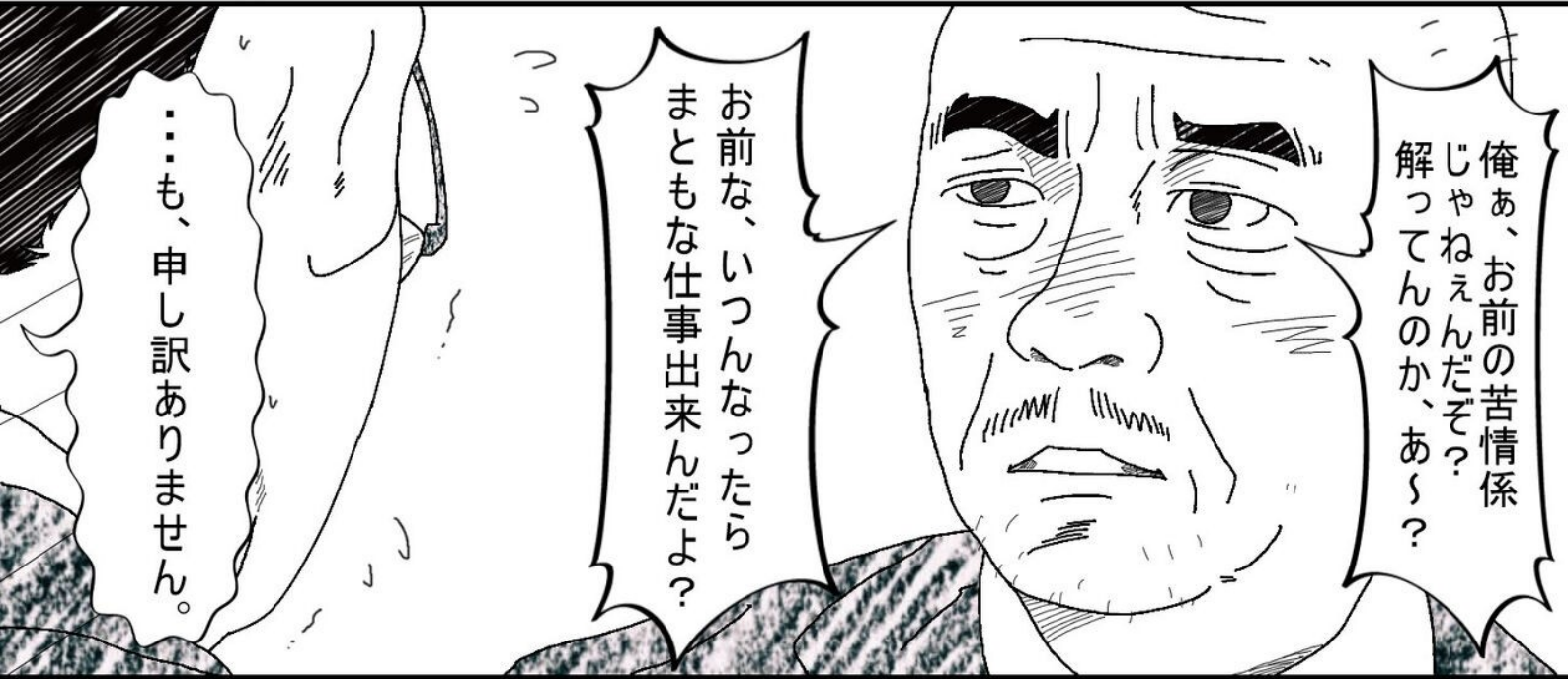
しゅ……、
しゅいません！

またやらかし
やがって……
この野郎！



うっ……！

ぎゅろ



俺あ、お前の苦情係
じゃねえんだぞ？
解ってんのか、あ？

お前な、いつんなったら
まともな仕事出来んだよ？

……も、申し訳ありません。



何で大事な連絡怠るんだよ？
大事なこったろうが！

お前、一軒家買った
んじゃねーのか？
奥さんの為に頑張ん
じゃねーのかよ？

はい……

お前今夜付き合えよ。
お前のせいでストレス
溜まっちゃったんだよ。

お供させて
頂きます。



ねえ、貴方あ…。
ほら、起きてえ。

ゆさ

ゆさ

うん…、
分かってる
って…。

うん…



ほら、立ってえ。
大丈夫？

こんな所で寝たら
風邪引くわよ。

ぶらあ

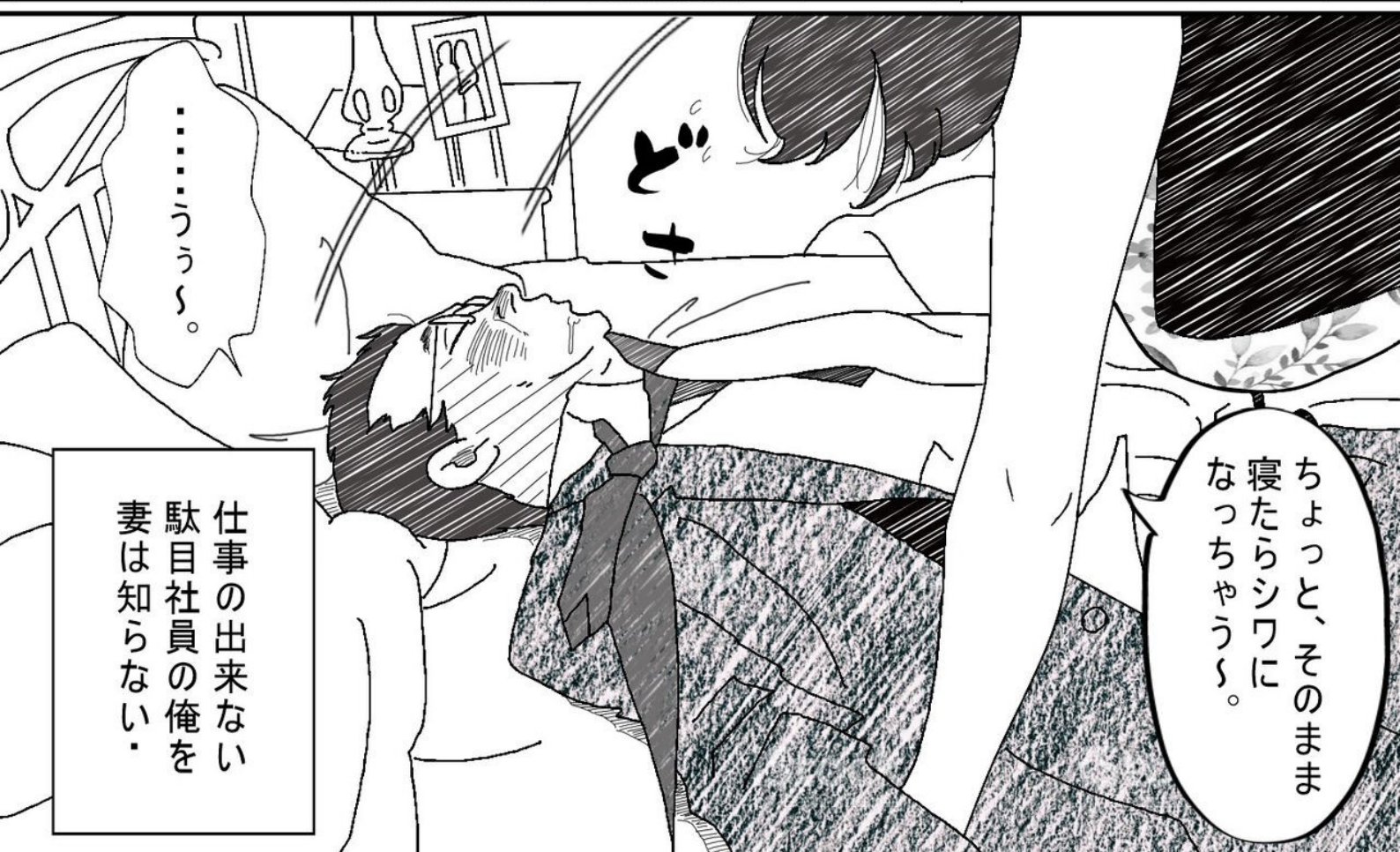
ぶら

…うん。



ほら、こっち！
ベット、ベットに
行くの！

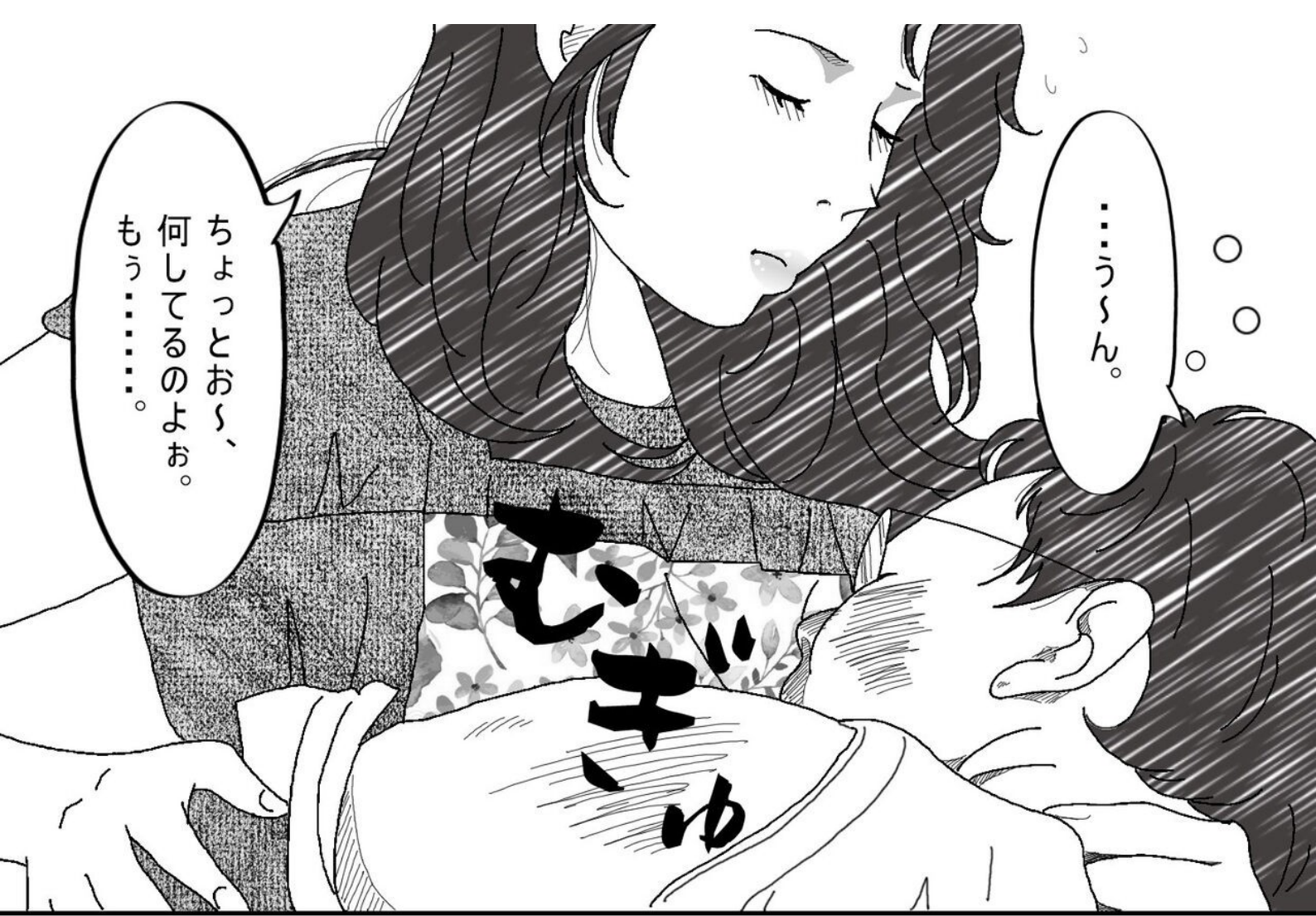
ふふ



ちょっと、そのまま
寝たらシワに
なっちゃう。

……うう。

仕事の出来ない
駄目社員の俺を
妻は知らない。



…うん。

ちよっとおろ、
何してるのよお。
もう……。

むっ
ま
ゆ



何だって…、
良いだろう…。

お願いだから…、
もう無理して飲まないで。

う
う
う

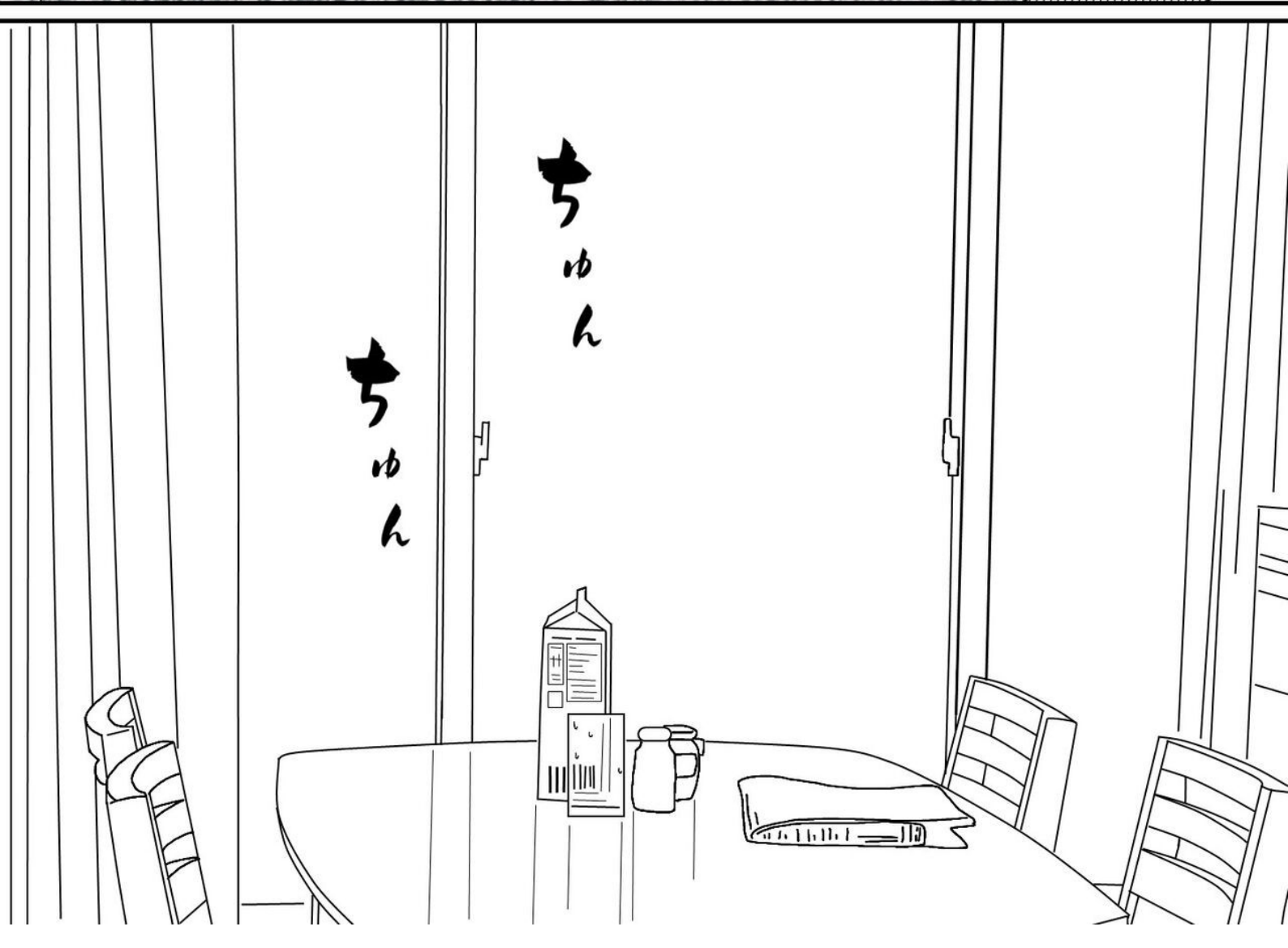
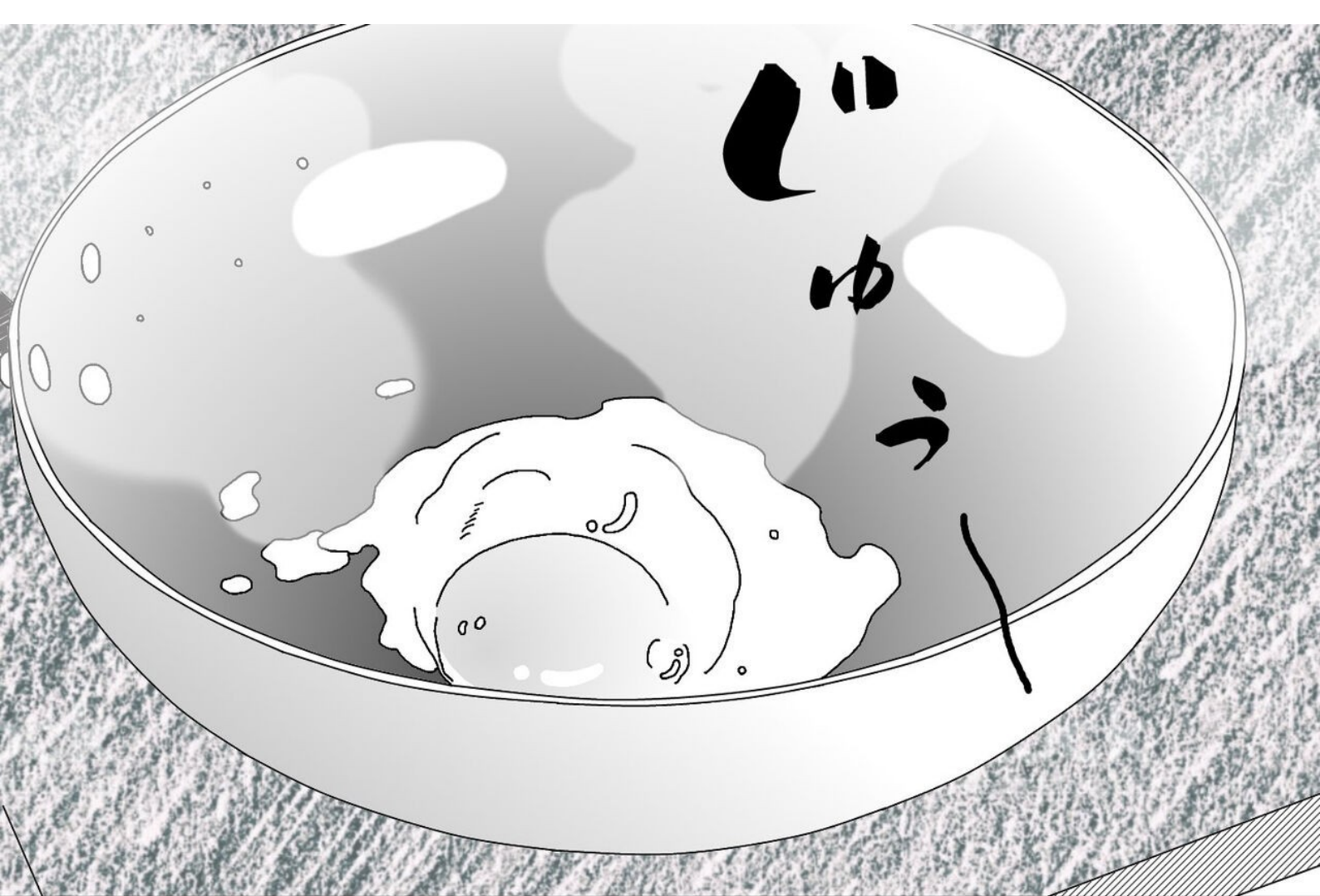
俺は無理をして
一軒家を買った。



ローンで買った家だ。
もっと、仕事を頑張って
返済をしなければ……。

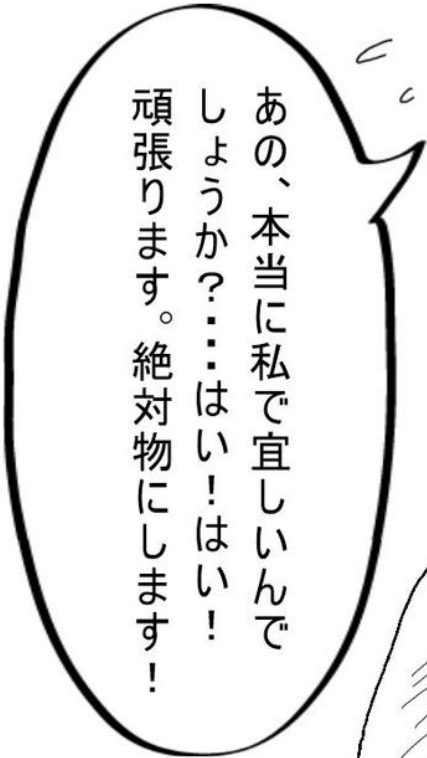
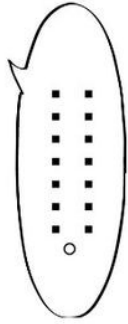
仕事でミスなど
している場合で
はないのだ……。



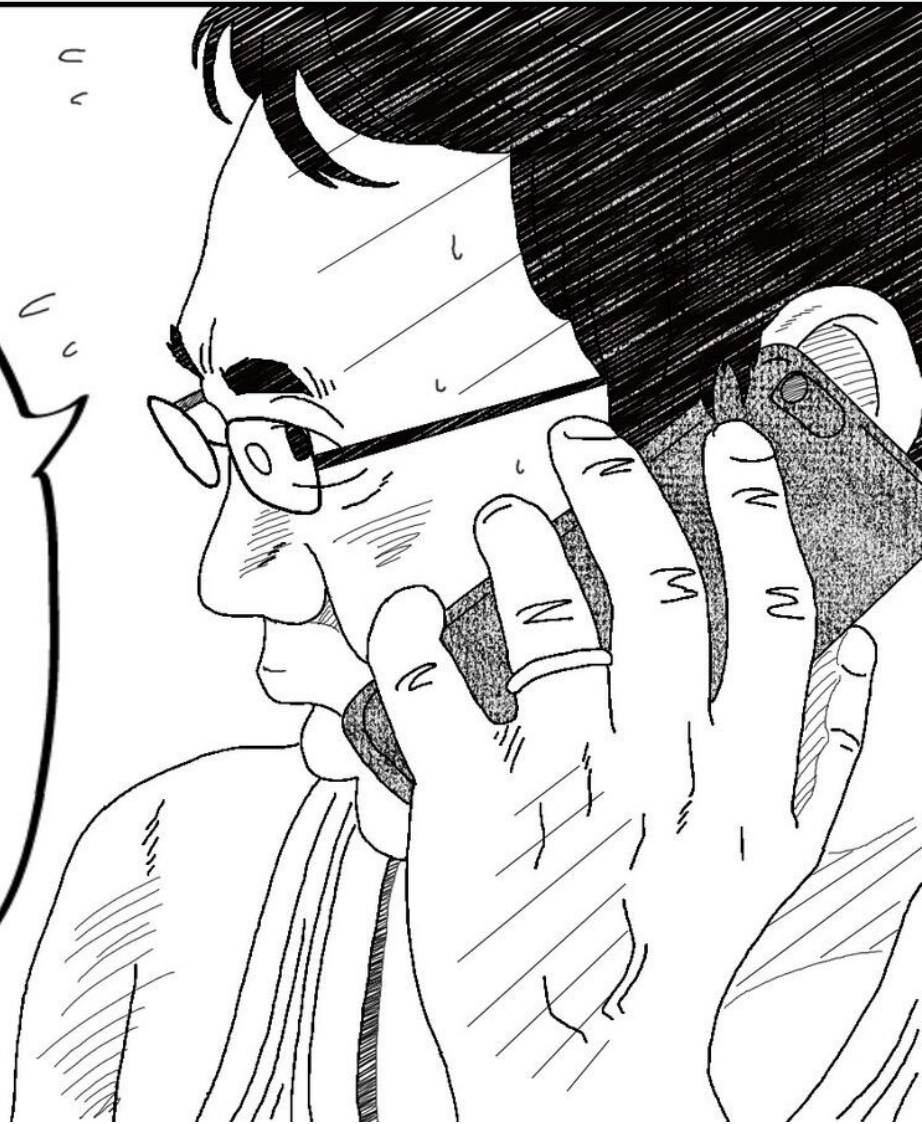




二



あの、本当に私で宜しいんで
しょうか?...はい!はい!
頑張ります。絶対物にします!





…悪い。
今日はいいせ…。

大丈夫……？
朝ごはん食べれる？



……ん？
……何い？



それよりさ、
頼みたい事が
有るんだよ。



家に呼ぶの？
え？



取引先の社長を
招待したいんだ。
美味しいもの作って
くれないか？



…実は俺が
ミスしちゃって

そこに信用がなくてさ、ここで
挽回しないと次が無いかも
しれないんだ。…だから、
協力してくよ。



分かったわ、
いつ来るの？

明後日…。

その日が来た……。
ミス挽回するチャンス
俺は生まれ変わる……!

びんぱん

はい。

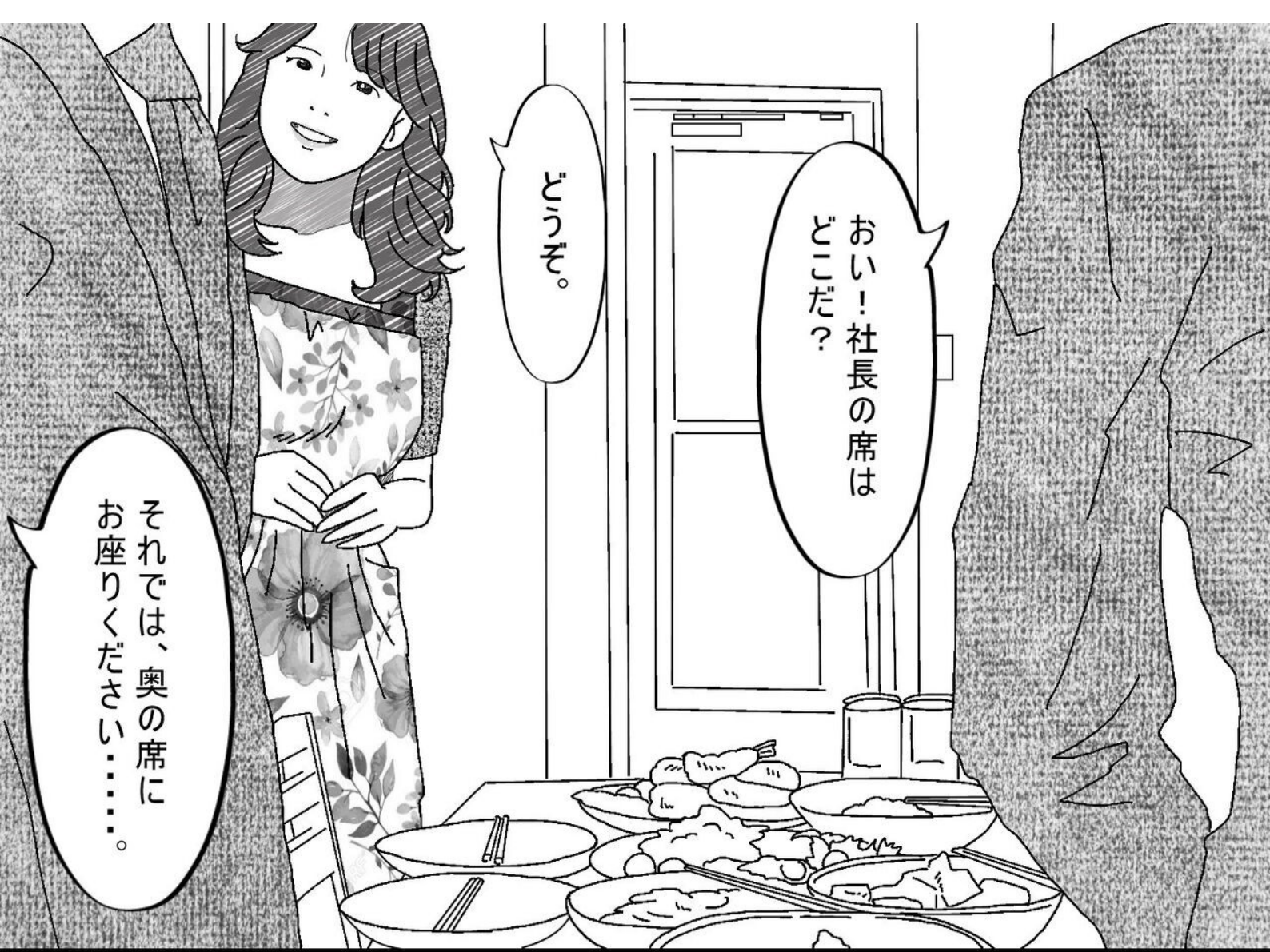
……と、上司と
約束した……。

お邪魔しますよ。
いやあ、綺麗な奥さん
だねえ。

ただいま。

どうぞ、どうぞ。
社長!

どうぞ、お入り
下さい。



おい！社長の席は
どこだ？

まじっぞ。

それでは、奥の席に
お座りください……。



あっ！そうだワイン
用意してあるか？
社長は大のワイン
好きなんだよ。

あっ。

大丈夫です、早速
用意します。

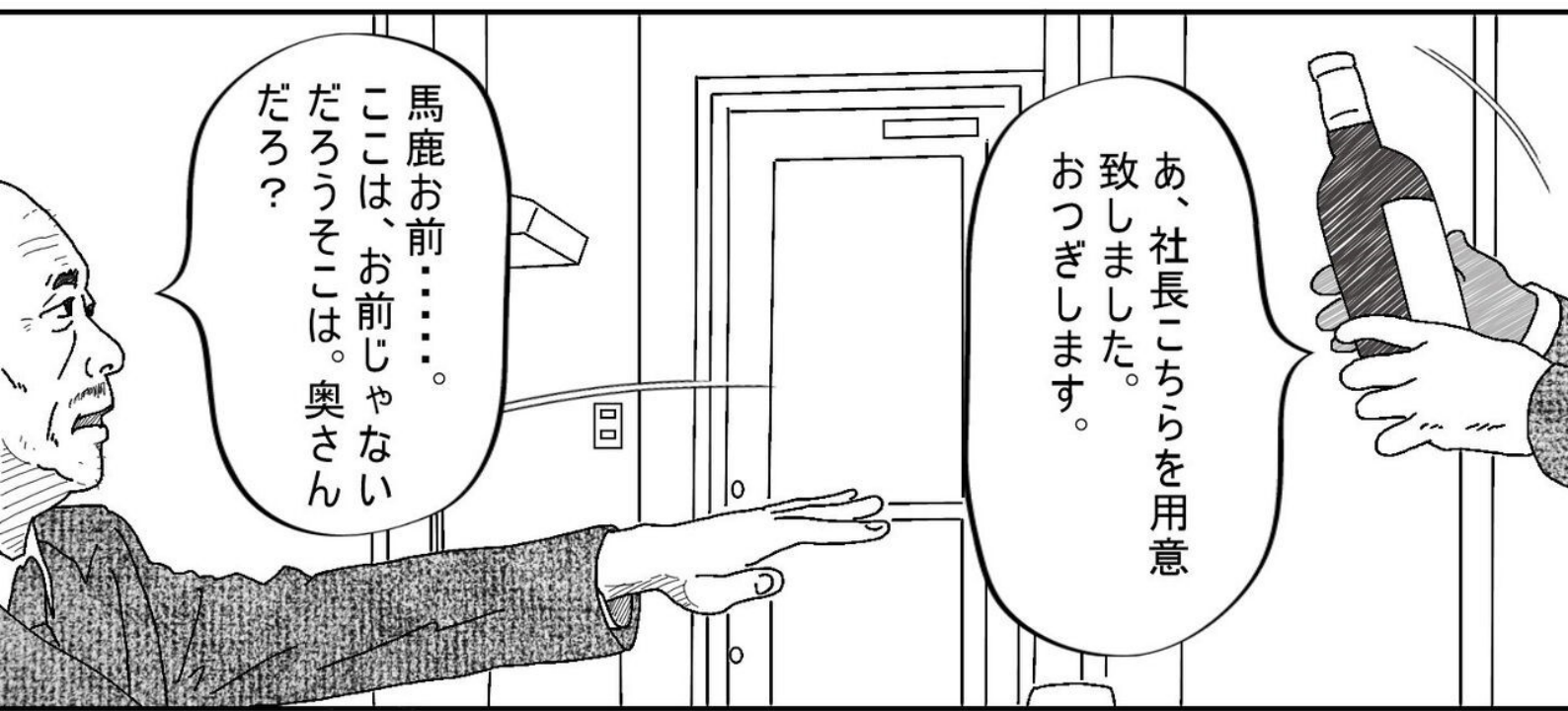
凄いご馳走
だねえ。



・・・おお、凄いねえ、
こんなにな作ってもらって。

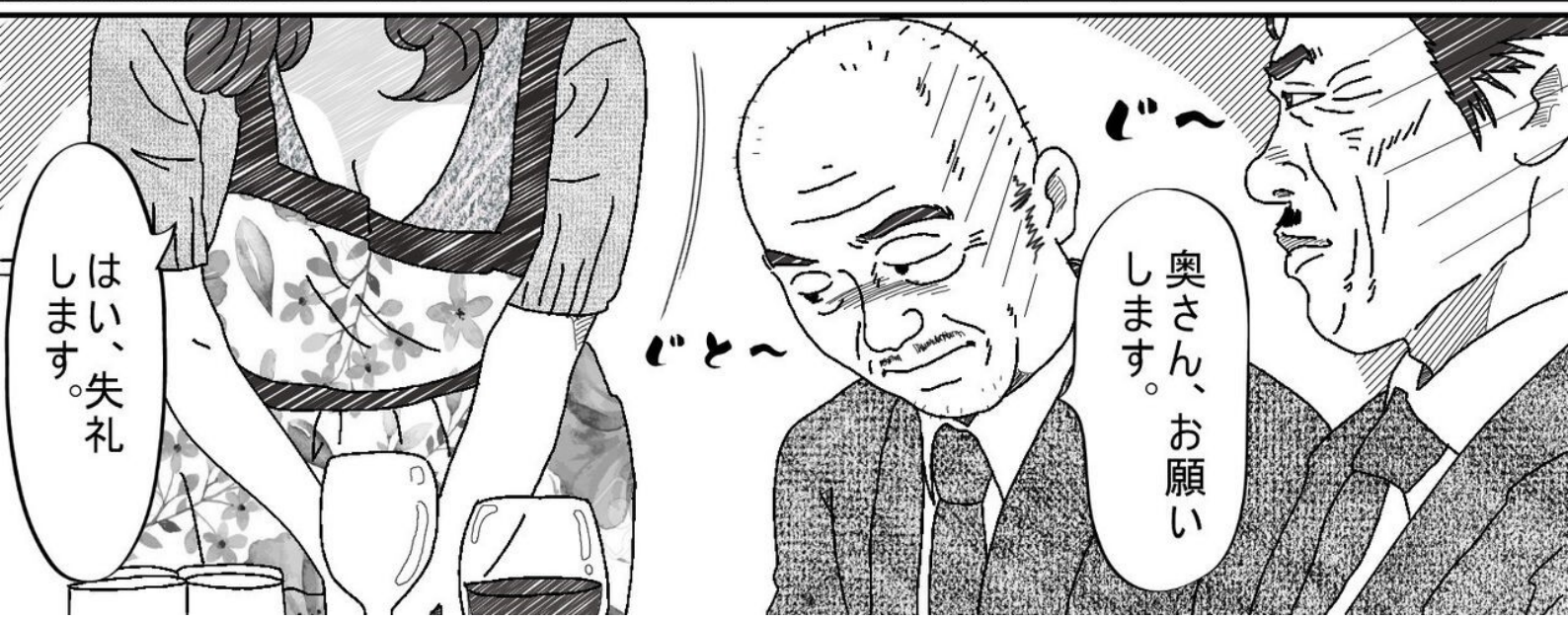
こう言う料理ご無沙汰
なんじゃないですか？

そうだねえ・・・。
去年、妻に先立たれて
しまつてねえ、家庭料理
は嬉しいよ。



あ、社長こちらを用意
致しました。
おつぎします。

馬鹿お前・・・。
ここは、お前じゃない
だろうそこは。奥さん
だろ？



奥さん、お願い
します。

はい、失礼
します。



……あら。

なんだかさ、妻が天国から降りてきた感じだね。いやあ、君は私の心を掴んだね！ははは。



いえ、うふふ。

ははは。

悪いね、奥さん。



そうか、じゃあみんなで乾杯だ。

すいませんでした。

……

これまでのご無礼とご迷惑こいつに代わって私が謝ります！すいませんでした！

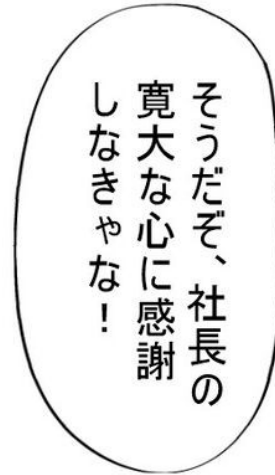


君はやらかし
たんだから！



社長、有難う
ございます。

まあ、痛手だった
けれど水に流そう
じゃないか。

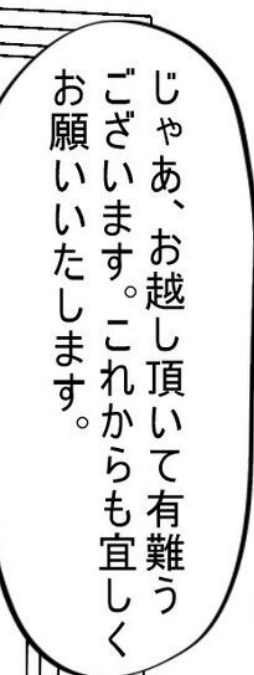


そうだぞ、社長の
寛大な心に感謝
しなきゃな！



うむ。

じゃあ、お越し頂いて有難う
ございます。これからも宜しく
お願いいたします。



乾杯の音頭。



はい、乾杯。

乾杯！

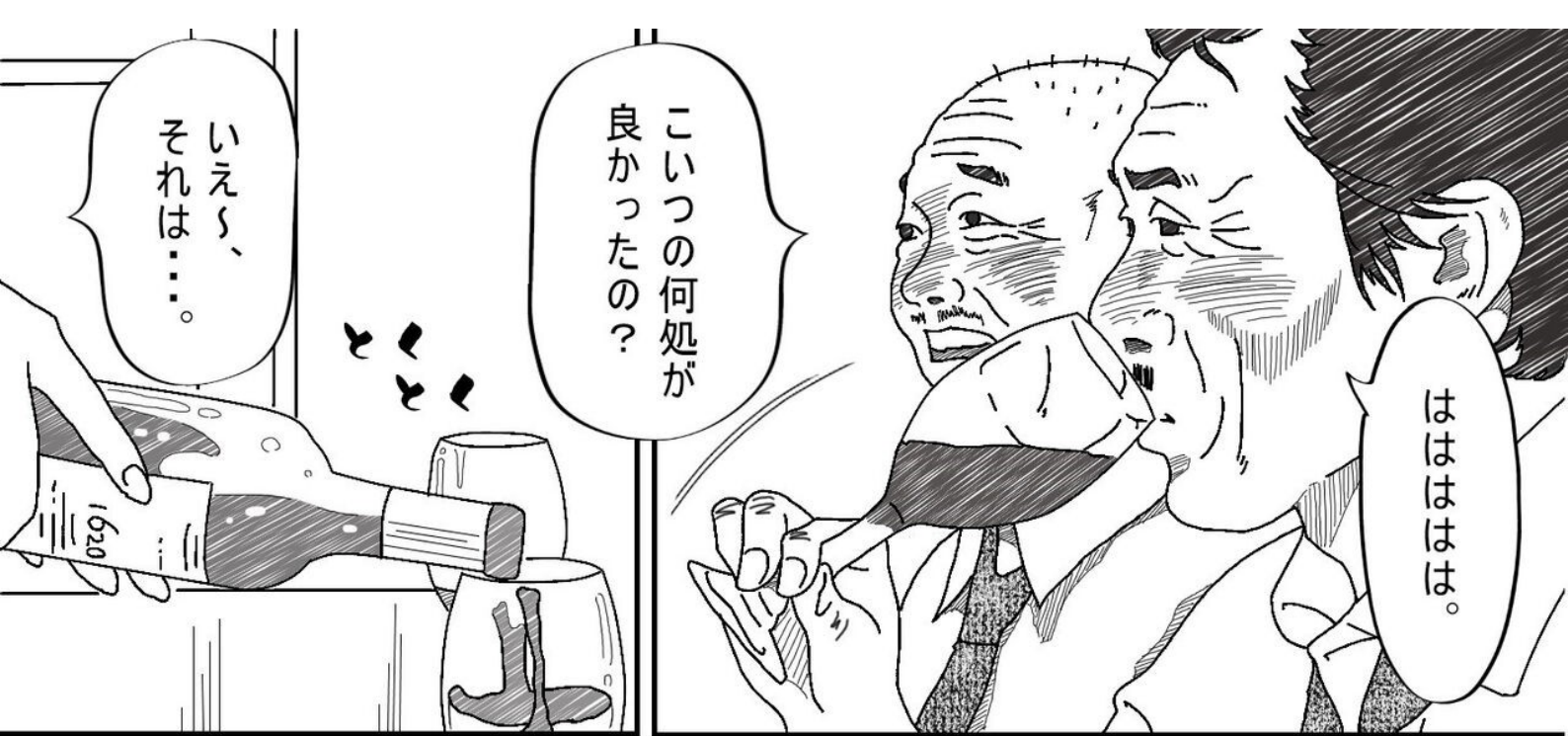
乾杯！社長！
宜しく願います！

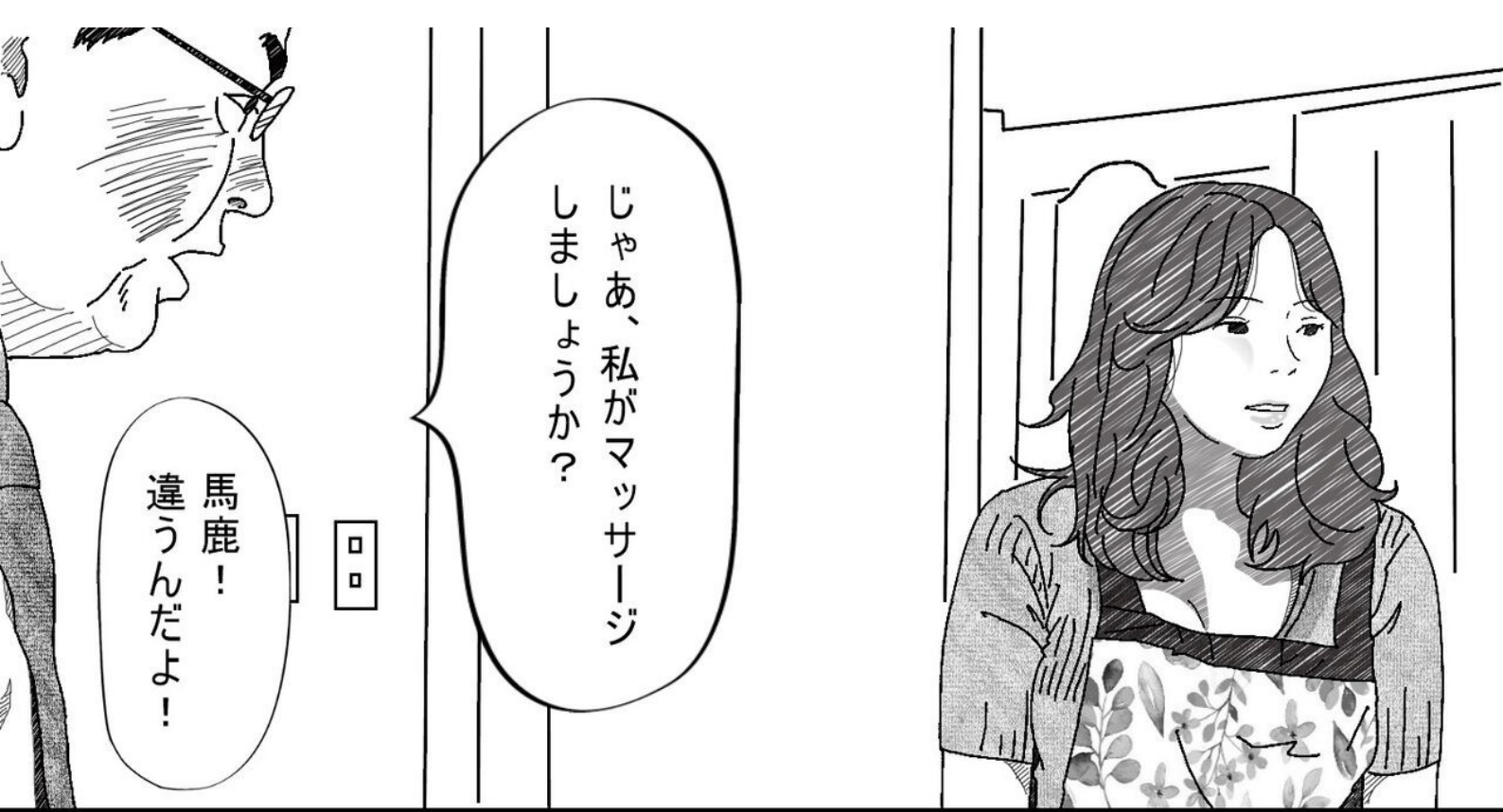


1600



なんとかこの日を
成功させて俺の信用を
回復させたかった……。





じゃあ、私がマッサージ
しましうか？

馬鹿！
違うんだよ！



社長は人に
マッサージする
のがお好き
なんだよ！

うん
うん



あっ、そう
だったん
ですか！

うむ、ちよつと今
人に習っていてね
いつか店を開こうと
思っているんだよ。



ゆくゆくは人に
任そうと思っ
てるんだけどね。

それでも、やっぱり
人にやってあげたく
なるよね！

ですよね！
社長！



お前良かったら
やって頂ければ？

え？私なんかで
良いんですか？

良いよー。向こうの部屋に
ソファがあるからそれ
使おうか？



じゃあ、うつ伏せに
寝て……。

じゃあ、お言葉に
甘えてお願いします。



……へえ。

あ、気持ちいです
社長！

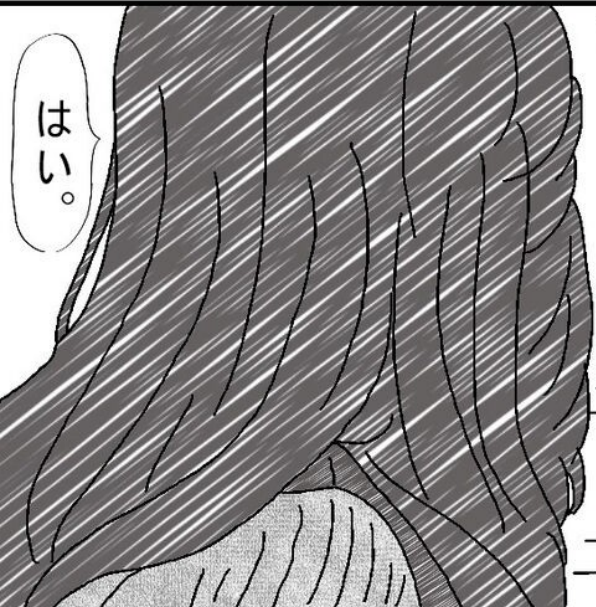
そうだろうか？



うふふ



本当に気持ち
良さそうですね。



はい。



本当にうまい
でしょ？社長の
手つき。

プロ級
でしょう？





むく

はい、はい。

よっし！おしまい！...
はい、次は奥さん呼んで
くれるかい...？



...いやっ、
えっと、私は...

はい、奥さん！



申し訳ないですが...

...いいえ、私は
...そんな。

良かったろ？

社長凄いから、
やってもらえ！



ほら、早く行けよ。

奥さん、付き合っ
てあげて下さい。
喜ぶから……。



社長喜ぶ
から！

申し訳なく
ないですか？

……でも、

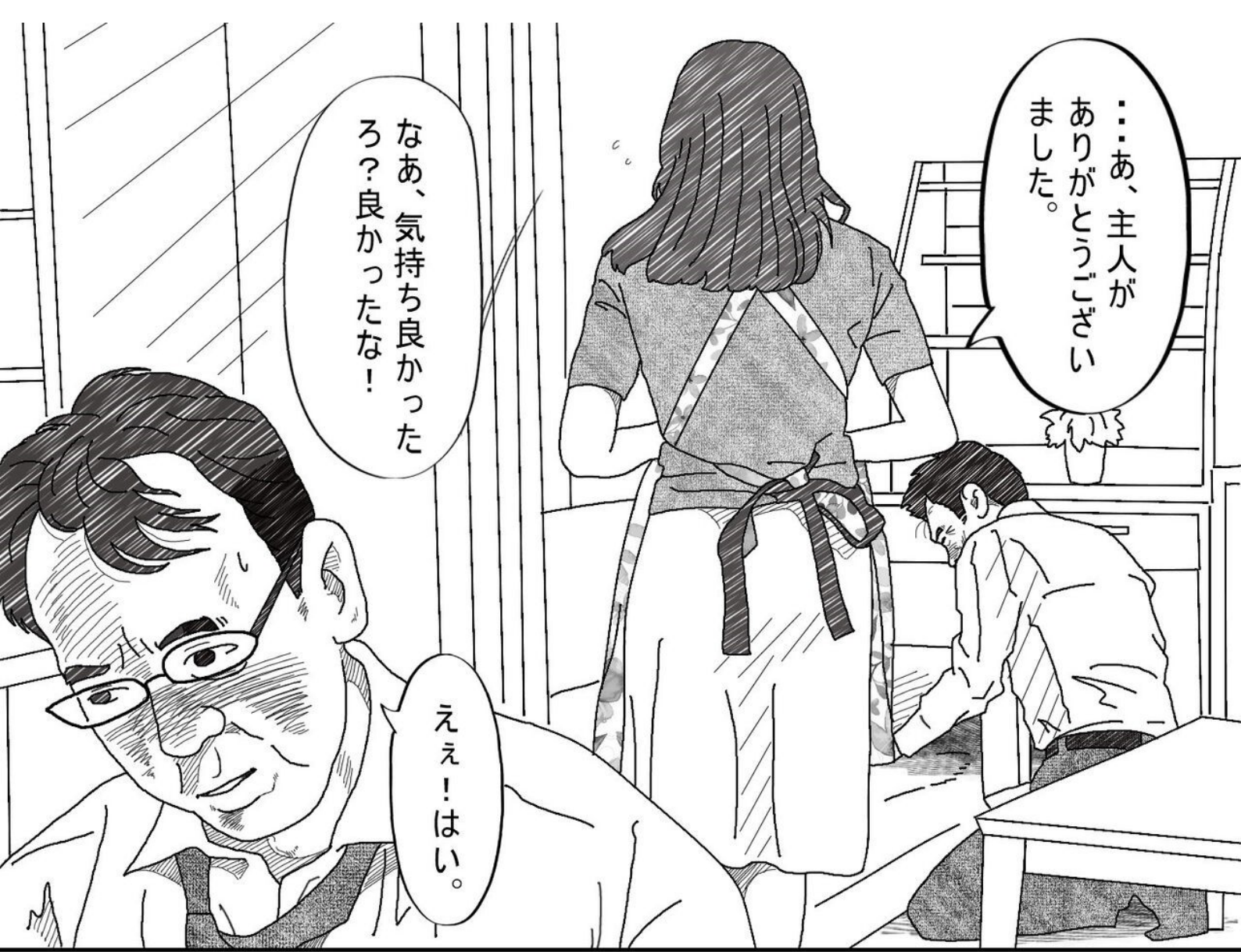


本当、凄いから。

社長！、今奥様
行きますんで！

……じゃあ……。

はい。





そこに横にな
ってねえ。
良いか悪いか
正直に言っ
て。プロ目指
してっからねえ。

はい、願
いします……。



まあ、今日は
奥さんの料理
に免じて許し
てやっけどよ。

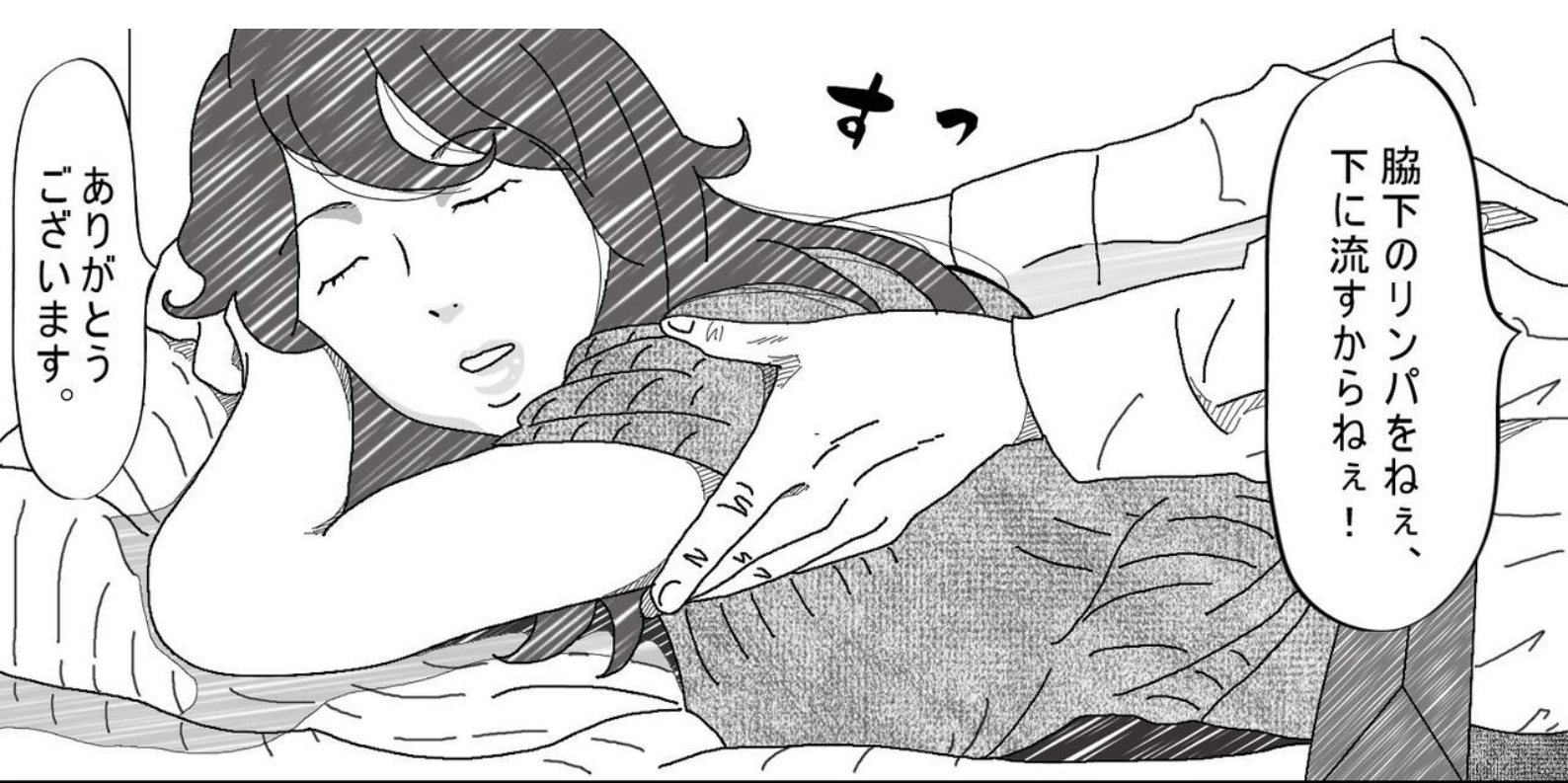
おい！良か
つたな、お前
！誰のおかげ
なんだよ？



あ、良い力加減
ですよ。

お上手なんです
ね。





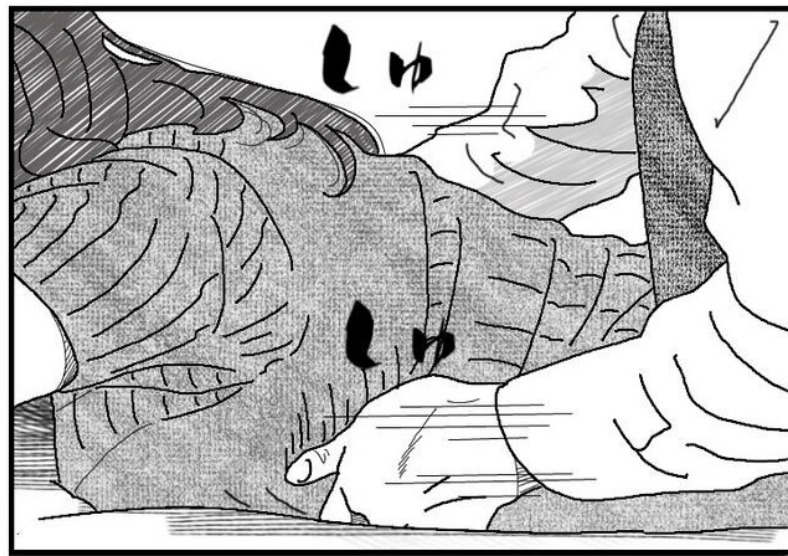
ありがとうございます。
「ご」います。

すっ

脇下のリンパをねえ、
下に流すからねえ！

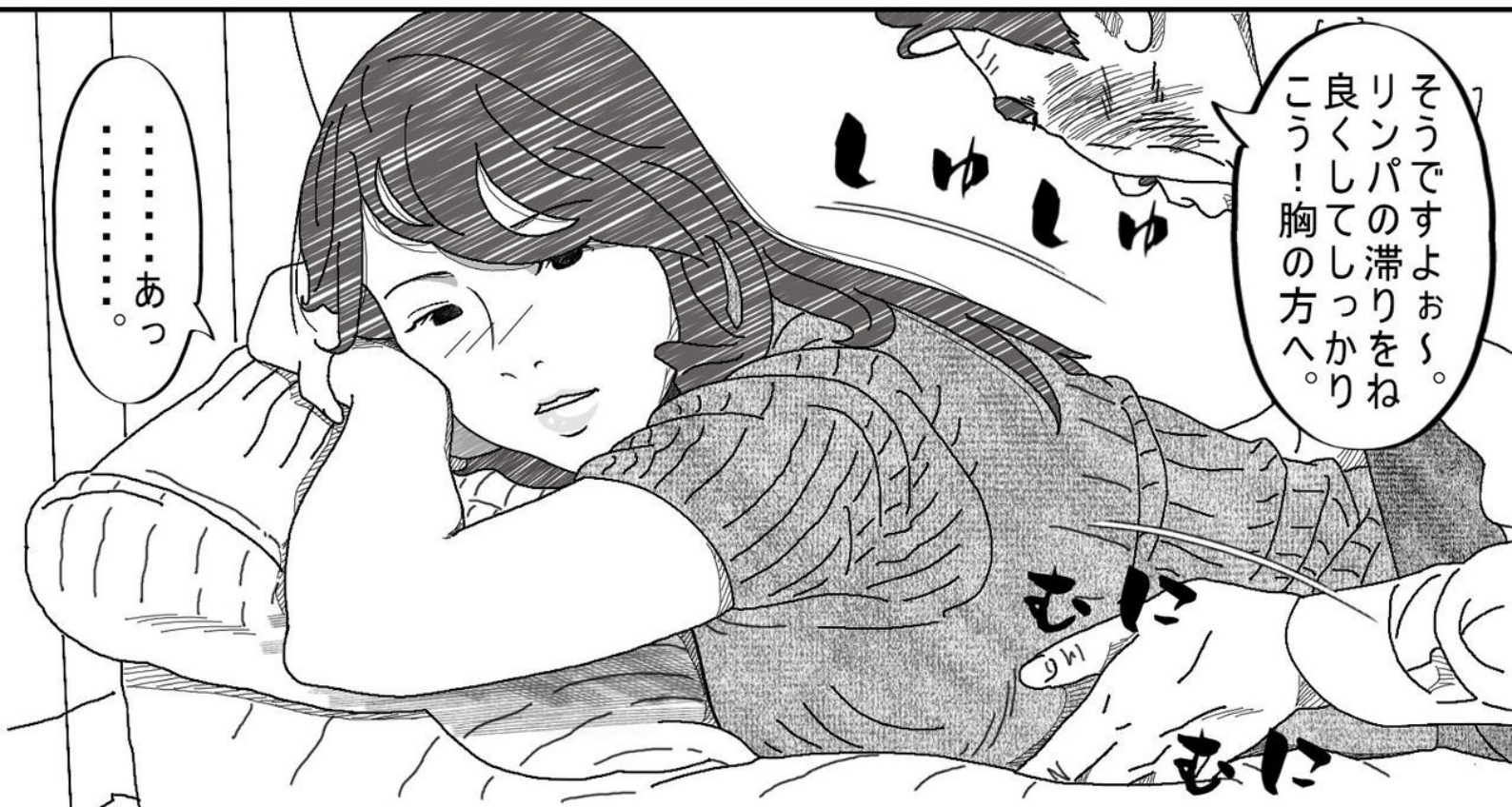


こう言う風に
されるんですね。



しゅ

しゅ

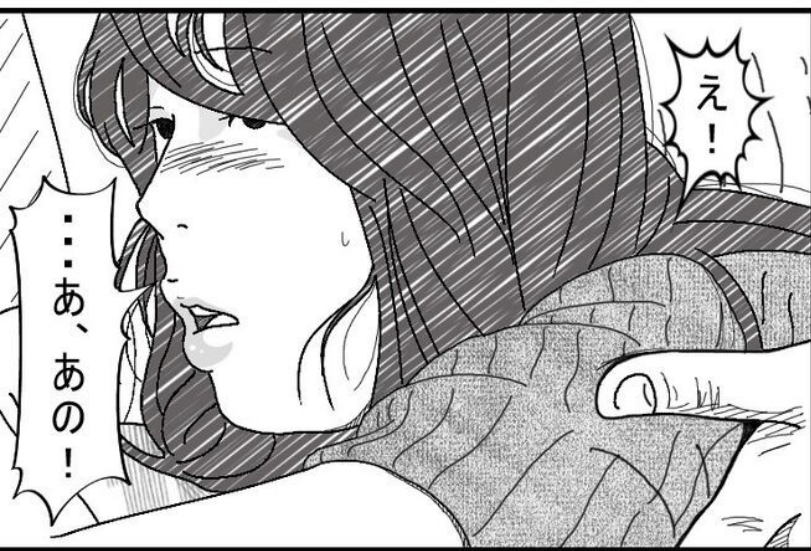


.....あっ

そうですねよお。
リンパの滞りをね
良くしてしっかり
こう！胸の方へ。

むた

むた





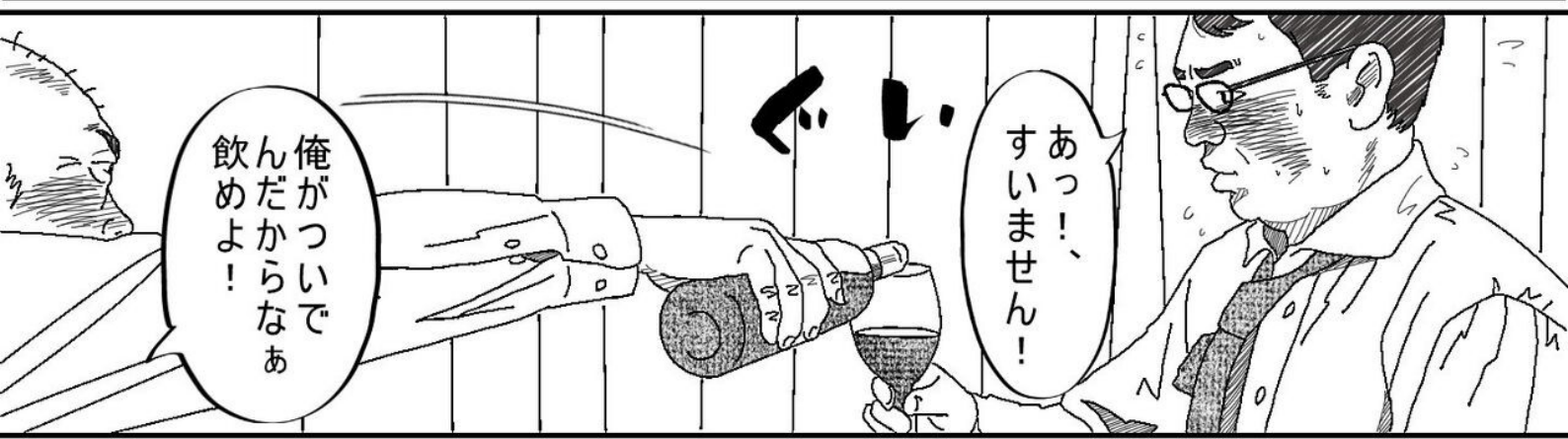
はい、まだまだ動かないで。

かあ

貴方……!

あの、ちよつと……
良くなったみたい
なんでもう……。

何だよ？おい！
口挟むんじゃねーよ！
社長が集中出来ねー
だろうが！



あつ！、
すいません！

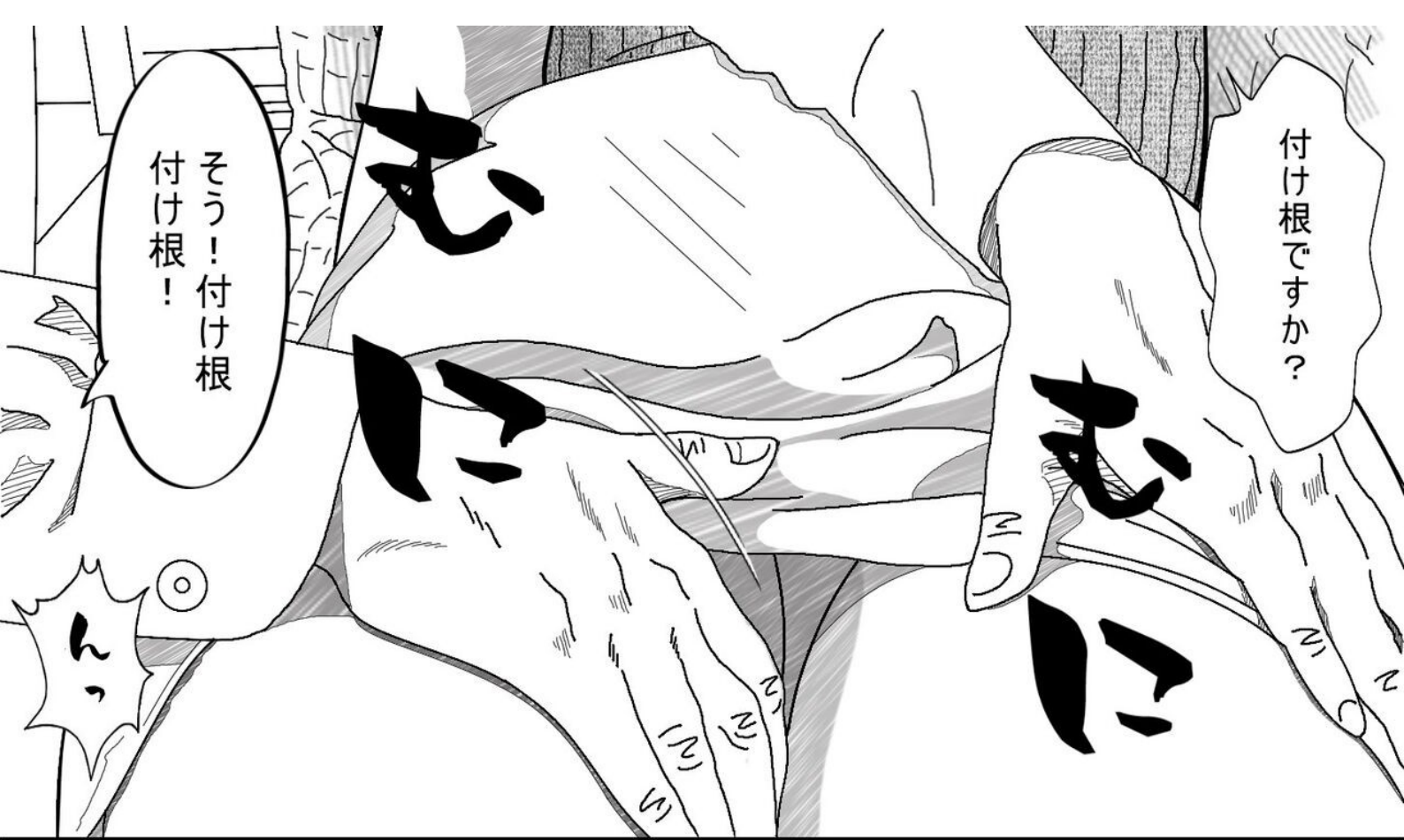
俺がついで
んだからなあ
飲めよ！



……えっ？、あの……
ちよつと……

びく

足の付け根にも
リンパあるからねえ
ほぐさないと、循環
悪くなるから。



付け根ですか？

そう！付け根
付け根！



んー？

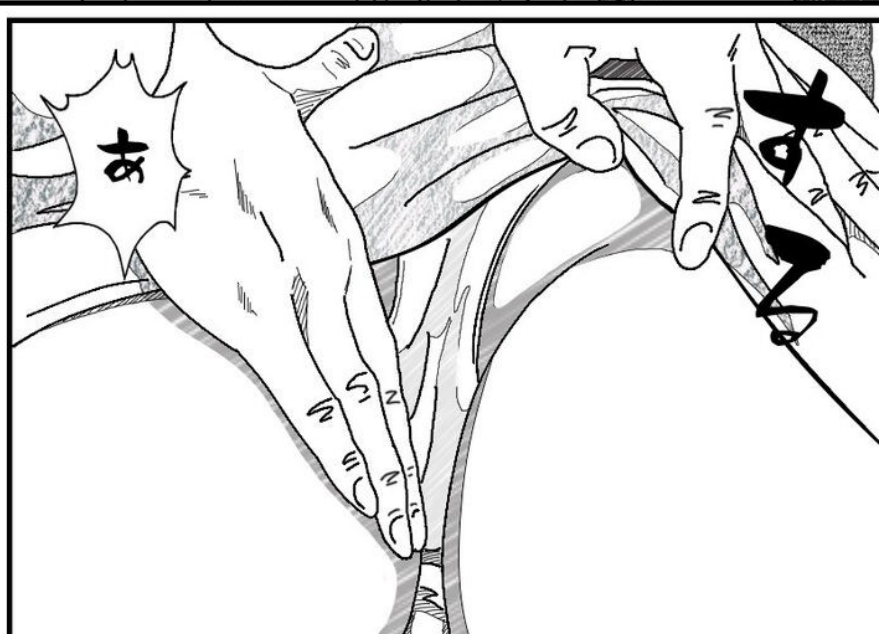
あの……っ
ちよっと！

何、よそ見
してんだよ！

たかが、
マッサー
だろうが！



あの、社長
こう言うの
違うんじゃない……。



あ

す

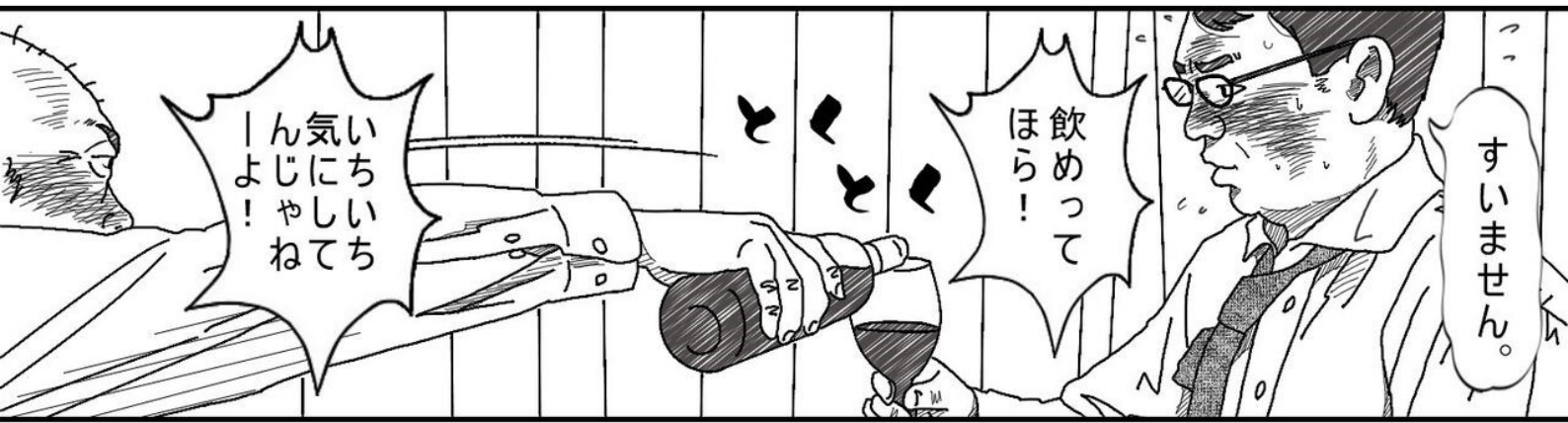


邪魔すんなった
ろうが？今日は社長
の気分を良くするの
に招待したんだろ？

いえ！

あっ！

おい！どこ
行くんだよ？



いちいち
気にして
んじゃね
よ！

飲めって
ほら！

すみません。



え？、あんたに
何が解るの？
私の事馬鹿に
してるのか？

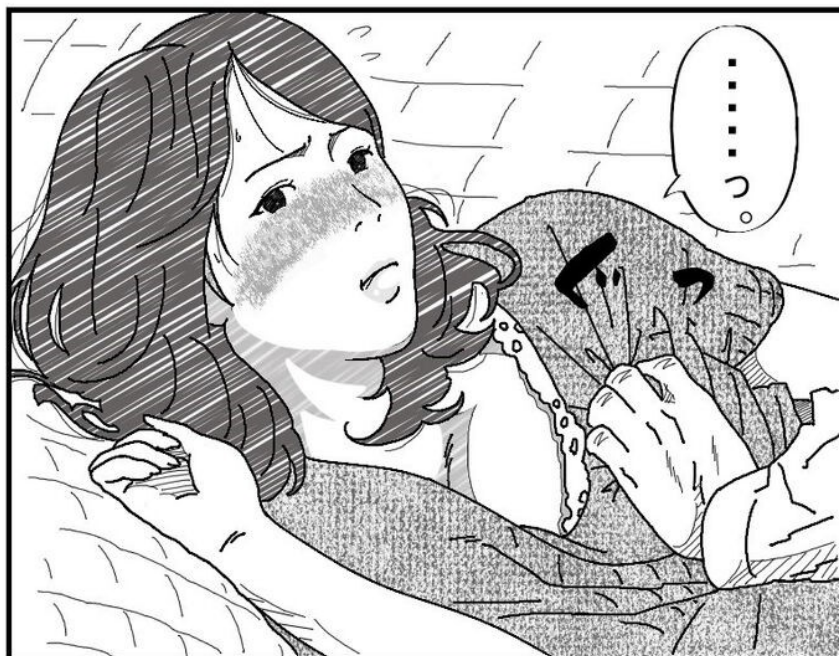
馬鹿にしてる
訳じゃないん
ですけど…。

じゃあ、しっかり言うこと
聞いて。ここをこうして！

あ

むいむい
むいむい







なんだよ、お前。
そんなに気になる
のか？あ？

あ、いえ。

クビんなりたきや
行けよ……なあ？

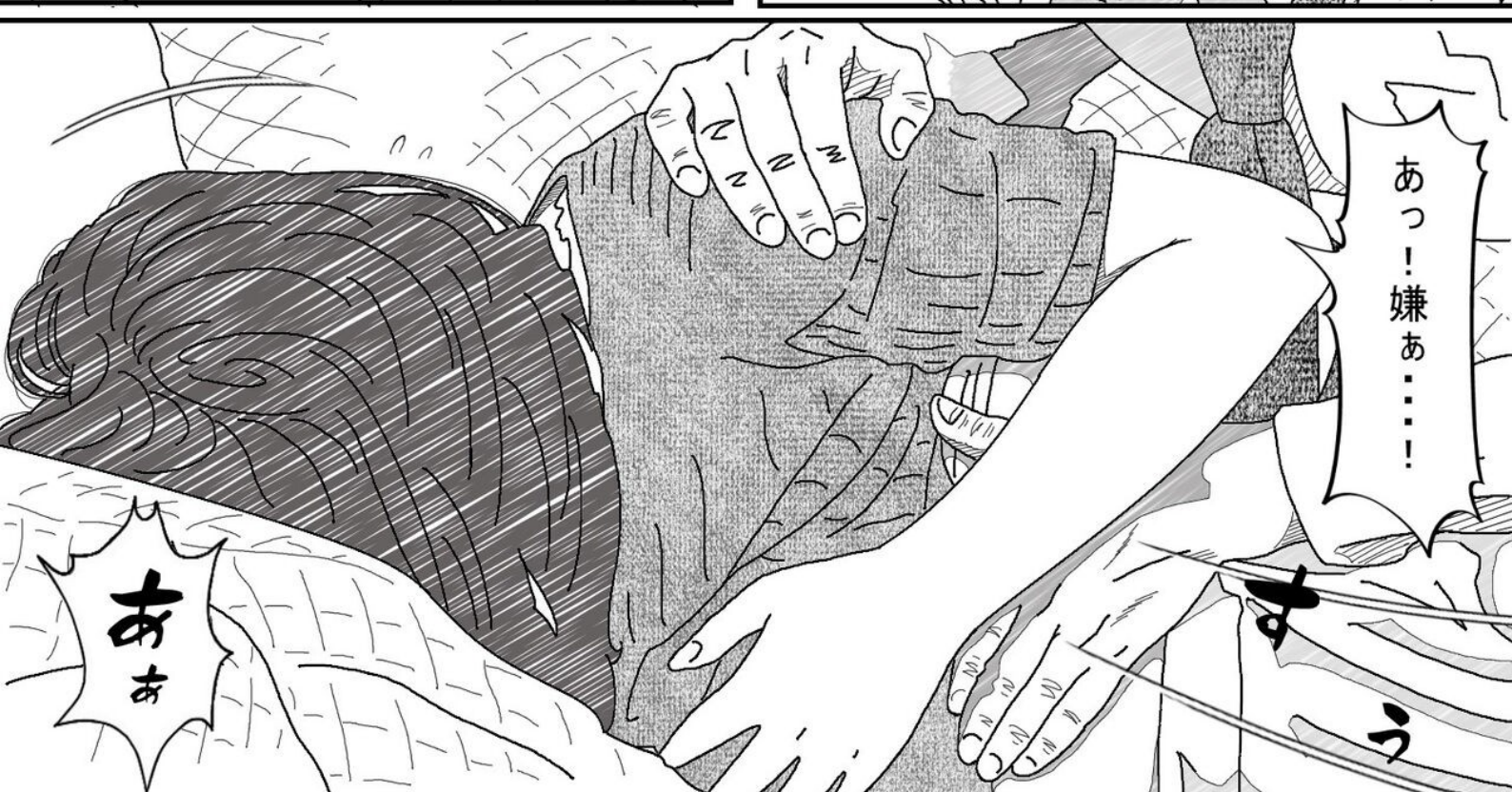


それで良いんだ
よ、解ってきた
じゃねーか。

ぐび
ぐび



飲みます！
すいません！



あっ！嫌あ……！！

あ
あ

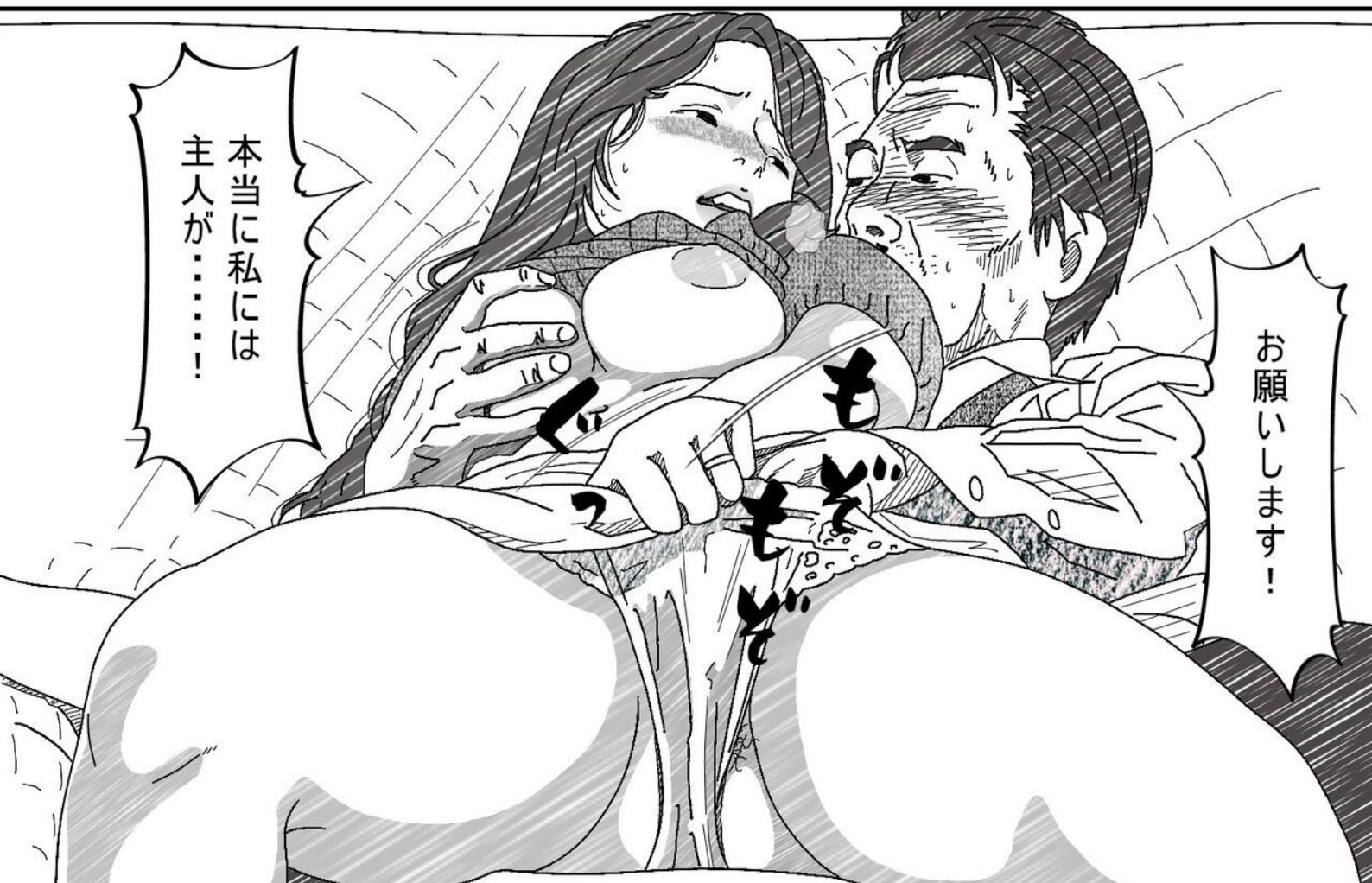
す
う



やめてください!

ぶるん

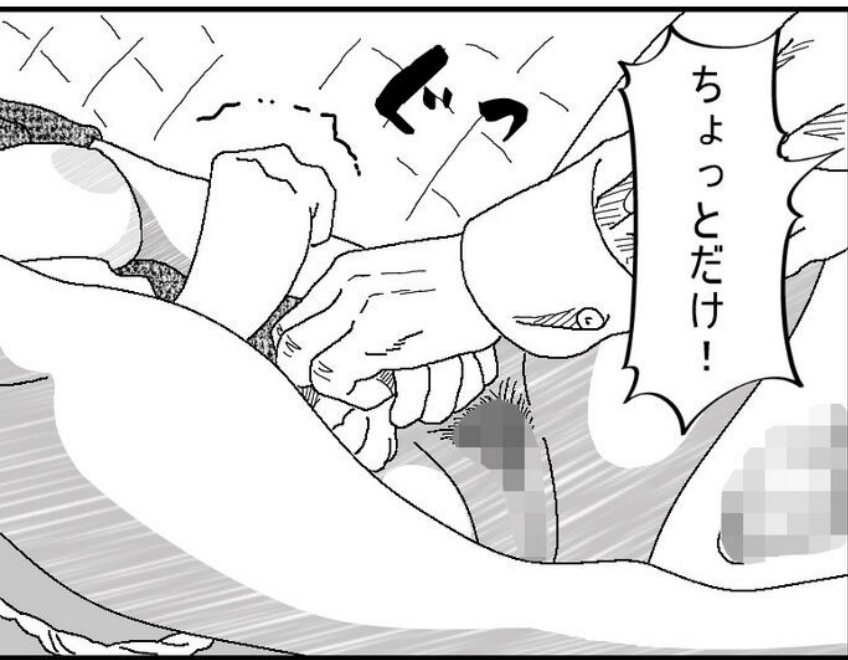
良いから。

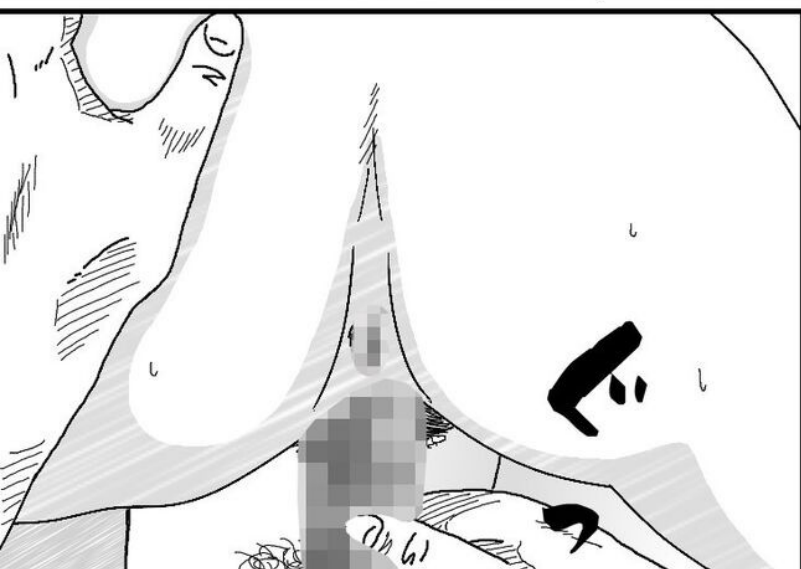
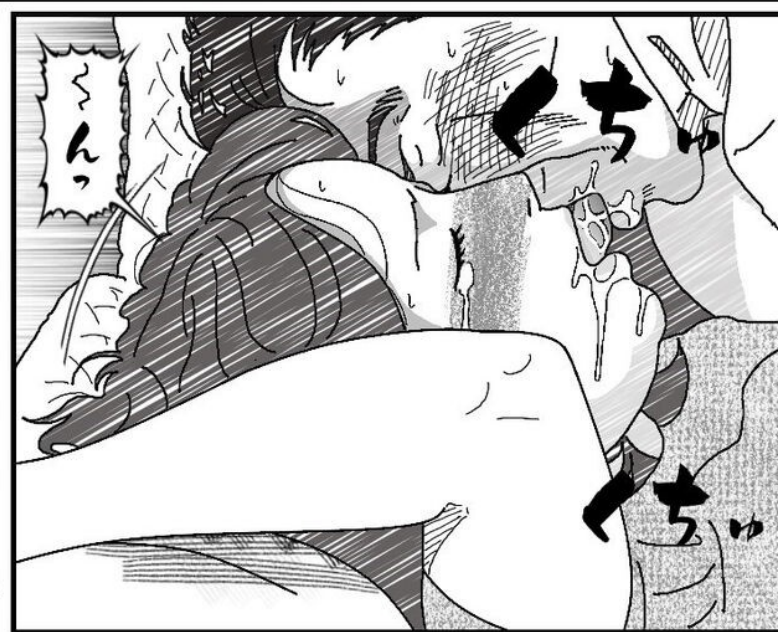
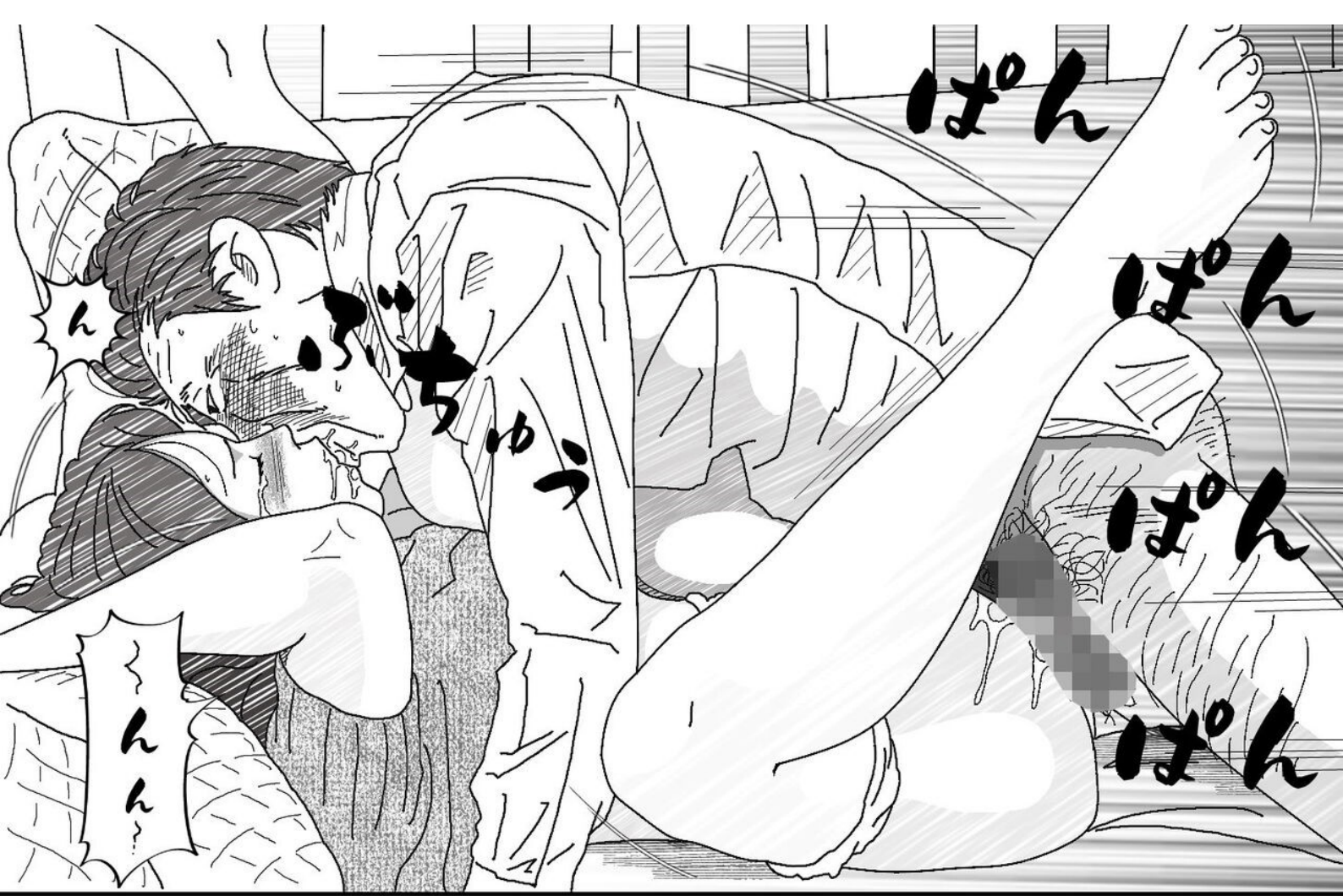


お願いします!

本当に私には
主人が……!!

もももも





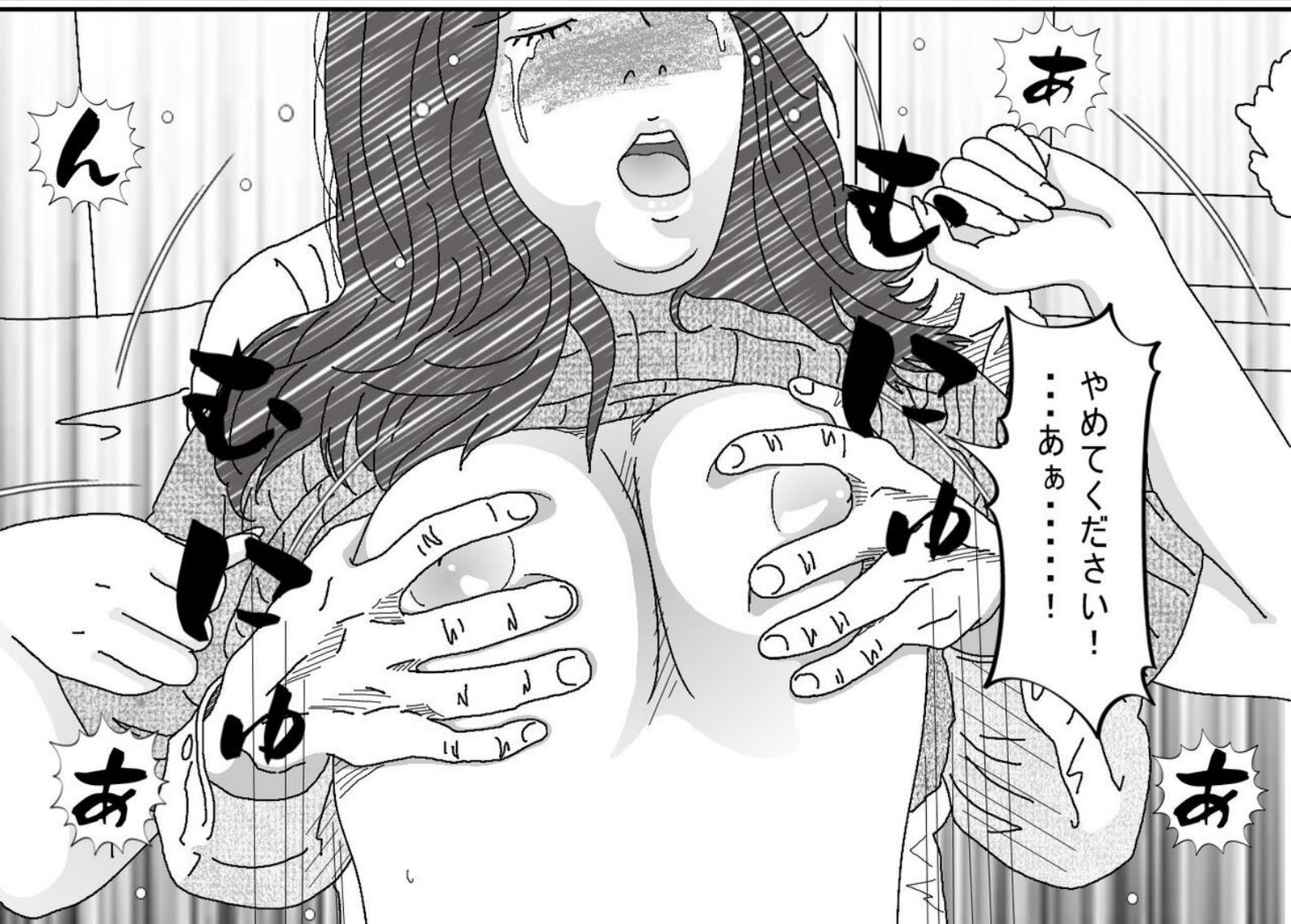


奥さん……!!

ぽん
ぽん
ん

ず
ず
ず

ん
あ



ん

む

む

あ

む

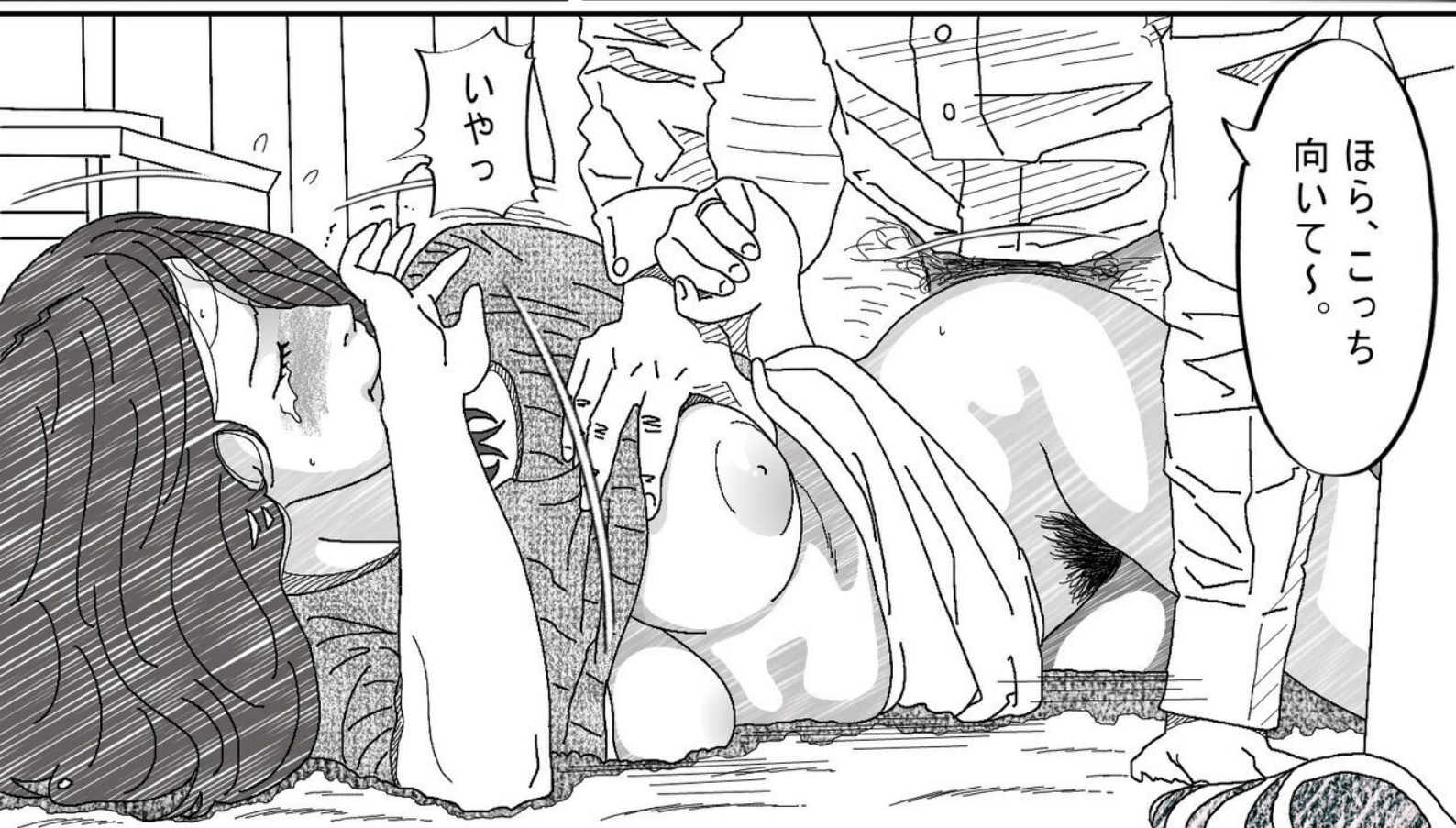
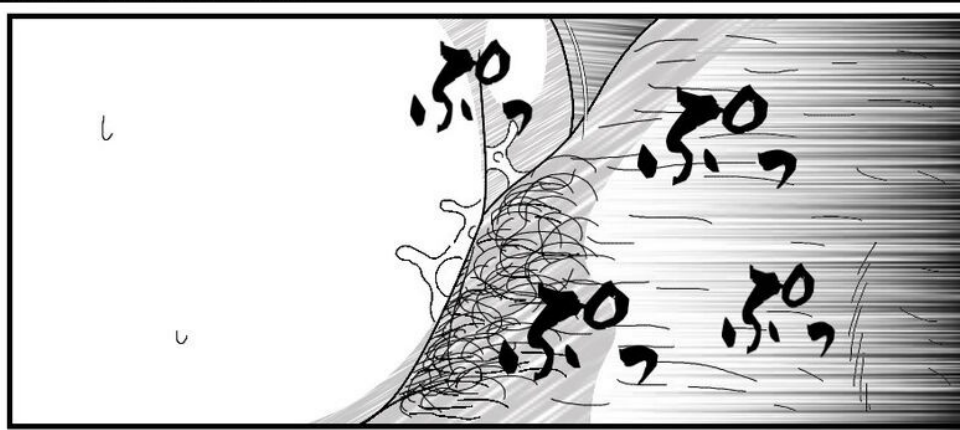
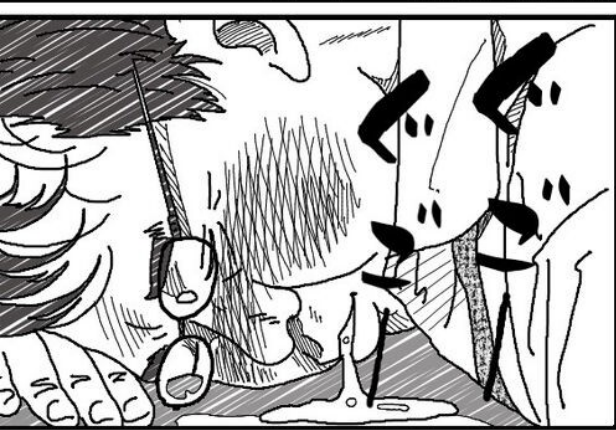
む

む

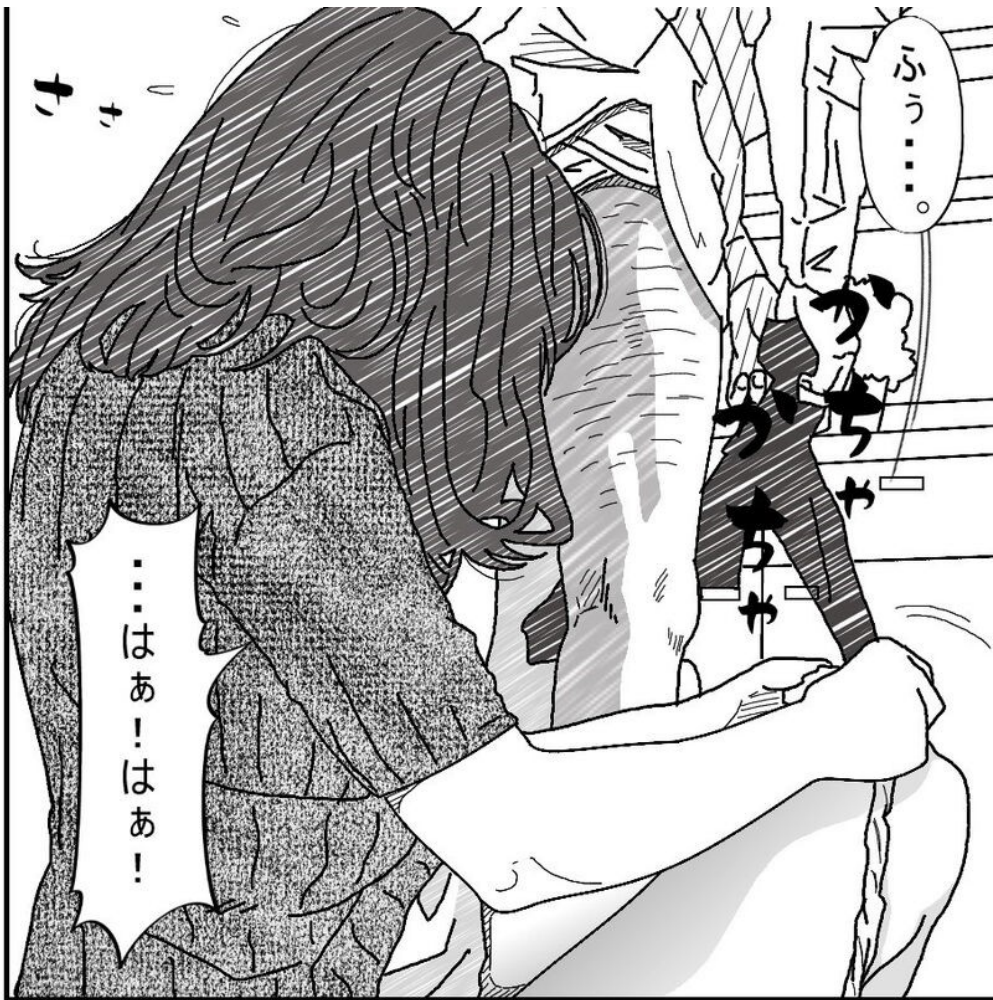
あ

やめてください!
……ああ……!!

あ

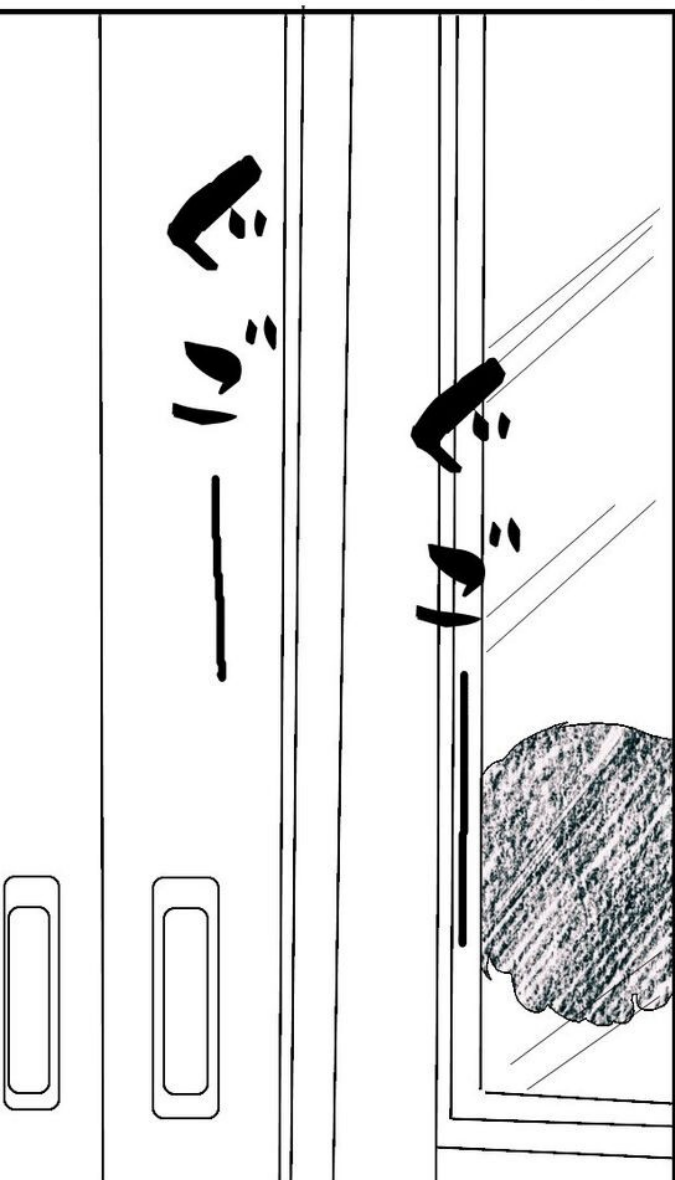






……はあ！はあ！

ふう……



びびりー

びびりー



……っ！

気持ち良かった
よ……！！

がが

大丈夫………？

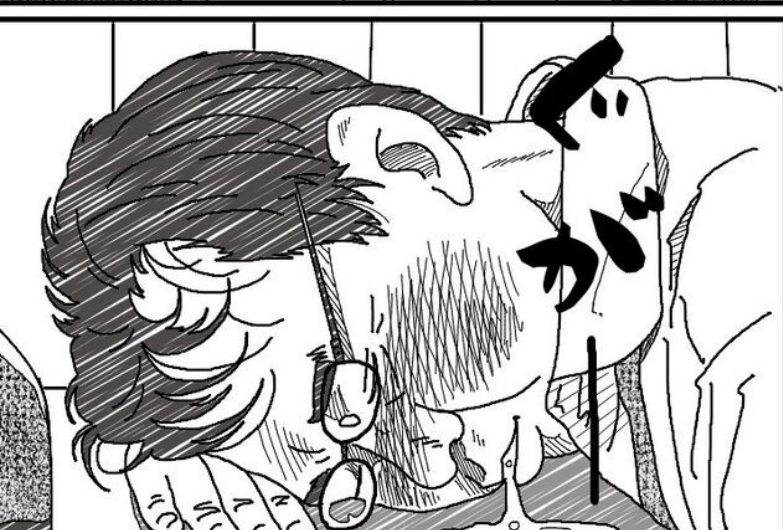
こっちの方は
大丈夫です！

うむ、でもハリキリ
過ぎちゃってね、
酔いが覚めちゃったよ。

がが

私はね、これでおいとま
するから……。あとー…君
責任全部やってくれるんだ
ろうねえ………？

後の事は全て
お任せください。





あゝ、あの人さ
酔うと手癖悪く
なっちゃうんだ
よね。



犯され
たんです！



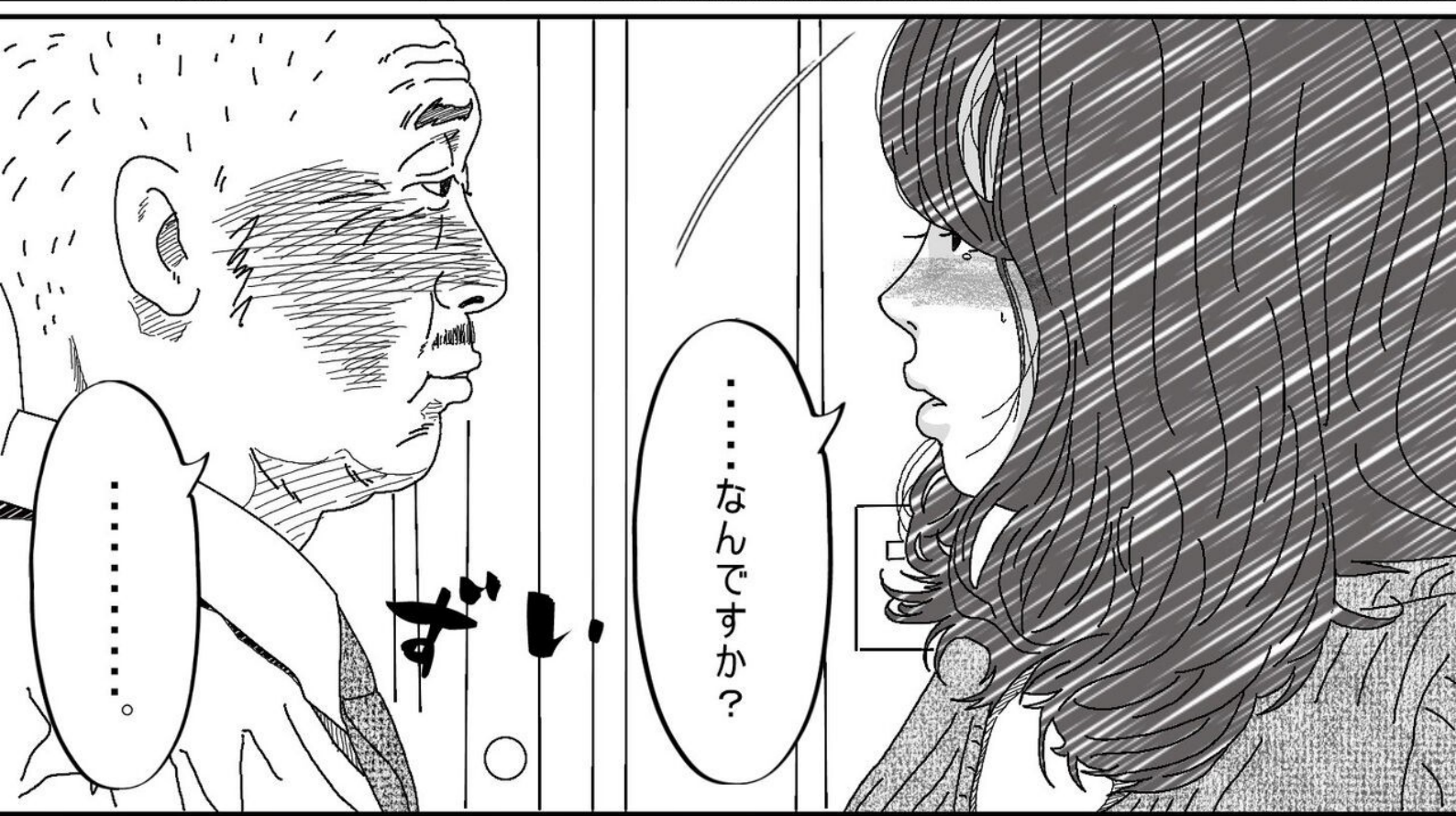
奥さん迷惑かけたね。
……もしかして……
やっちゃった……？



あゝ、そうだったんだ？
でも、これ問題になったら
あいつクビになっちゃ
うよ……？



こうなると、
解ってて……！

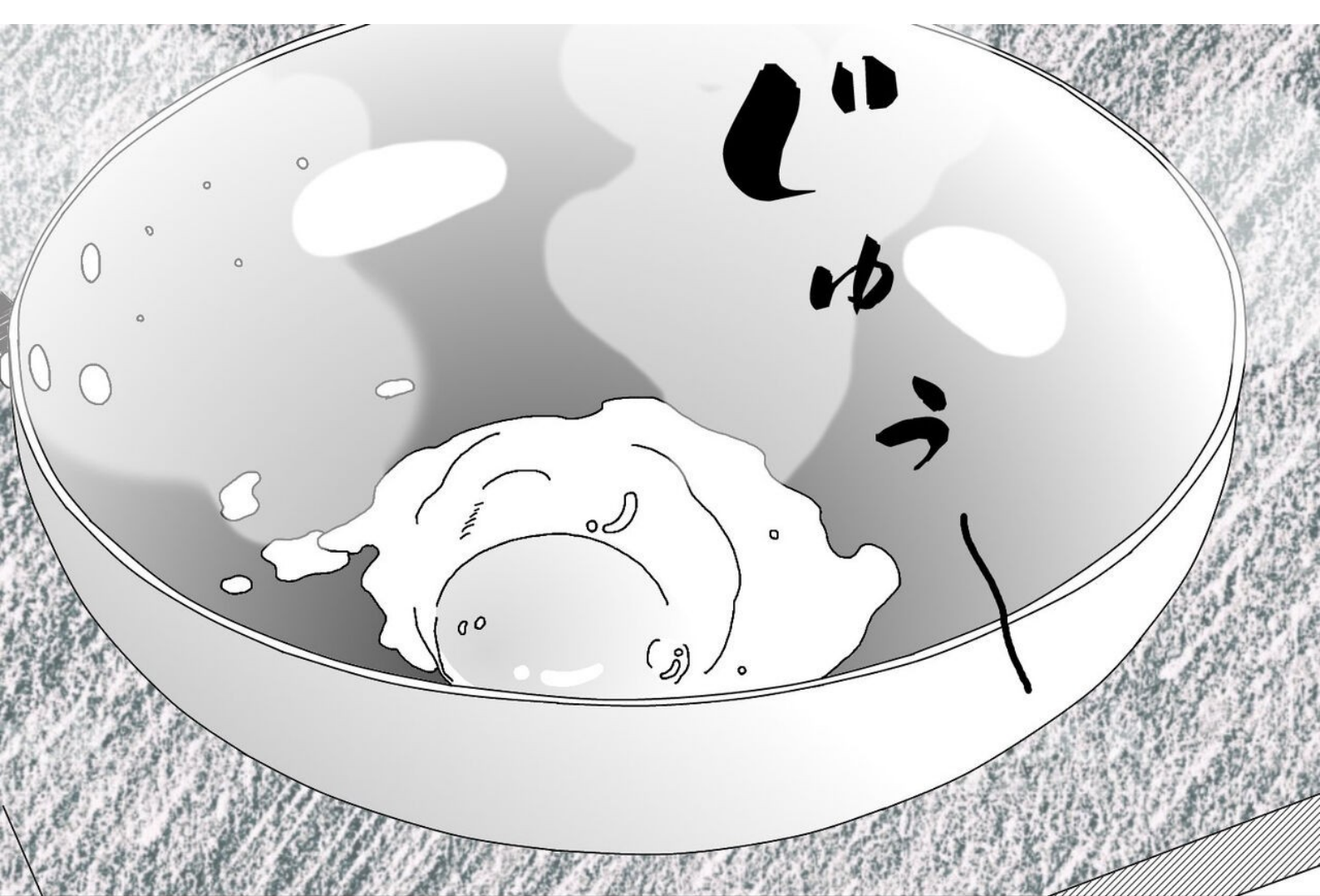




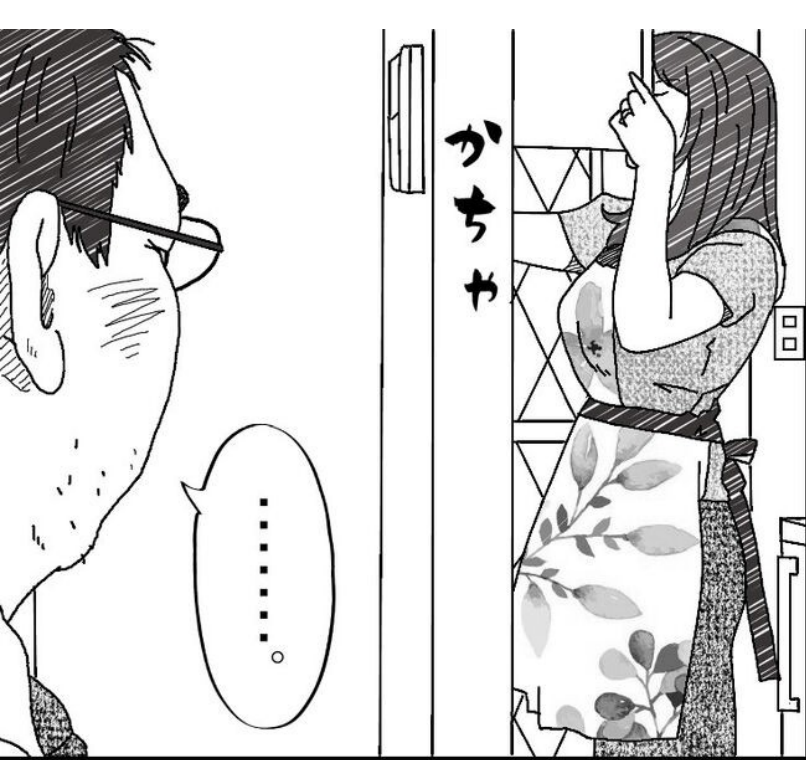


ほらほら、ご主人
クビになっちゃうよ？

……っ!!
……いやあ……、
やめてえ……!!









知ってたんでしょ？
こうなる事……。

いや、そうなるとは
全く思わなかった。

嘘よ！

本当だよ、あの社長に
家庭料理を食べさせて
気持ちよく帰ってもらおう
事しか、考えてない。

じゃあ、どうして
助けてくれな
かったのよお！

直ぐにやめて
くれると思って。



じゃあ、
どうなったか
教えてあげようか？

……え？

す
う



そんな事思っ
てなくせに!

嘘よ!



そうだって
言ったら
どうする?

ぶっ
殺す!



どうなったんだよ?
もっと、何かあった
のか?



.....



がた!!

思ってる!だから
本当の事言ってくれ!



何だって!



犯られたわ.....



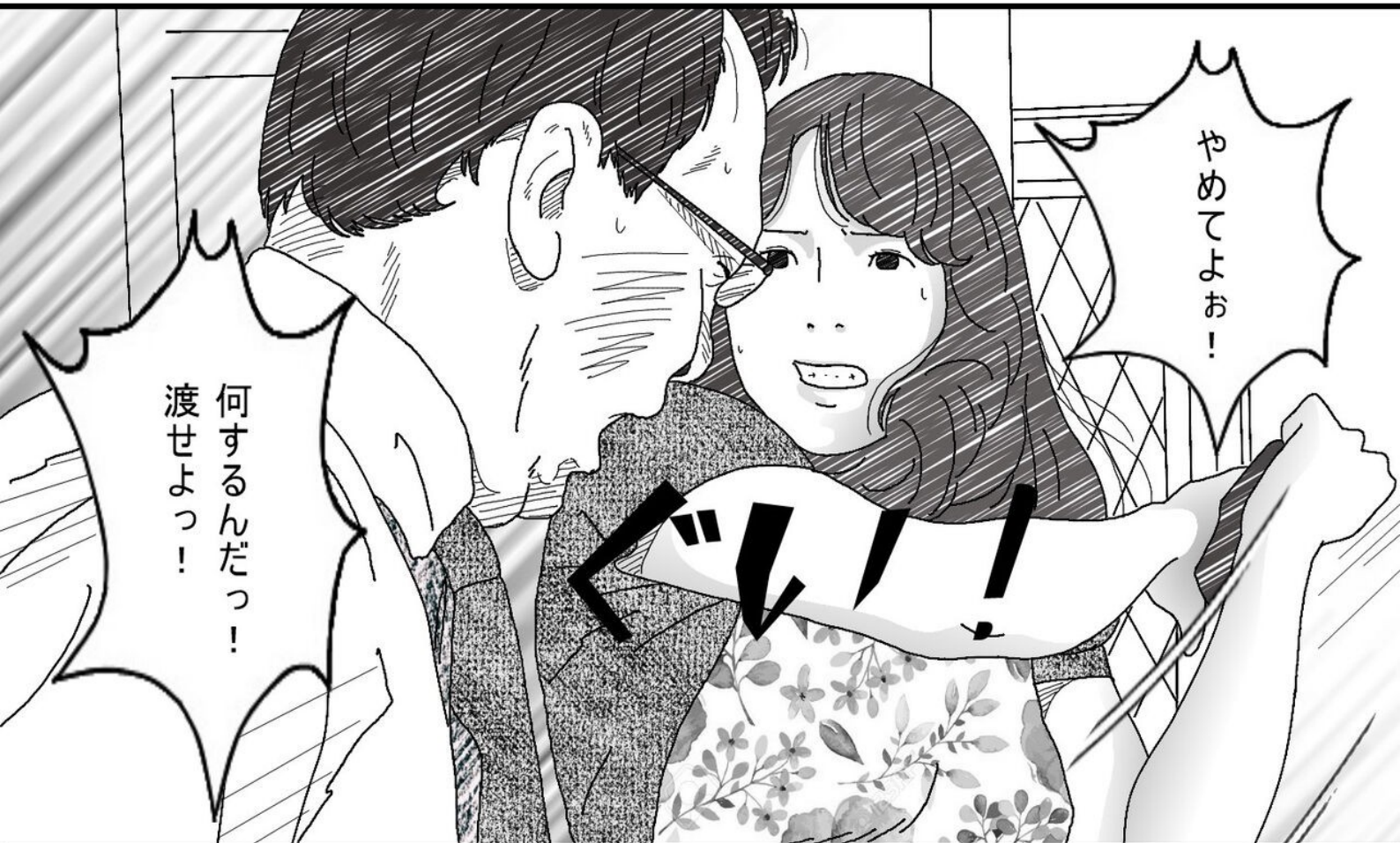
貴方?

がさごそ



おい！貴様あ！
俺の妻に手出した
のか！

ちよっと、
何処にかけて
るの？



何するんだっ！
渡せよっ！

やめてよお！



……ええ？

何もされて
ないわよっ！

はあ
はあ



何もされてないの！
ごめんなさい。
貴方が酔っぱらって
先に寝ちゃったから
頭にきてたの！

何だよ。



……ごめんね。

部長に怒鳴っちゃった
よ……やべえな……
どうしよう……

私から電話
掛ける。



もしもし、あつ部長
さんですか？はい、
あ、家内です……

先程はすいた。
ませんでした。

なんか、寝ぼけてた
みたいで……
はい、はい……本当に
そういうつもりは……

……



……ちよっと、俺にも
代わってくれよ。

……はい、大丈夫です。
……はい、分かりました。

……っえ！



す……



すみません

今、主人に替わります。



……
……

もし、もし！部長ですか？
すみません！先程は寝ぼけて
電話してしまいました！



うん。

…じゃあ、
行ってくるわ…。



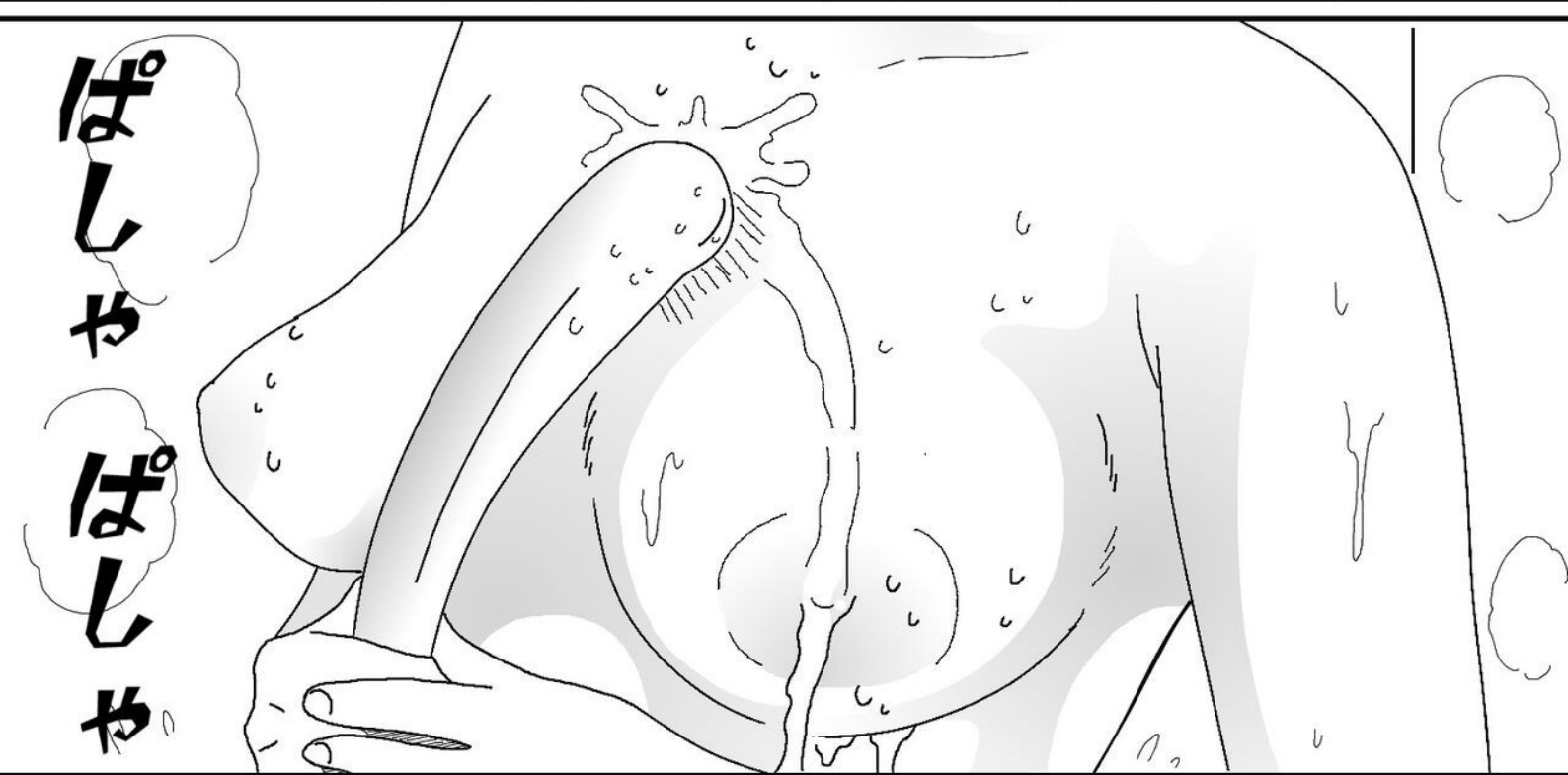
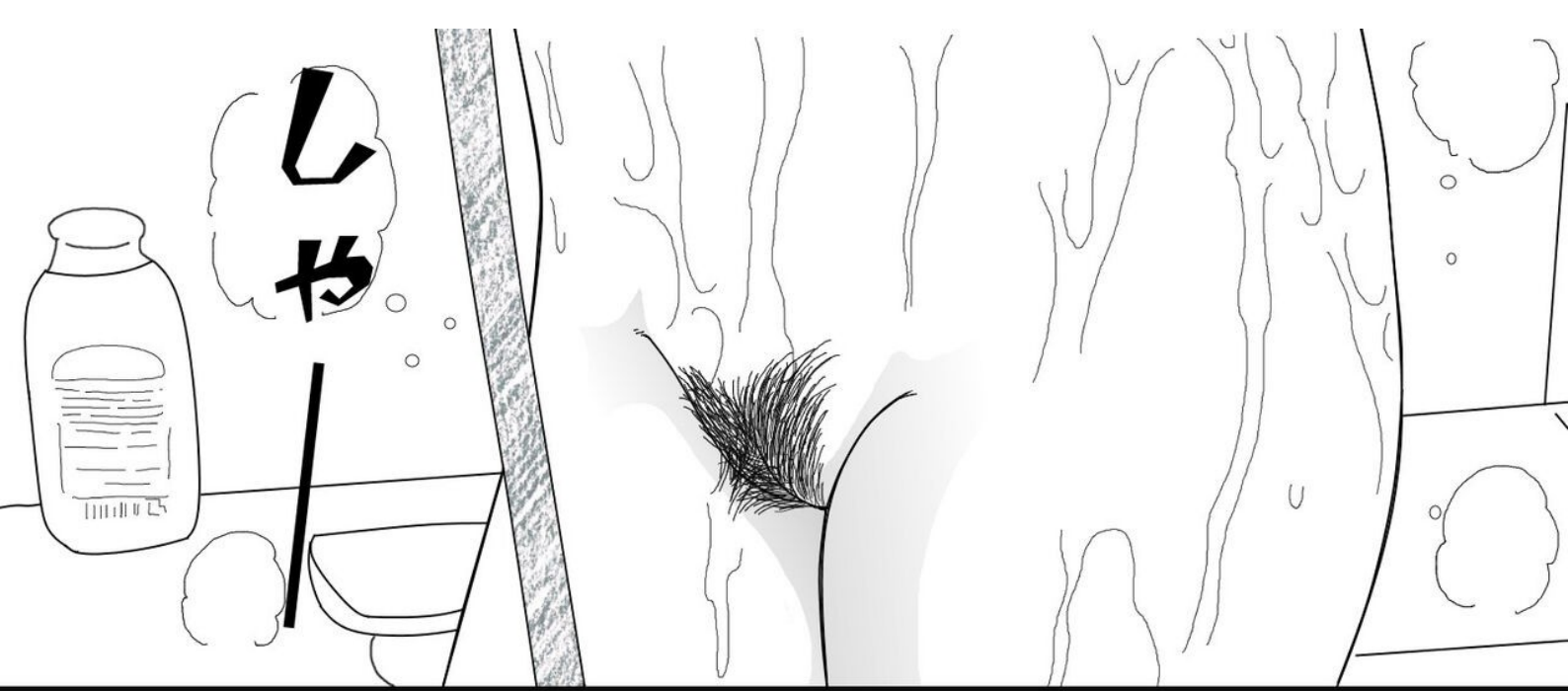
…ごめん…。
行ってらっしゃい。

本当にきつい
冗談やめて
くれよな…。



ばたん

…
…
…
…



がちや

.....





ちよっ!ちよっ!
やめてください!

昨日は時間がなかったから
余り楽しめなかったが。
今日はじっくり奥さんの
身体を楽しませてもらうぜ。



きゃあ!



きゃあ

ぐっ



いやあ!やめて!
やめてください!

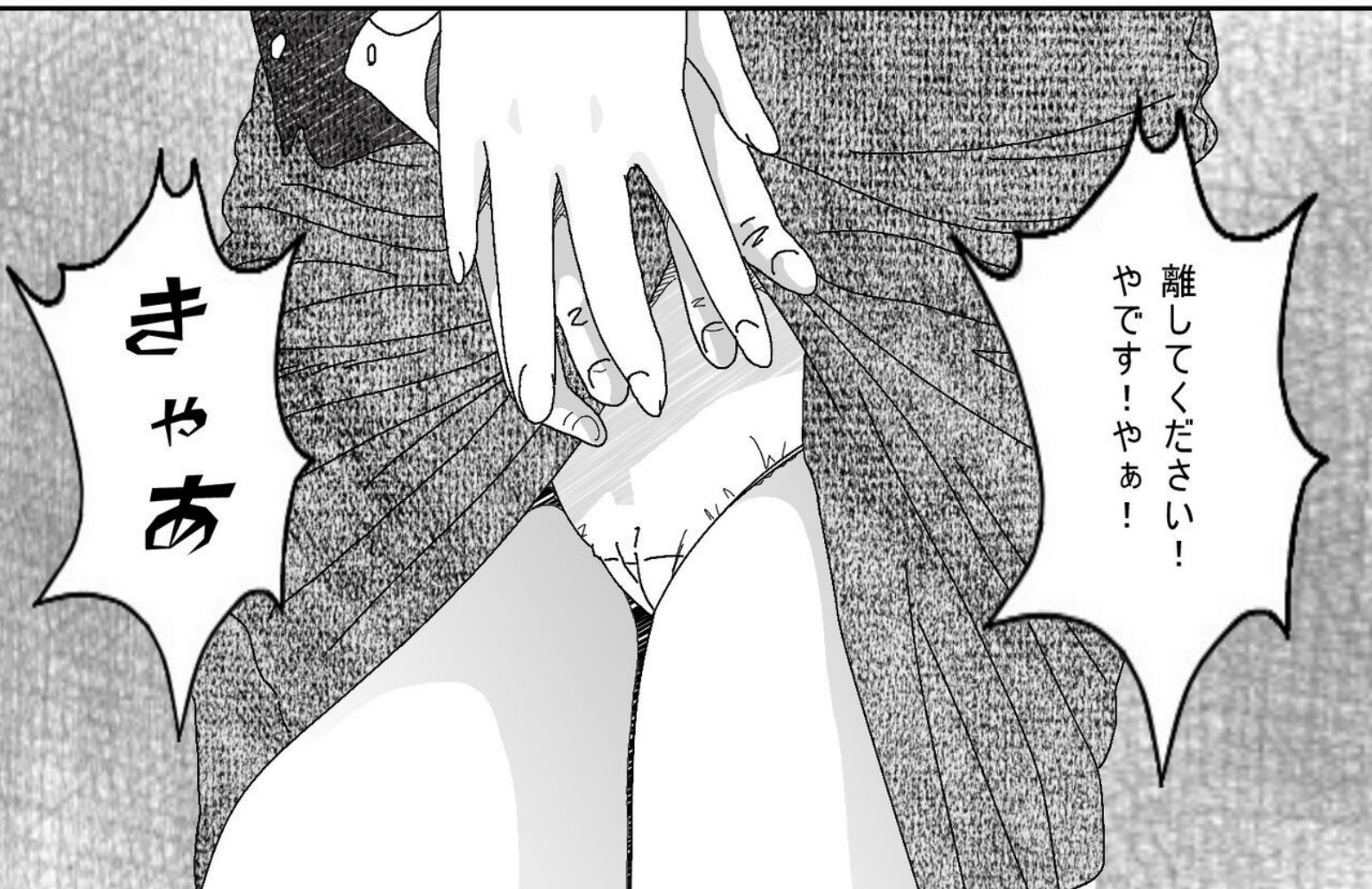


やめてください!!



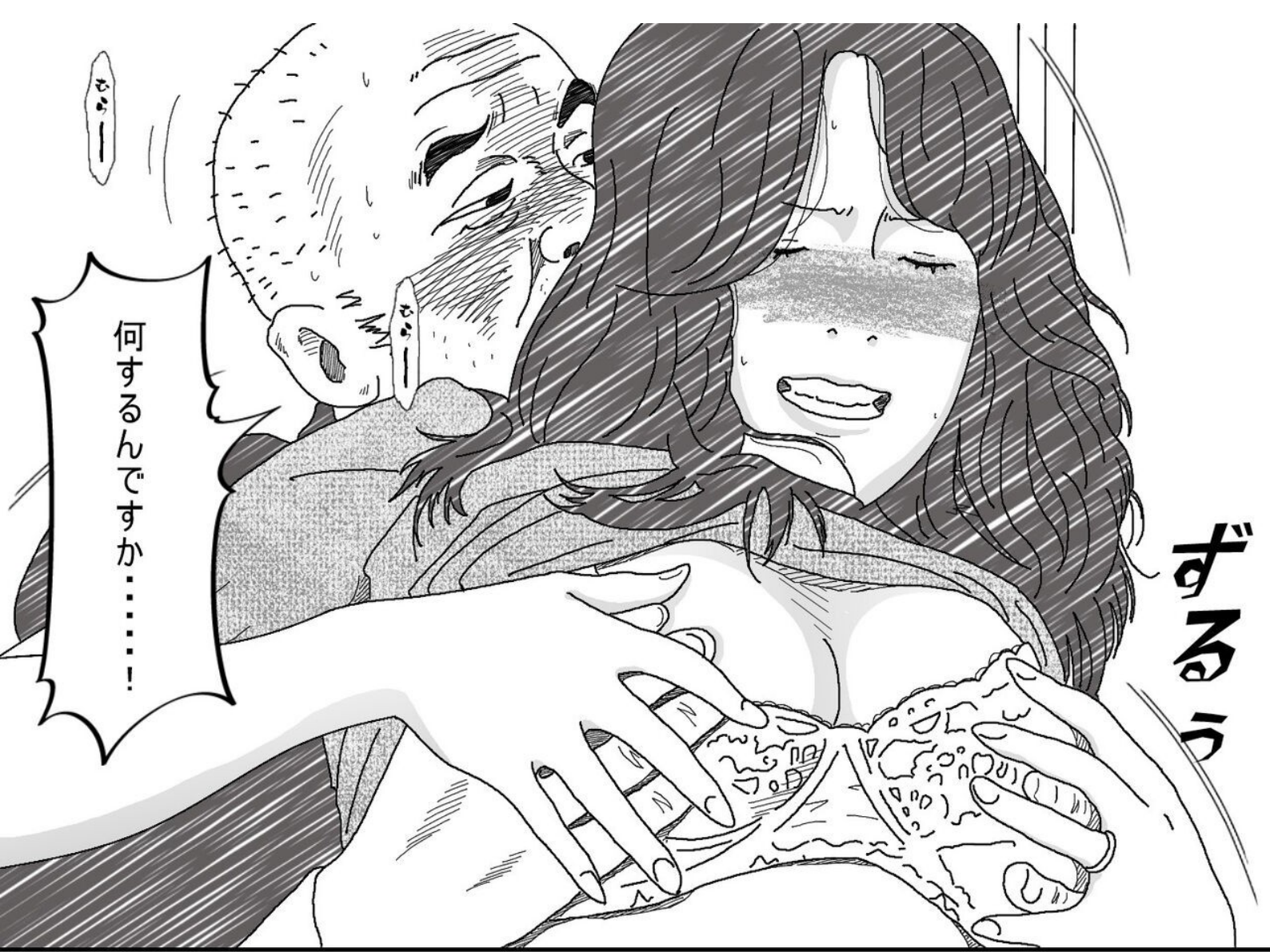
まやあ

たふん



まやあ

離してください!
やです! やあ!



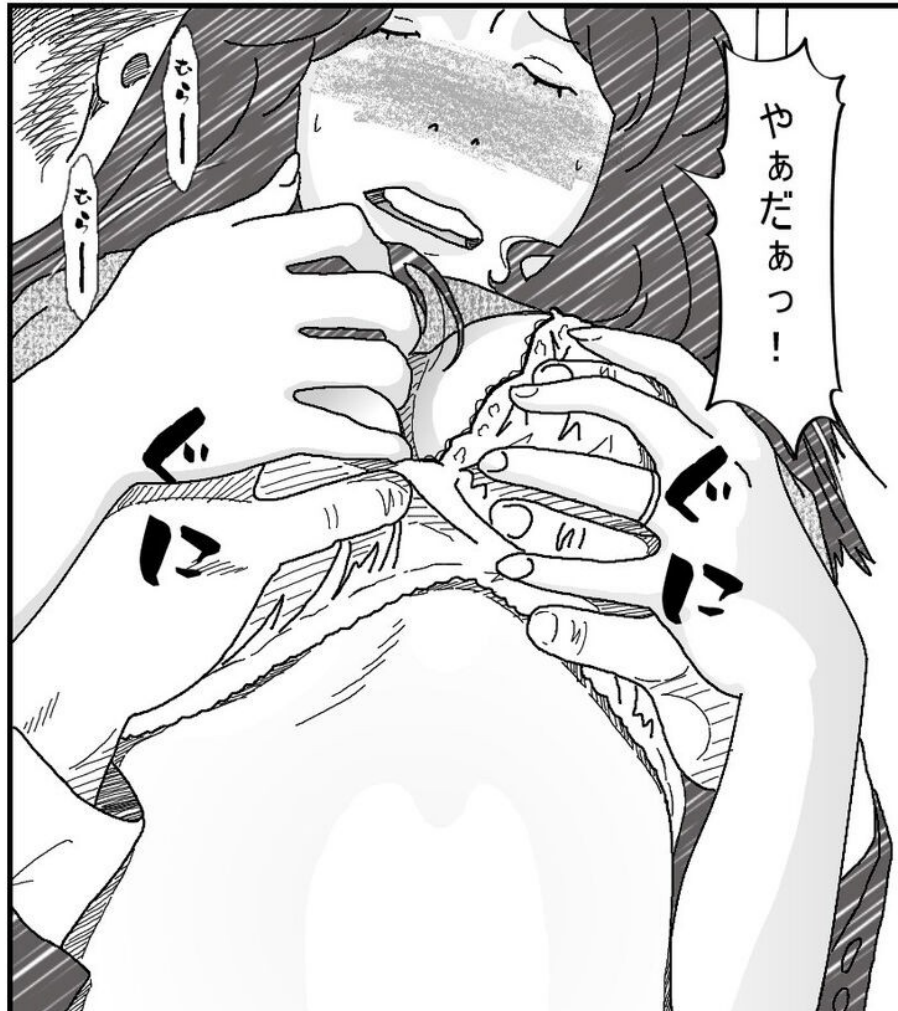
何するんですか……!!

ずるん



やあ!!

がく



やあだあっ!!

びい

だっ

痛いっ!

おら! こっち
来るんだ!

良かったんだろ?
え〜……? ?

ま
ら
う

う
う
う!

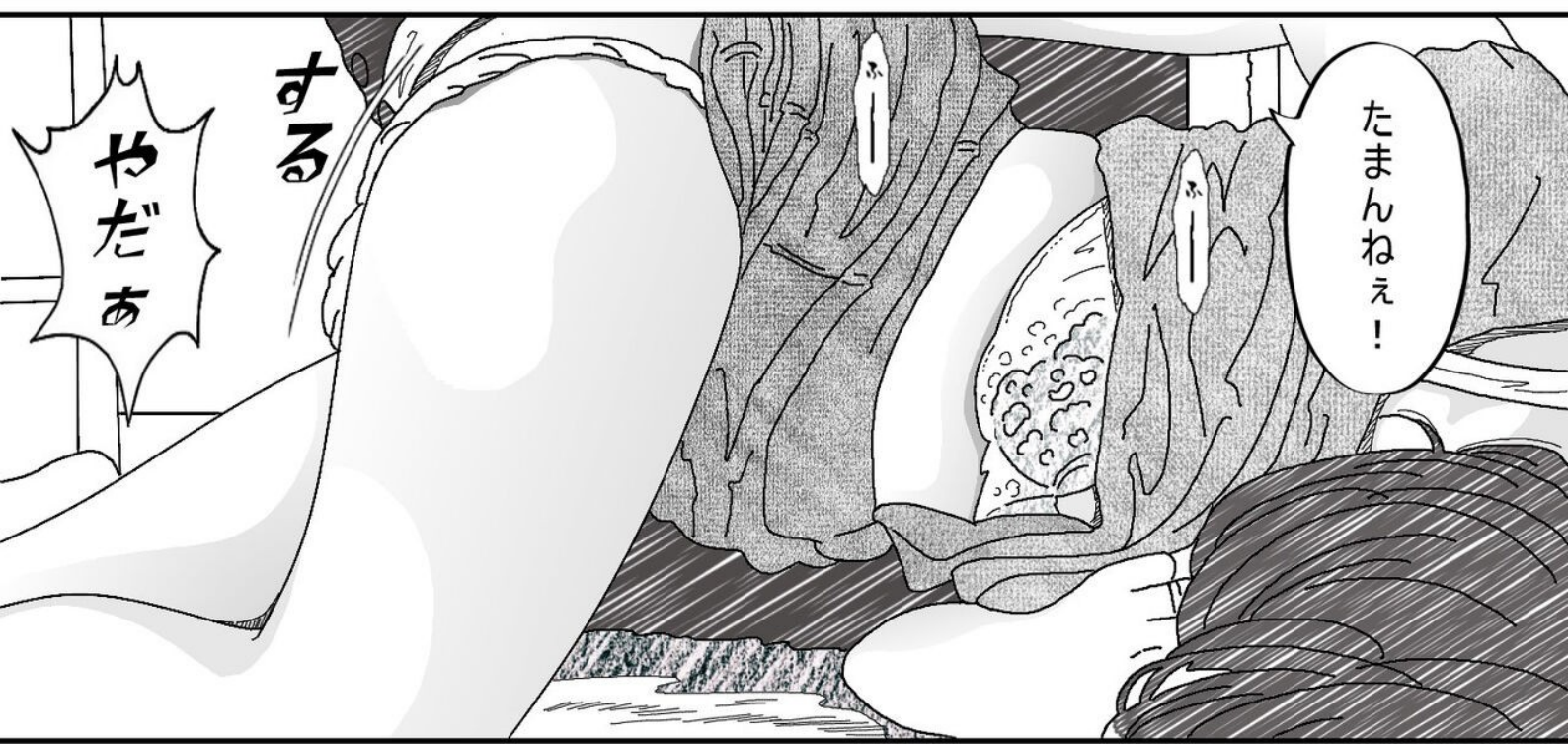


奥さあん……!

ま
ゆ

やあっ

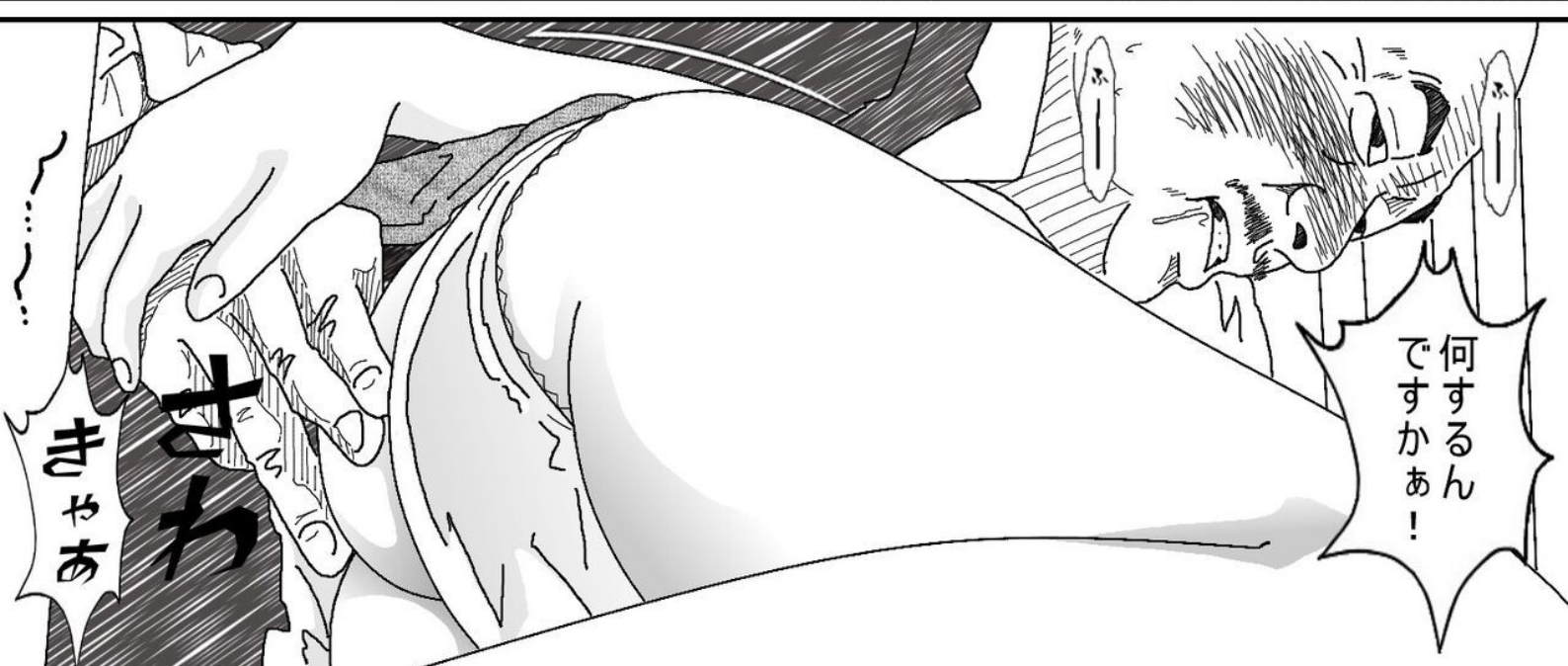
じ
た
ば
た



たまんねえ!

する

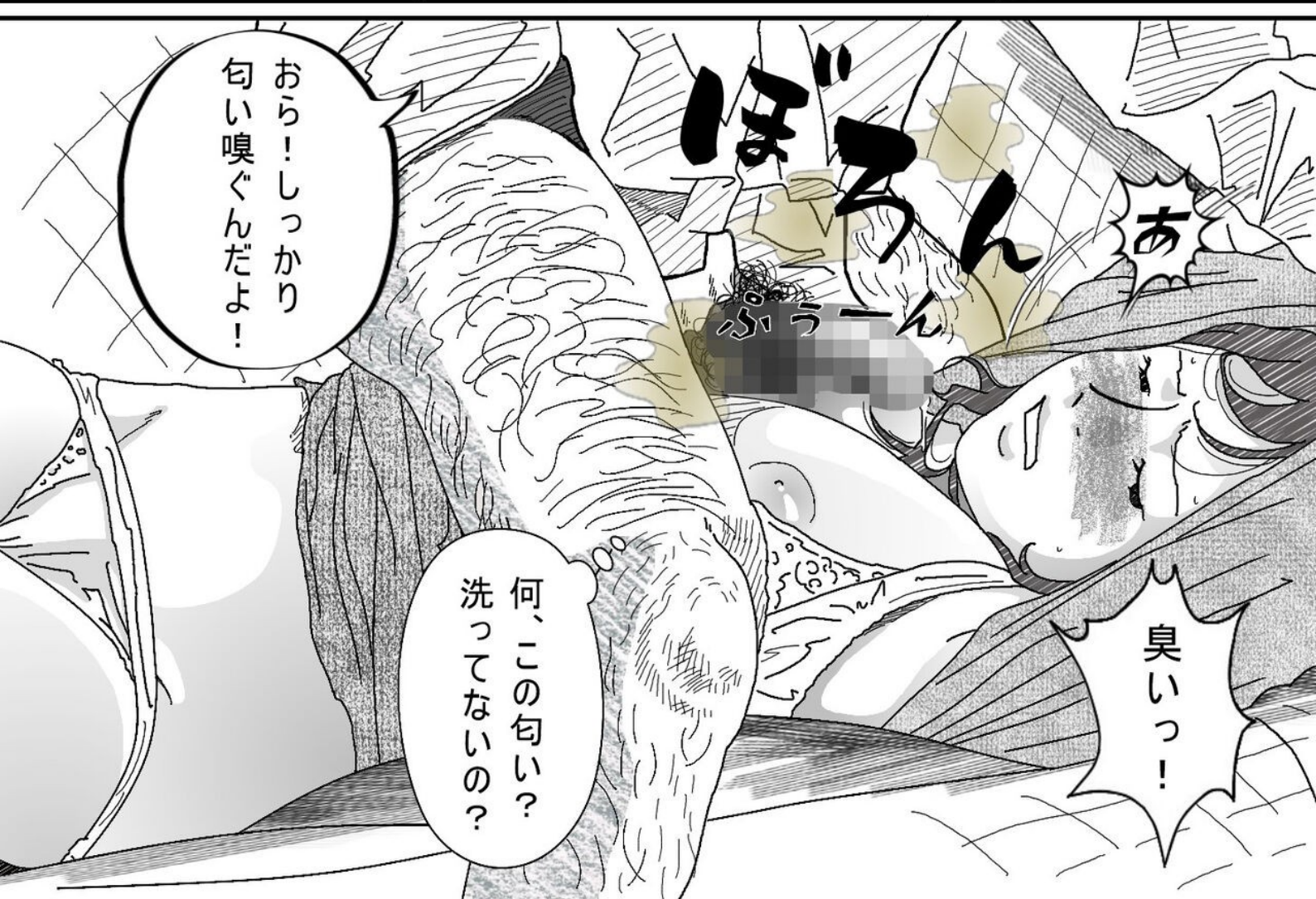
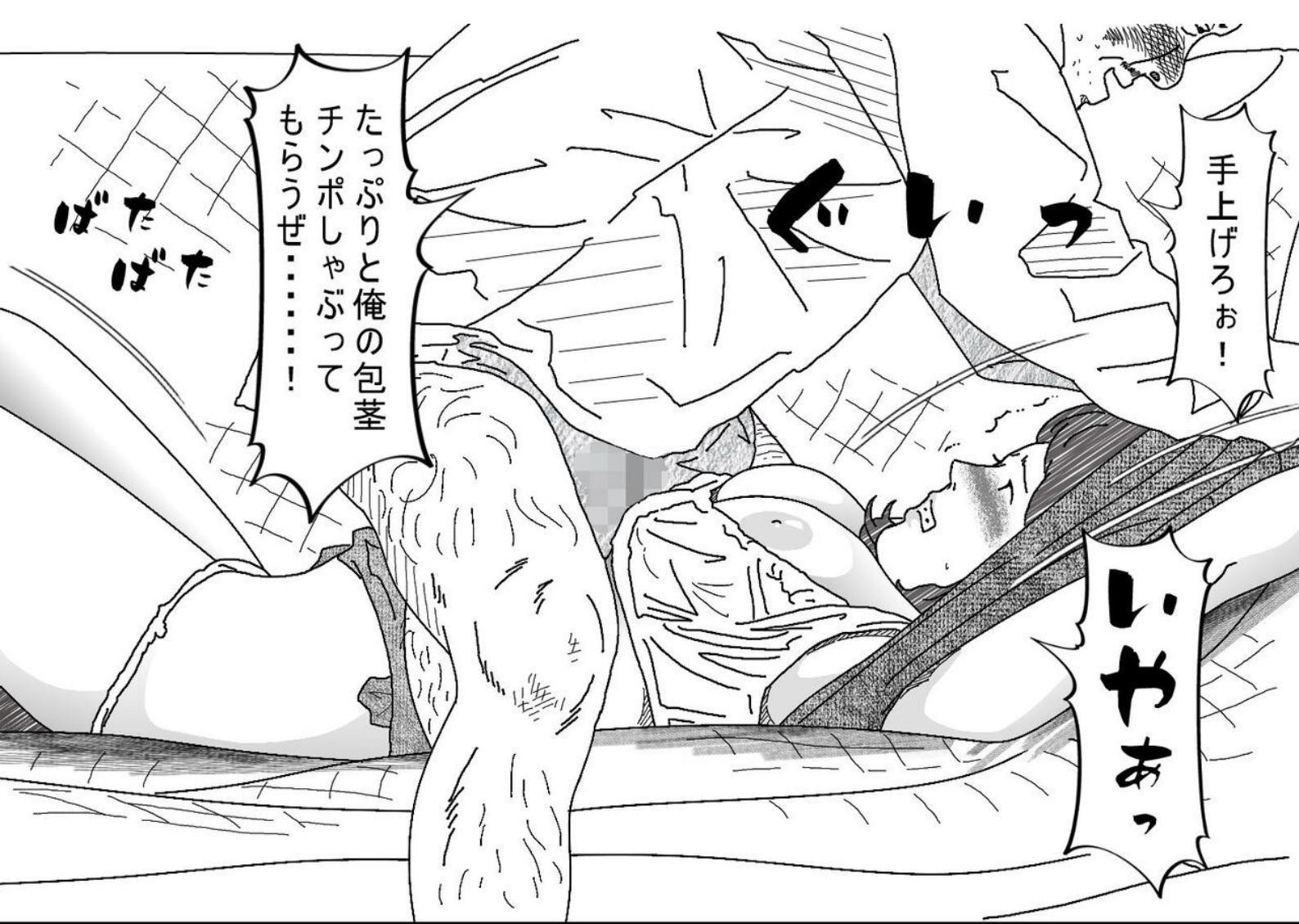
や
だ
あ



何するん
ですかあ!

ま
や
あ





うう

臭い〜！
汚い……！！

おい！何顔背けて
んだよ？匂い嗅げ
ってんだろうが。

フーン

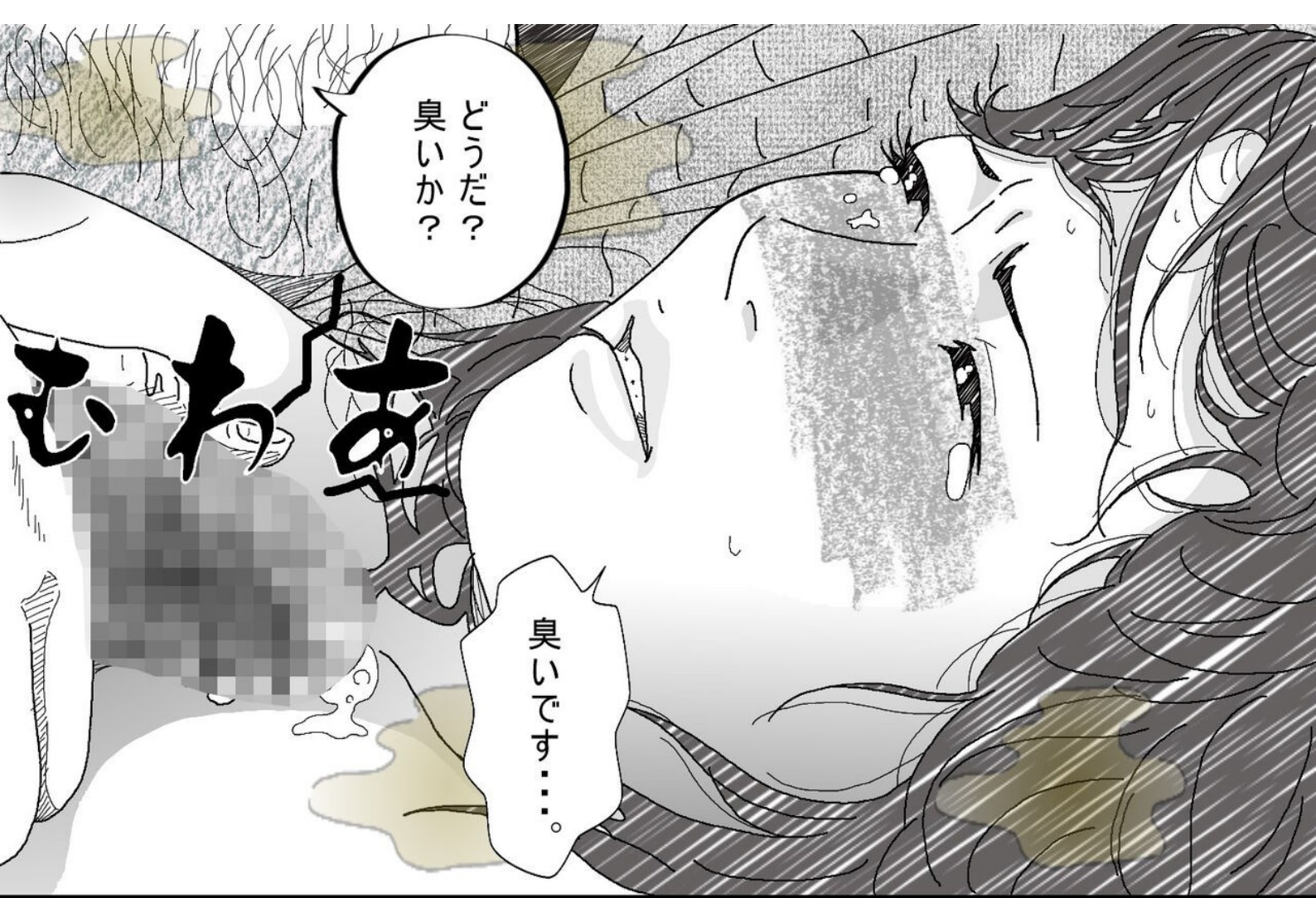
ごほ

ごほ

うぎい〜……
やめてください……！！

めちゅ
めちゅ

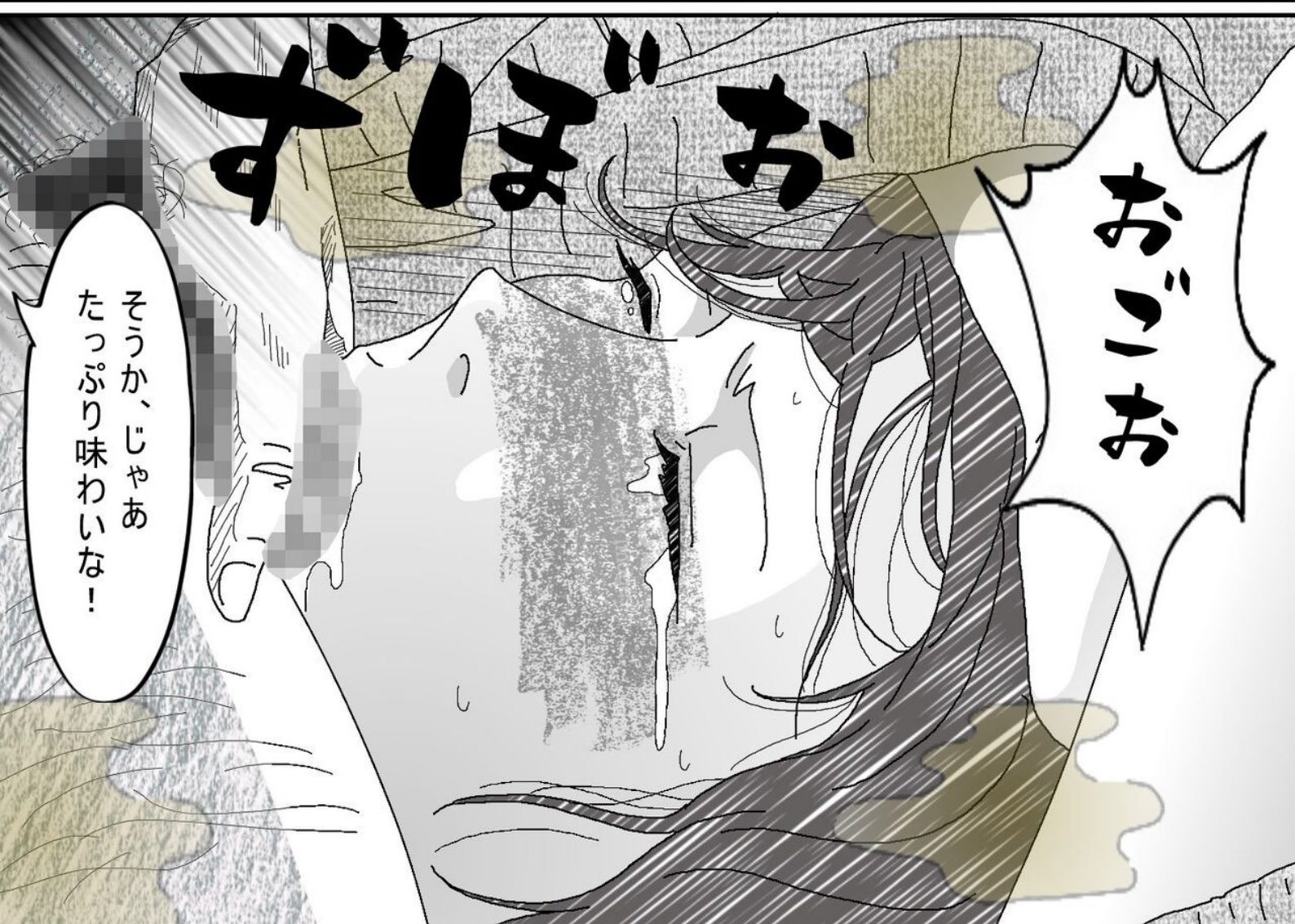
この乳でよ、包茎チンポの
パイズリしてみたかった
んだよ。



どうだ？
臭いか？

むわん

臭いです…。



そうか、じゃあ
たっぷり味わいな！

おほお

おほお



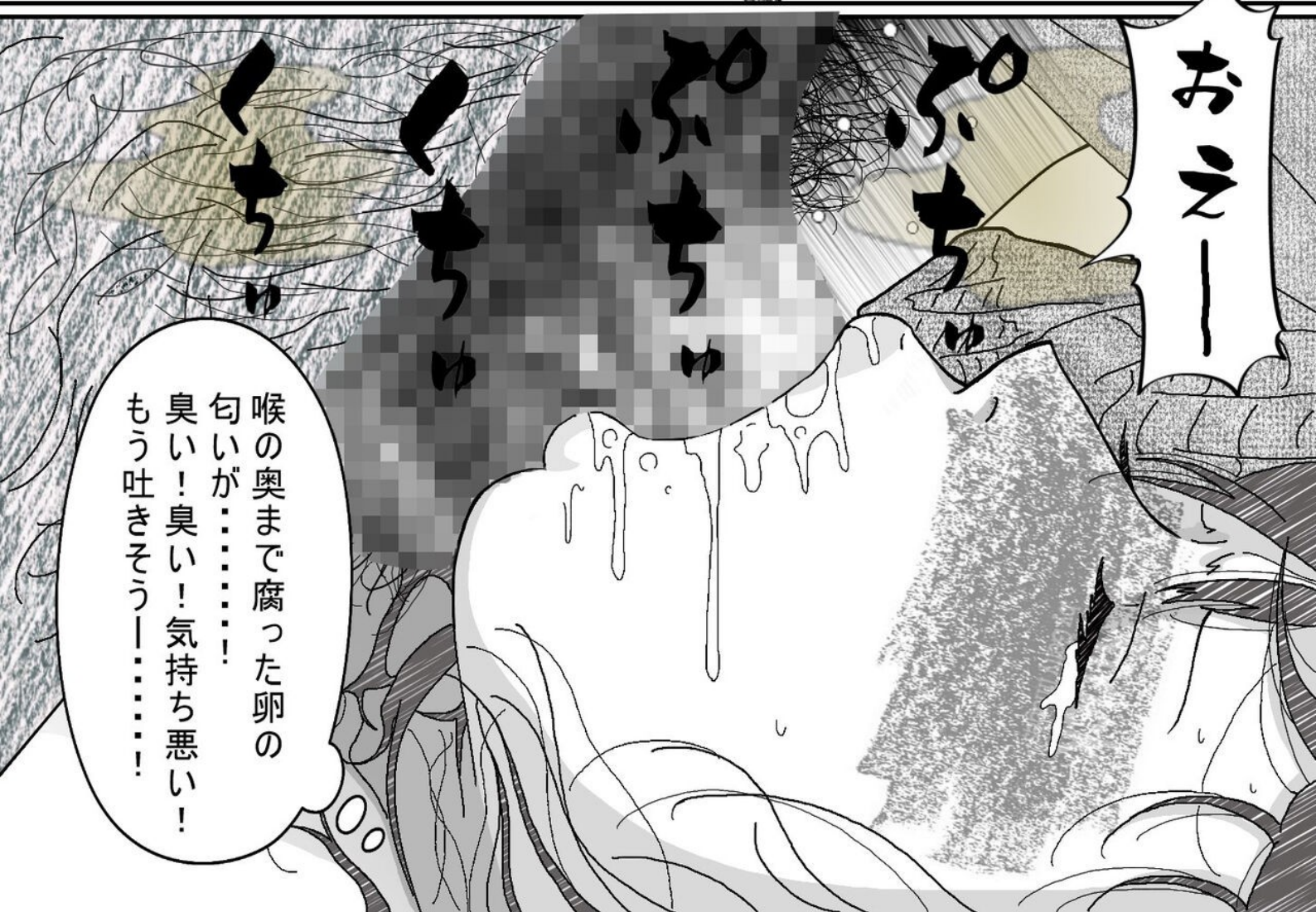
チンカスマミれの包茎チンポの味はどうですか奥さん？

ん

ん

ん

ん



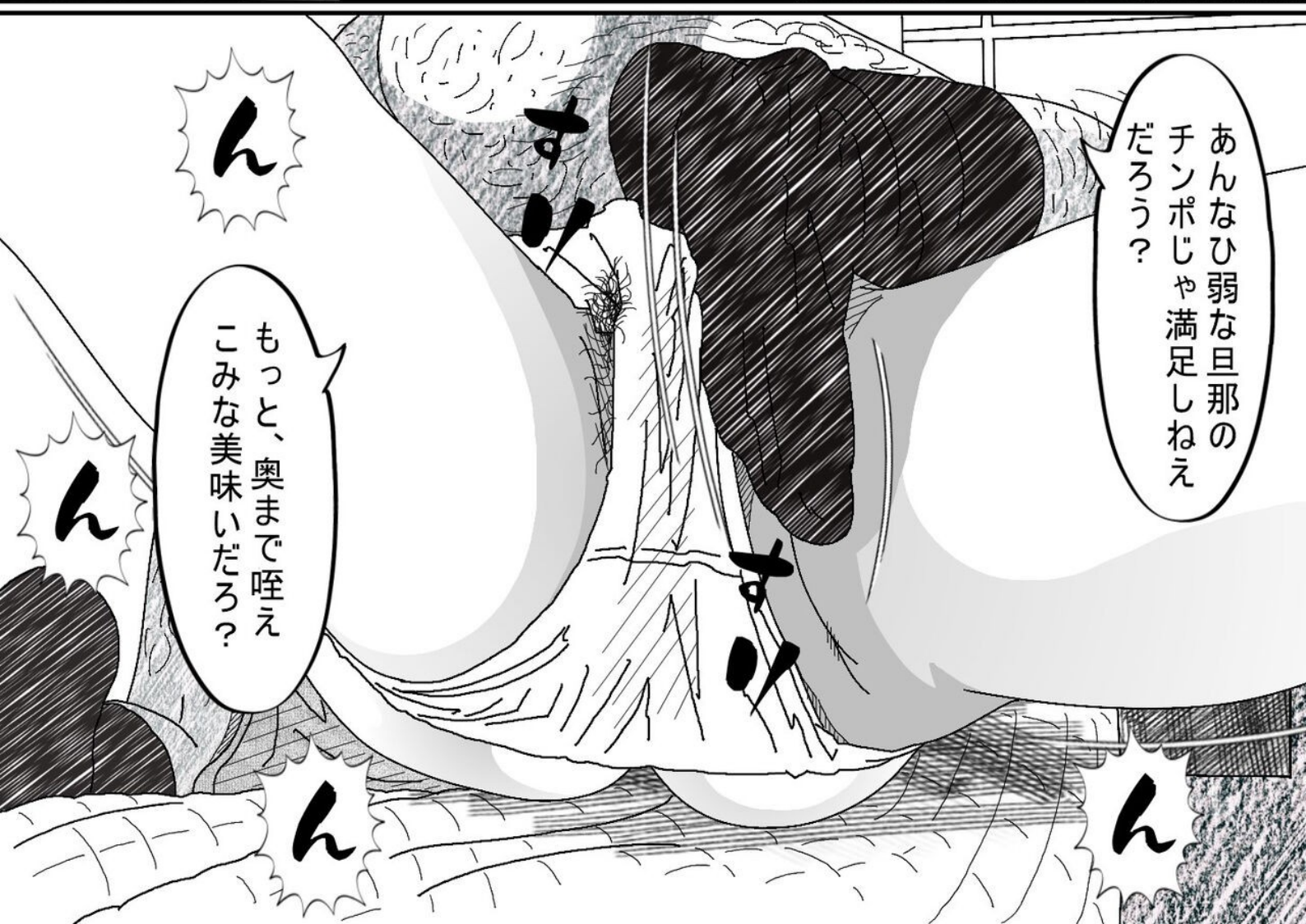
おぞー

喉の奥まで腐った卵の匂いが……！！
臭い！臭い！気持ち悪い！
もう吐きそう……！！



奥さん結構
Mなんだな。
その目で解るよ。

ん
く...ううく
ん

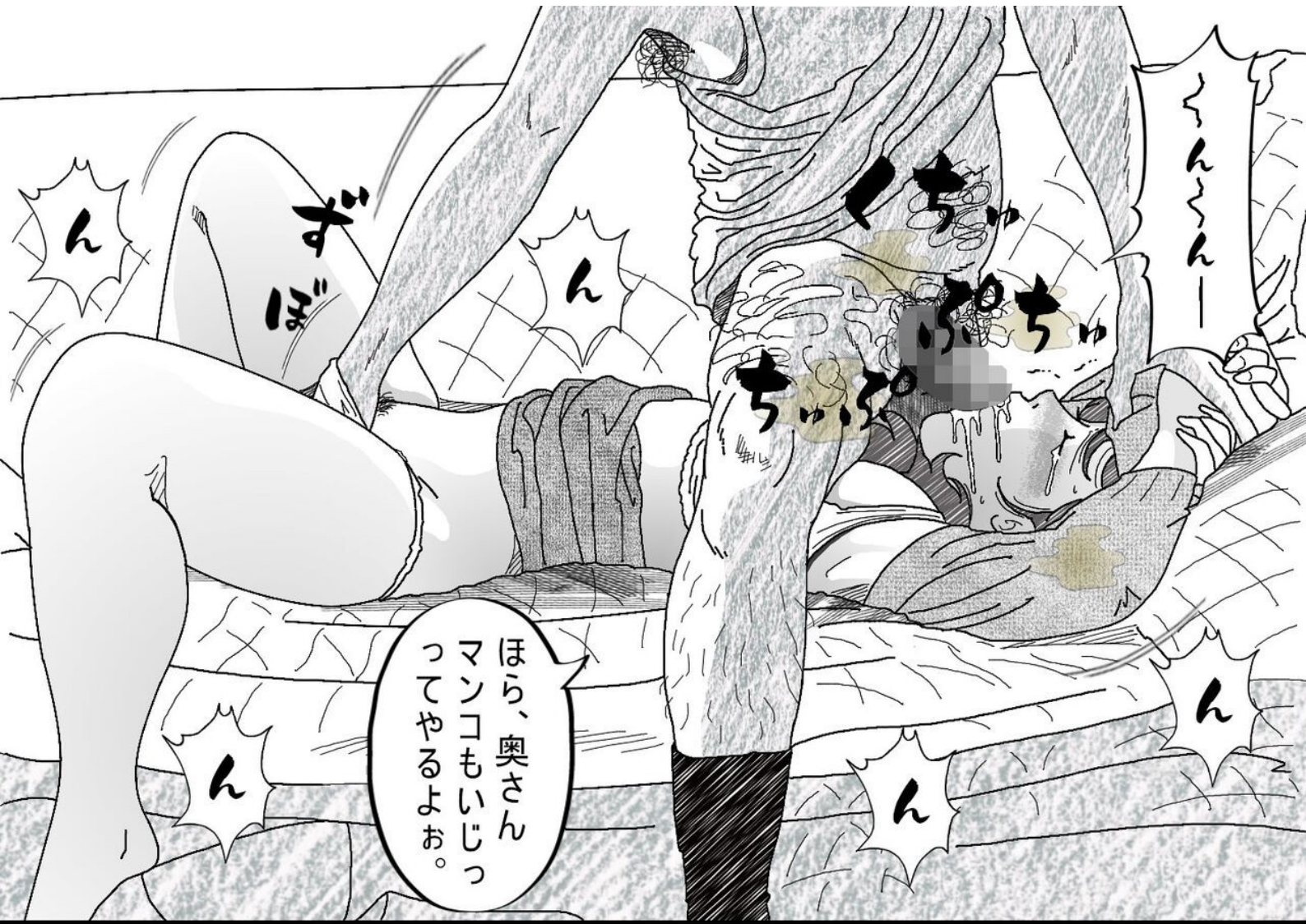


あんなひ弱な旦那の
チンポじゃ満足しねえ
だろう？

もっと、奥まで啜え
こみな美味いだろ？

ん
ん
ん

すっ
すっ
ん



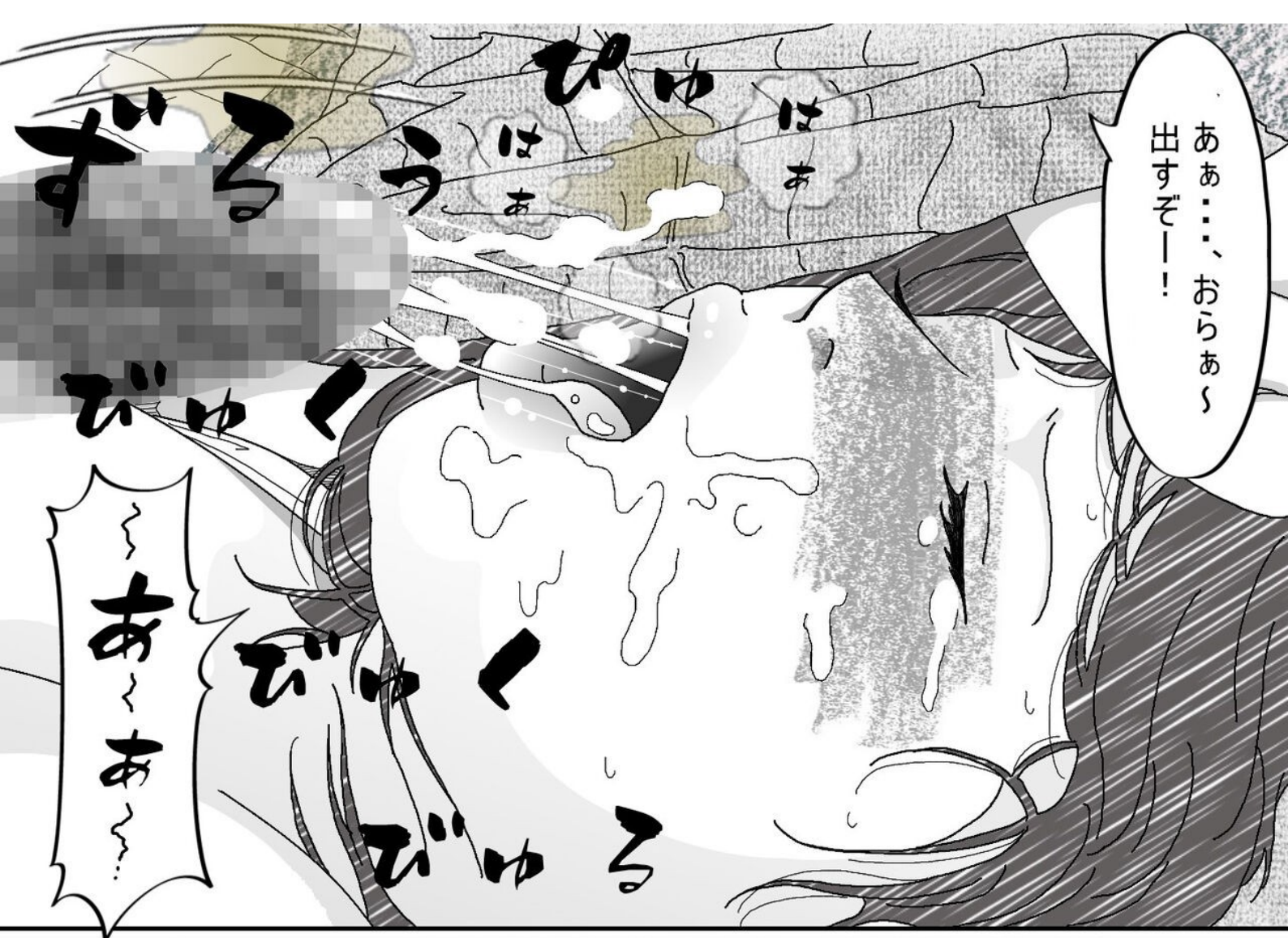
ほら、奥さん
マンコもいじっ
ってやるよお。



奥さん毛深いね！
パンツから毛が
はみ出しちゃって
るよ！



なんだかんだ言って、
奥さんマンコがぐちゅ
ぐちゅじゃねーか。

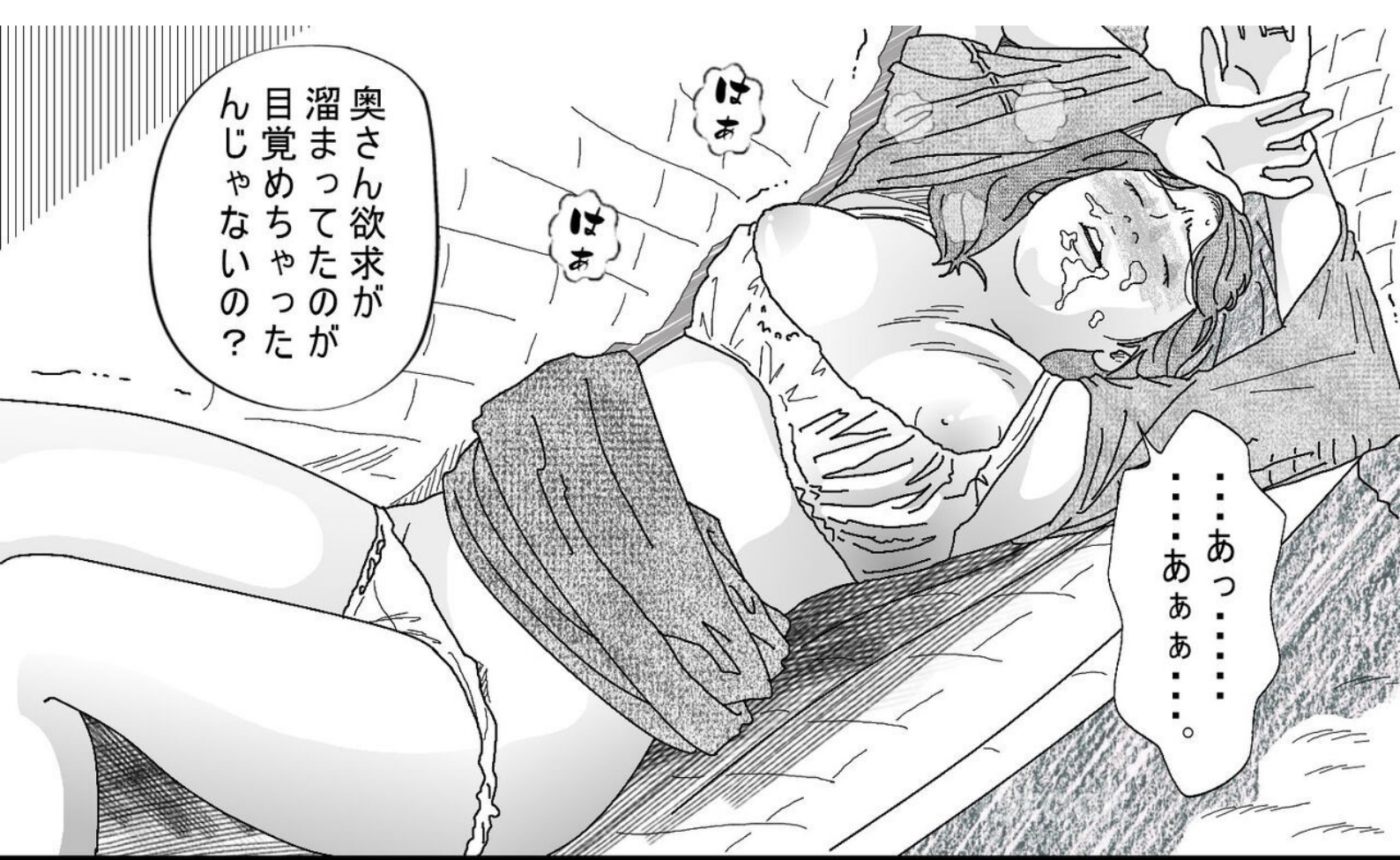


ああ……、おらあゝ
出すぞー！

あゝあゝ



……あっ……
ああ……



奥さん欲求が溜まってたのが目覚めちゃったんじゃないの？

……あっ……
……ああ……。



いゆる いゆる いゆる

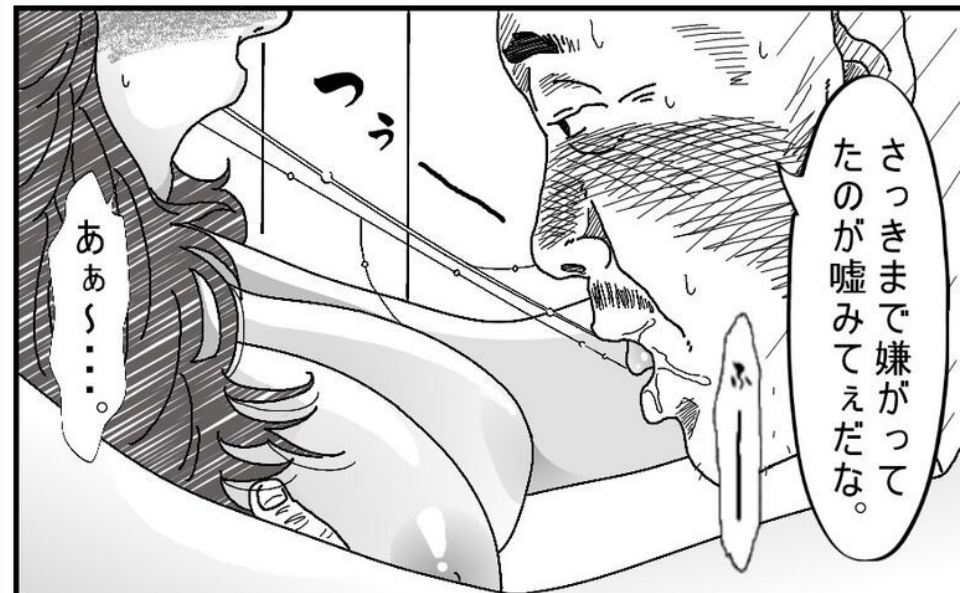
むにむに

ああ……、良い！



……うん……
……ん……んふう。

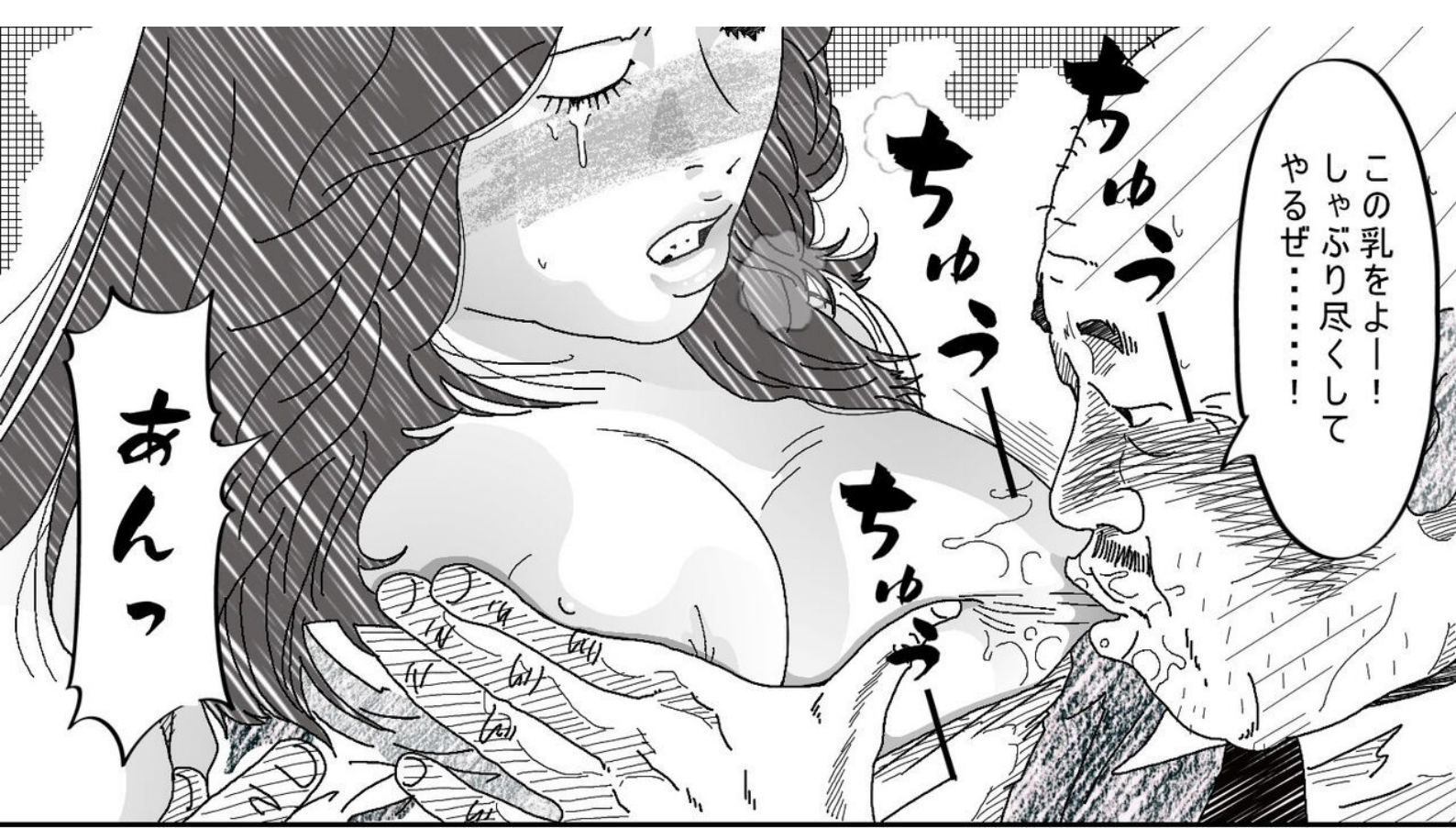
くちゅ くちゅ くちゅ



ああ……。

さっきまで嫌がってたのが嘘みてえだな。

ふー



この乳をよー！
しゃぶり尽くして
やるぜ……！！

あんっ

ちゅー

ちゅー



んー

べろべろ



んぶ

たろたろ



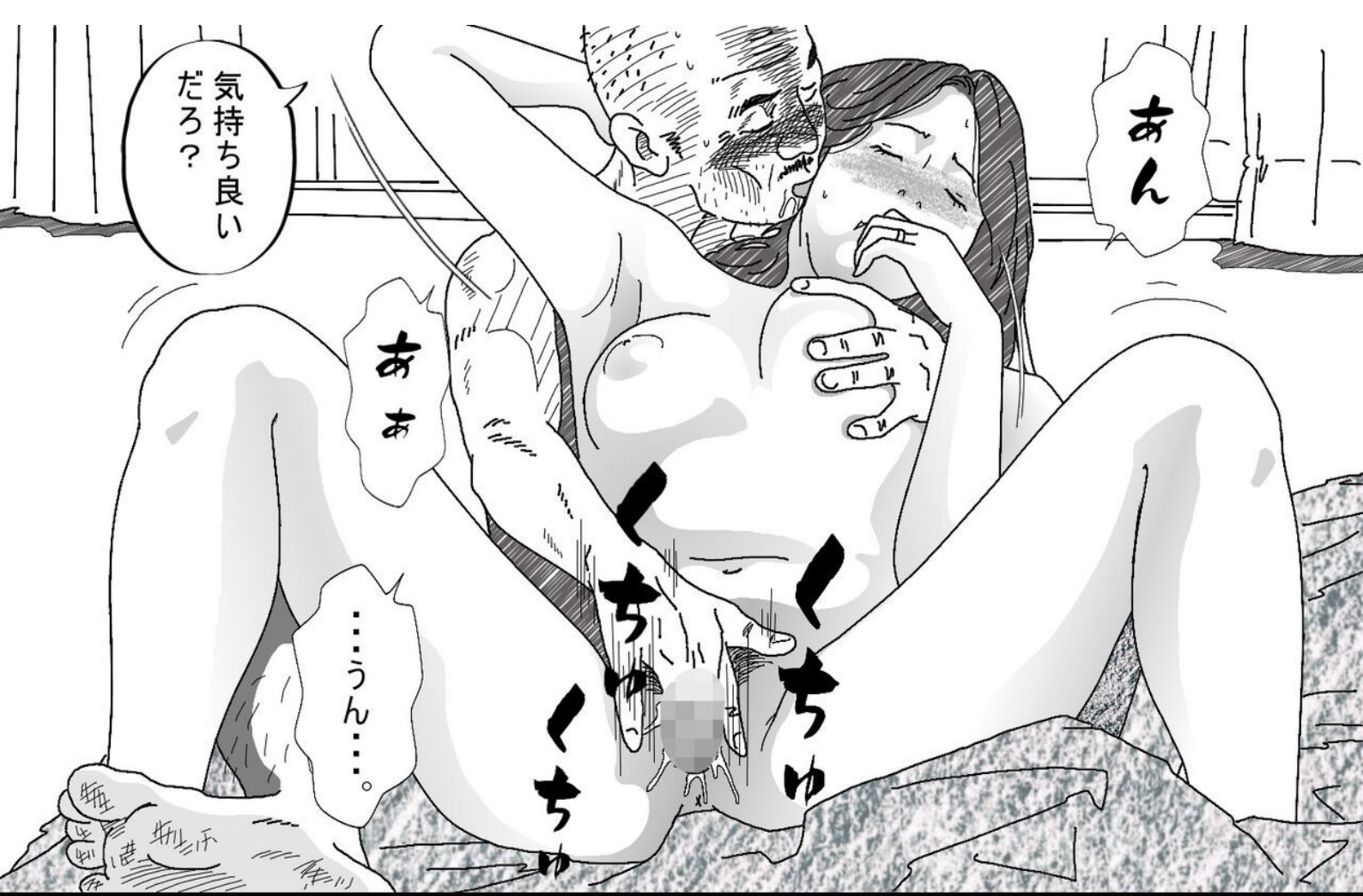
あー

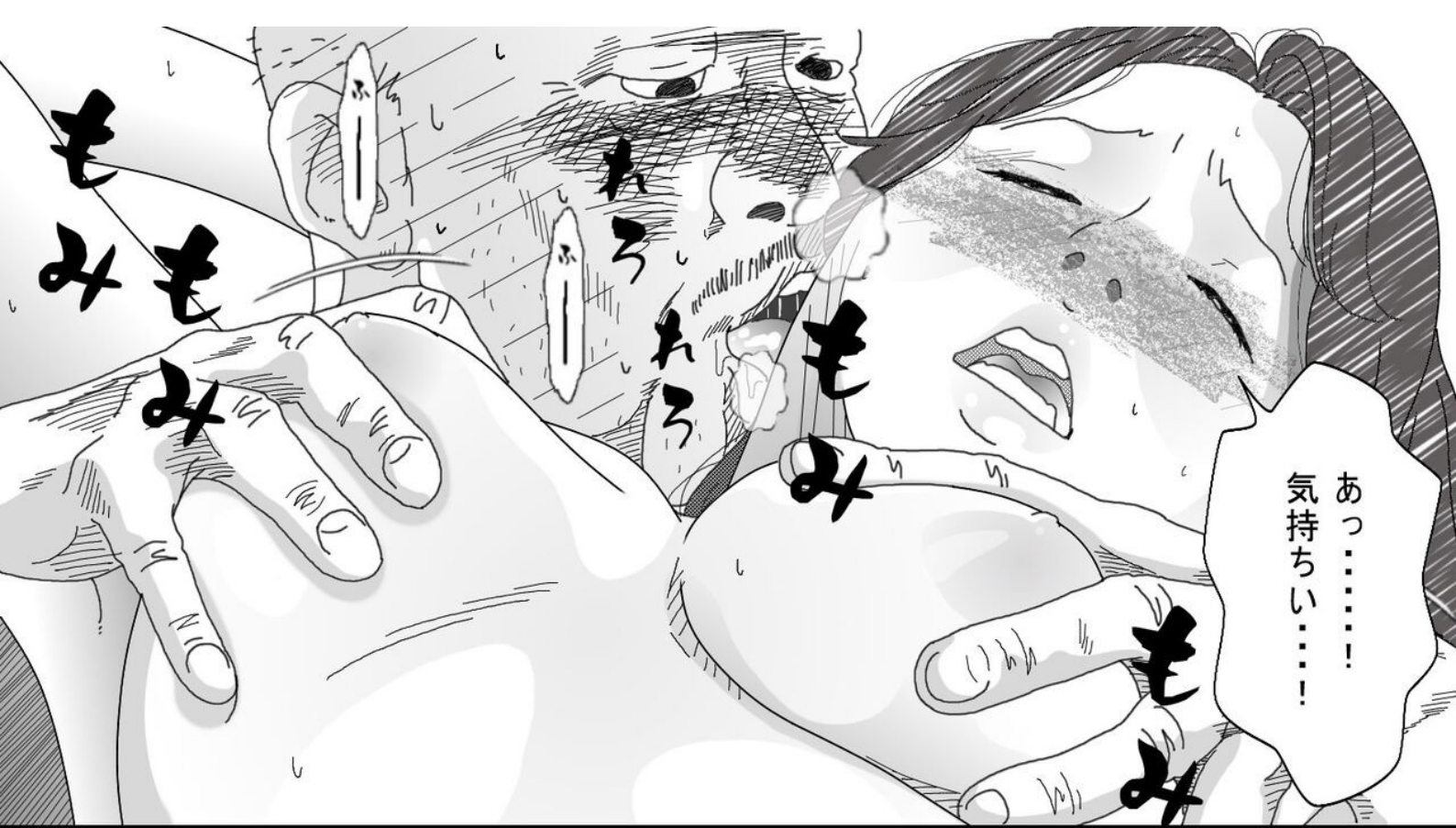
おとー



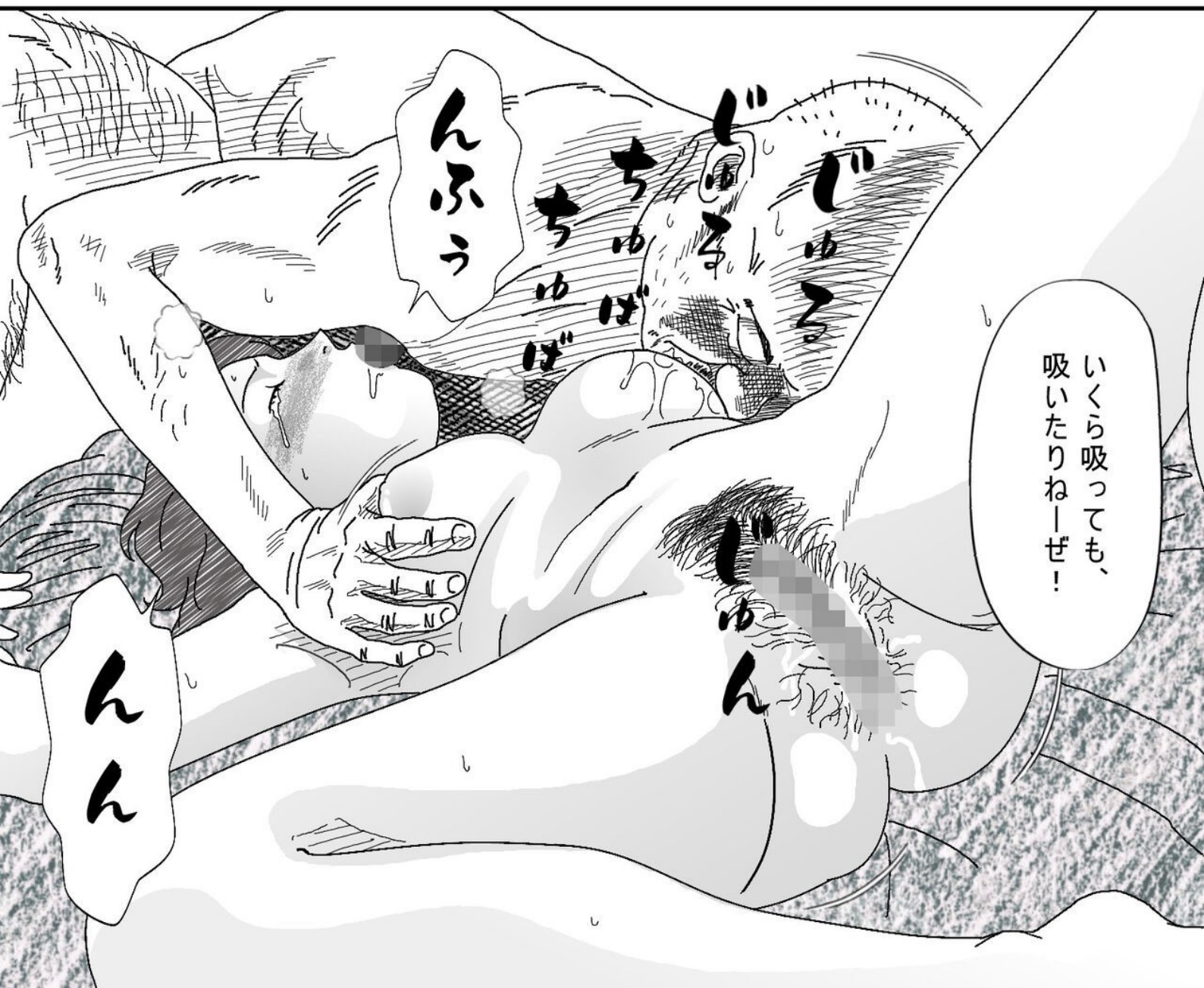
んぶー

ちゅー





あっ……!!
気持ちい……!!



いくら吸っても、
吸いたりねーぜ!

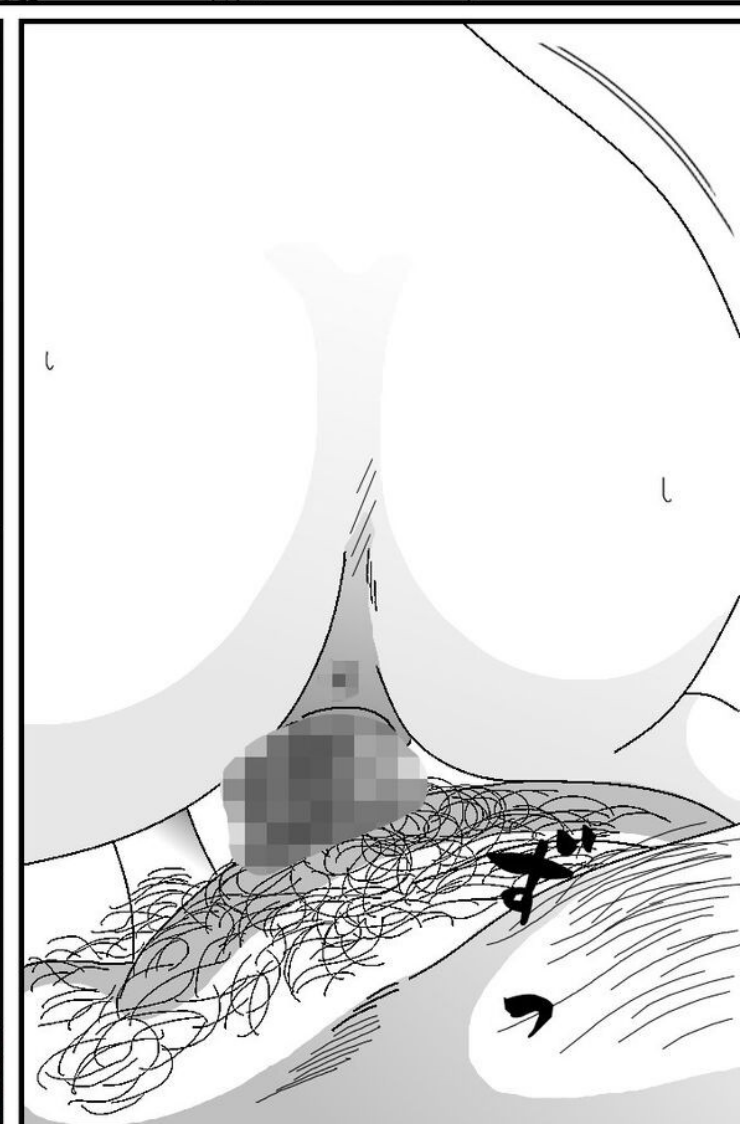
んふう

ちゅばちゅば

じゅる

いん

んん





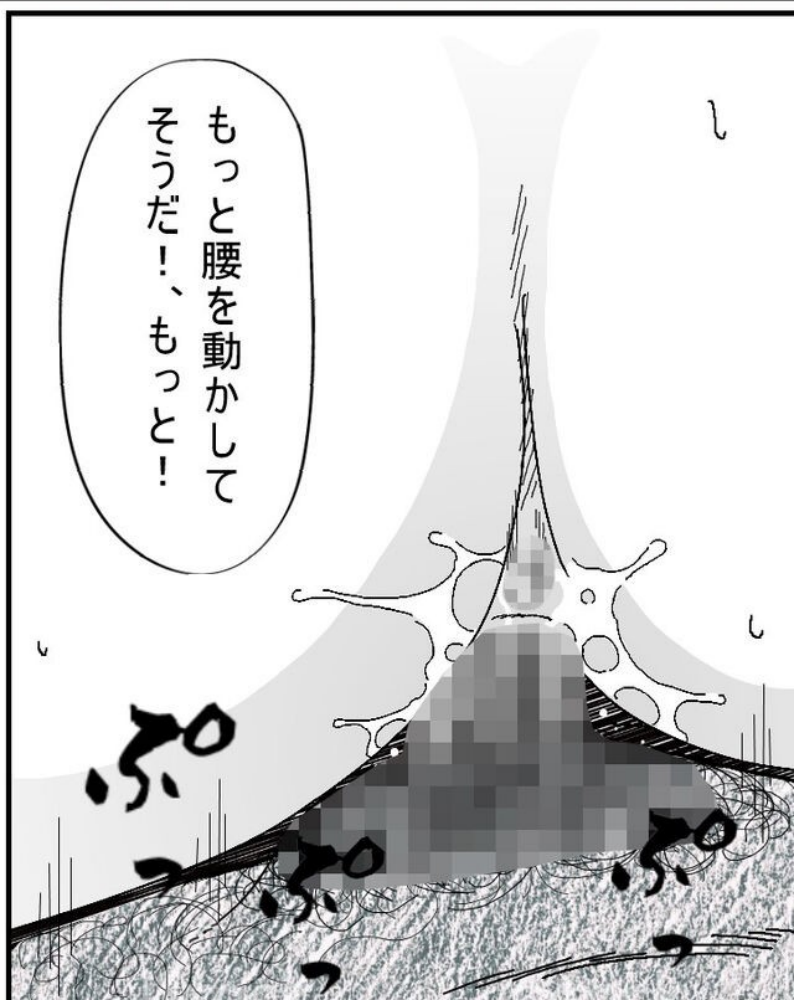
あんっ！奥に
当たって
気持ちいの！

あんっ！気持ちい！



あん

あん



もっと腰を動かして
そうだ！、もっと！



子宮の奥まで
入って来るの
気持ちいい……!

俺みろよ……、たまんね
えよ……。綺麗な顔して
ドスケベだよな……。

奥さん、尻の穴
丸見えだぜ!



いやあ……、
恥ずかしい
です……!!

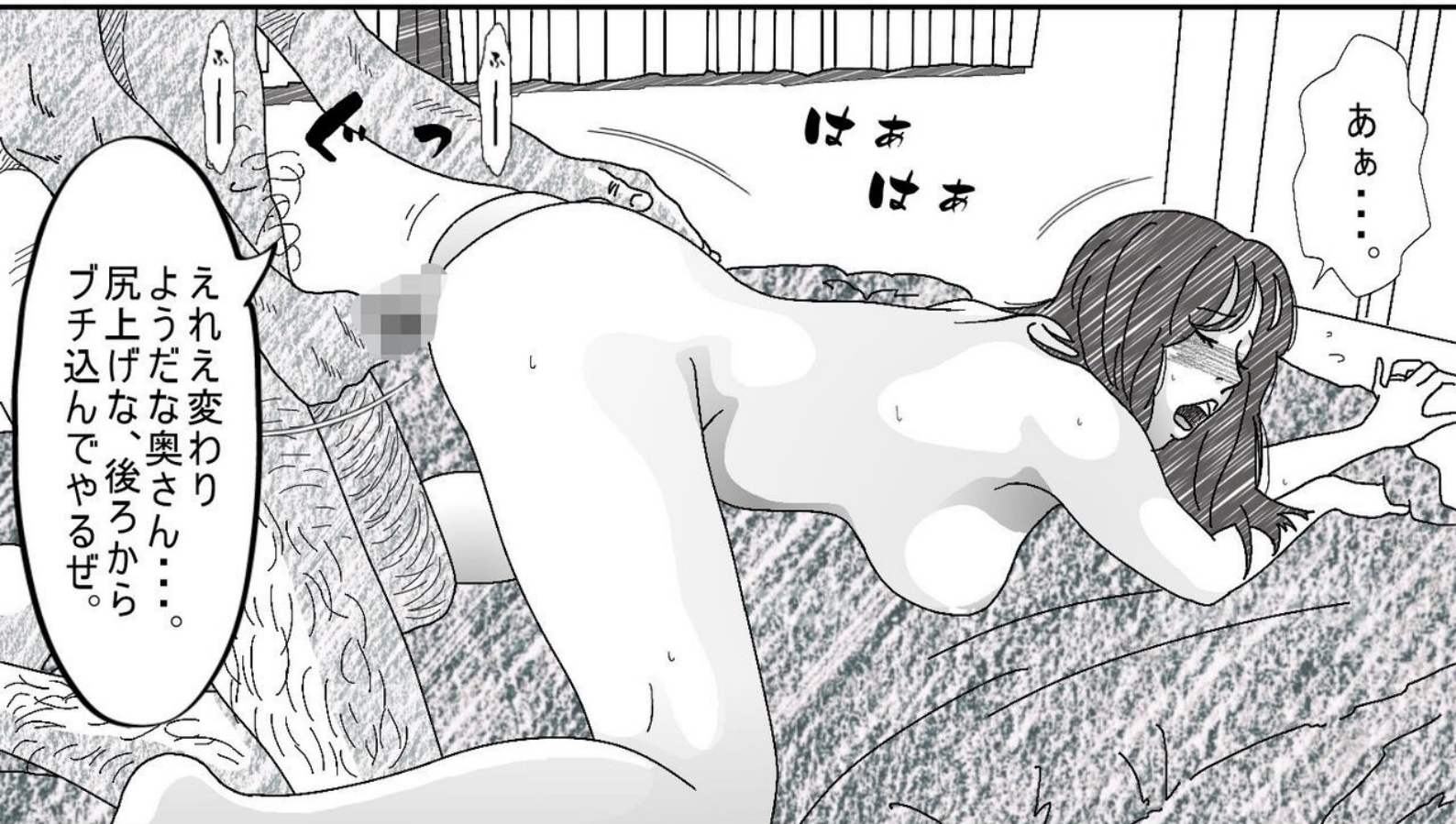


すげー、いやらしいぜ
奥さんよ……。



すげえぜ、
奥さん……。

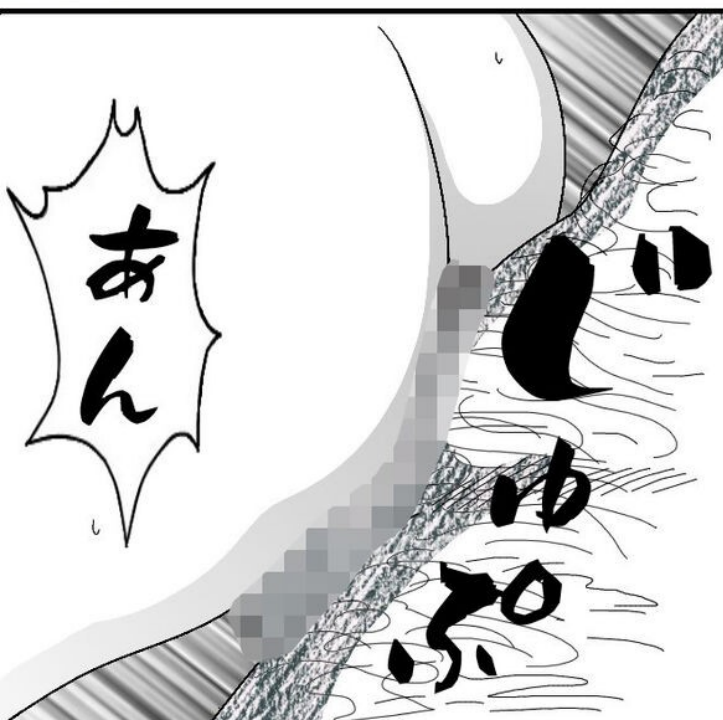
ああん……
んふう……。



ああ……。

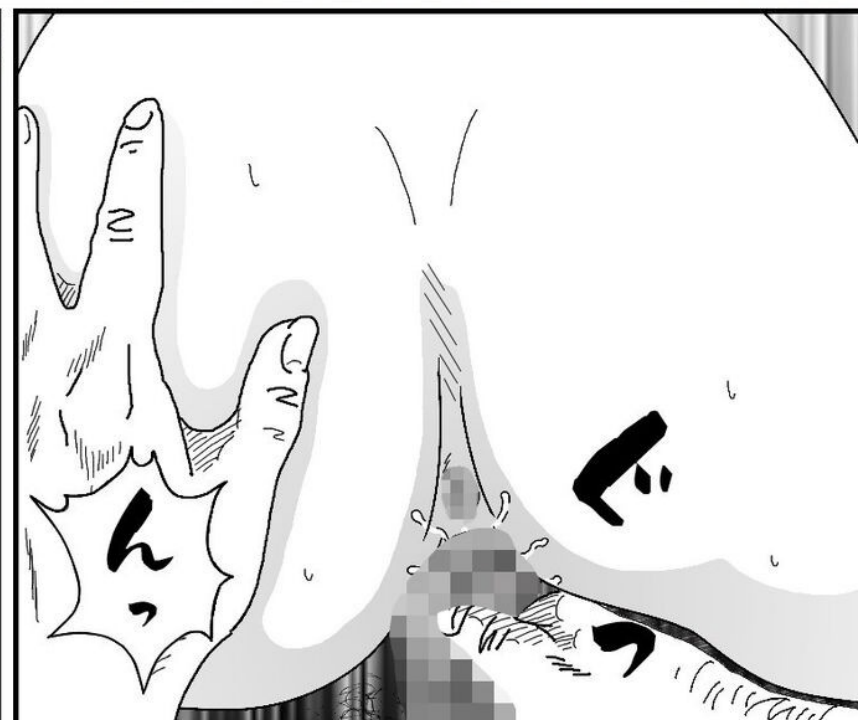
はあ
はあ

えれえ変わり
ようだな奥さん……。
尻上げな、後ろから
プチ込んでやるぜ。



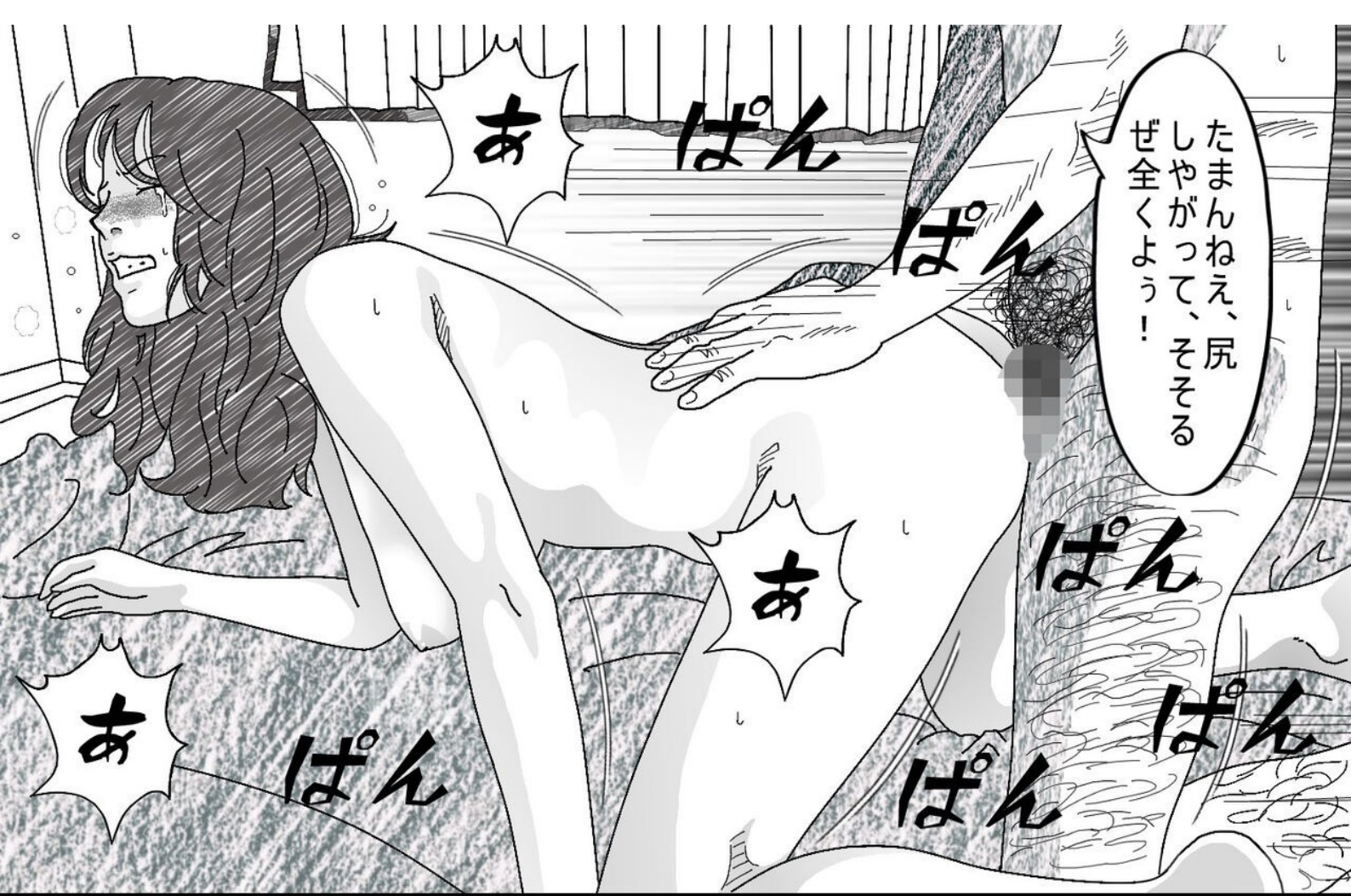
あ
ん

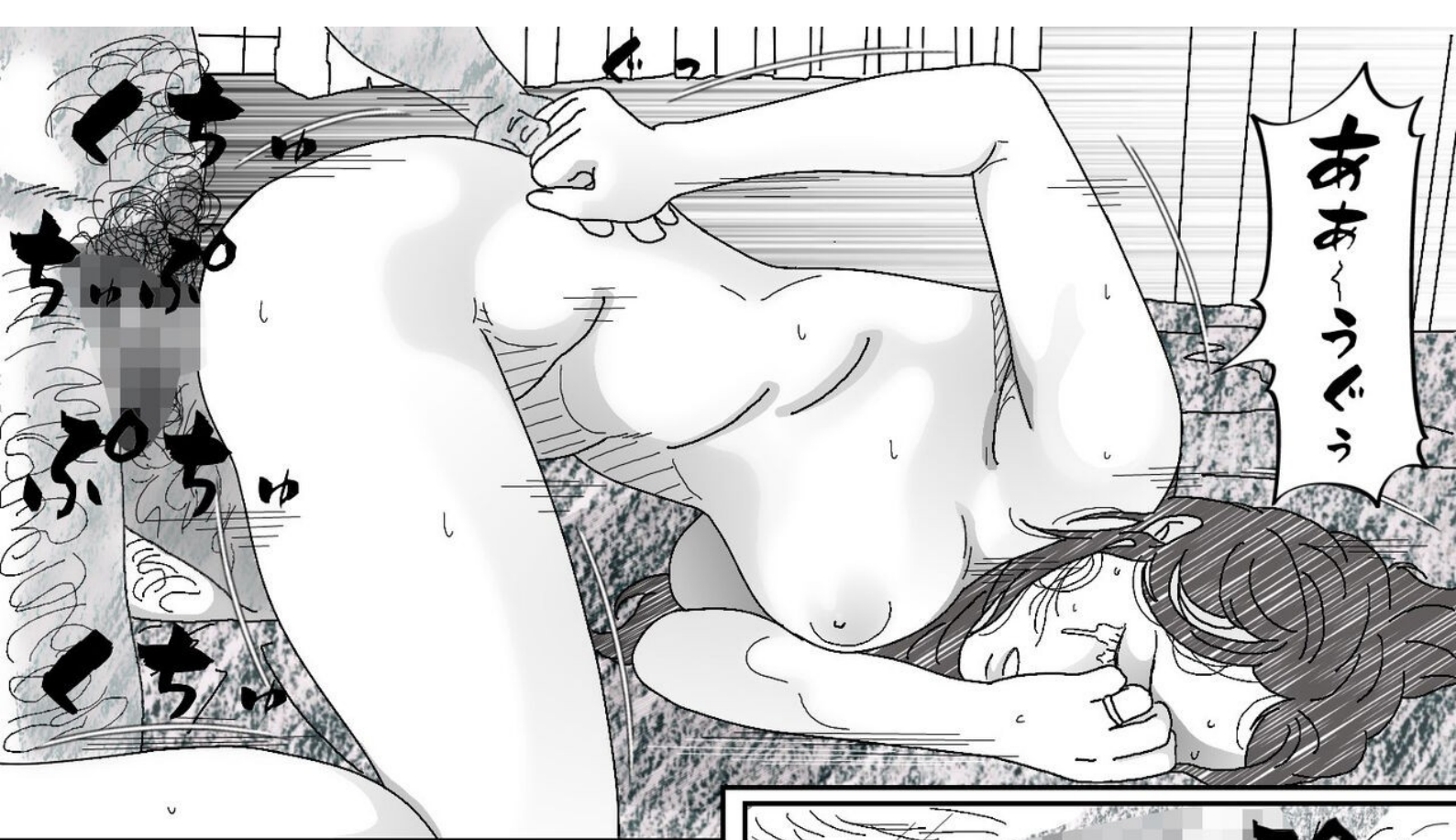
ん
ふう



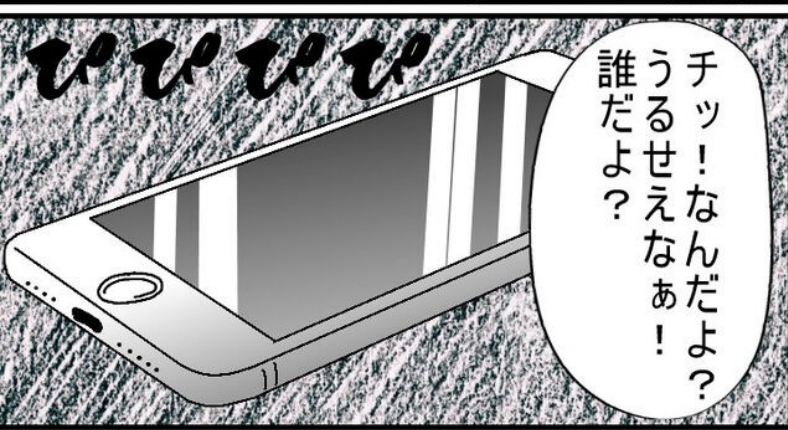
ん

ん





あーっ



チツ！なんだよ？
うるせえなあ！
誰だよ？



だあ



なんだお前か。
どうした？あつ？
後回しで良いんだよ
そんな事あ！

話つけて
来いよ。

あ

だから、それは
後で良いつつって
んだらうが！何回
言わせんだよ！

ばん

ばん

ん

あ、それとお前の
奥さんにお礼の酒
届けたからな。

ん

良いよ、別に
礼は……。

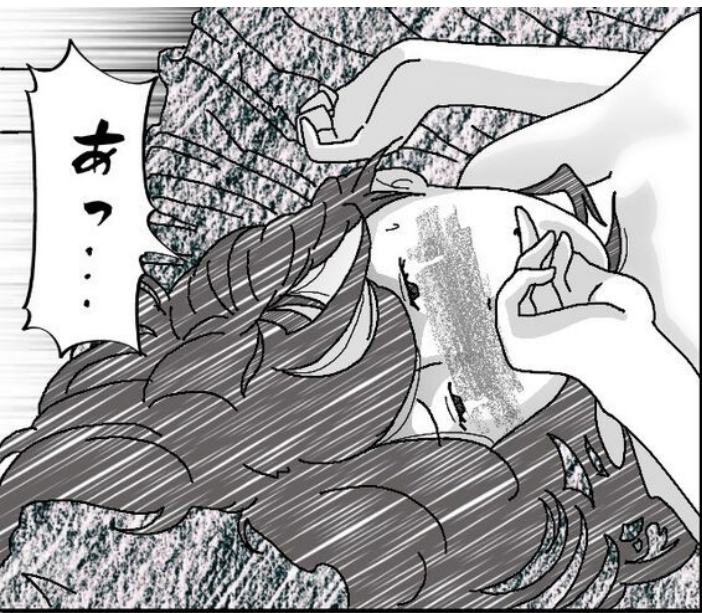
お前、奥さん寂し
がってたぞ？毎晩
飲みに行ってお前
帰り遅いから。

仕事だつつつ
ても女は別な
んだよ。
だから喜ばして
やれよ？

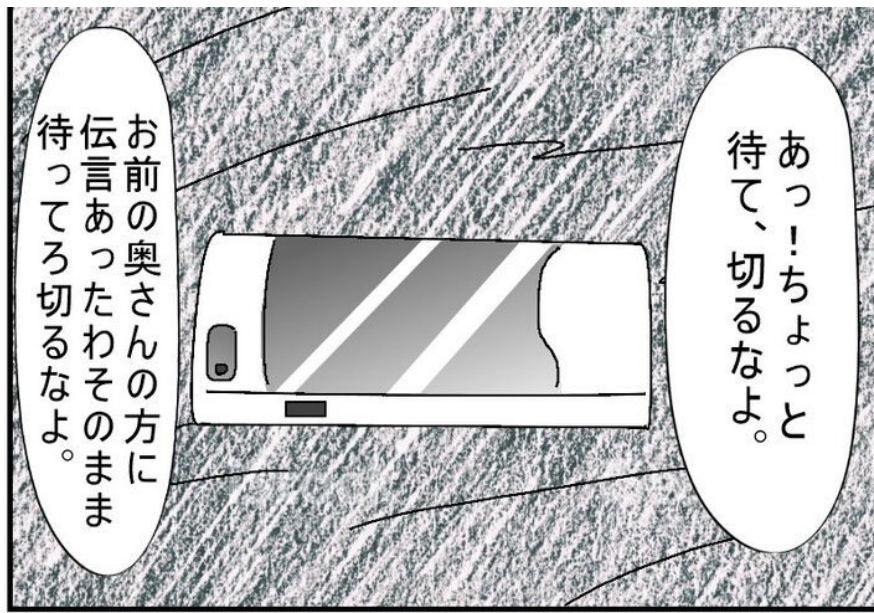
それは、俺に任して
おけ、後で連絡して
おくから俺が。

ばん
ばん
ばん
ばん
ばん

……っ！

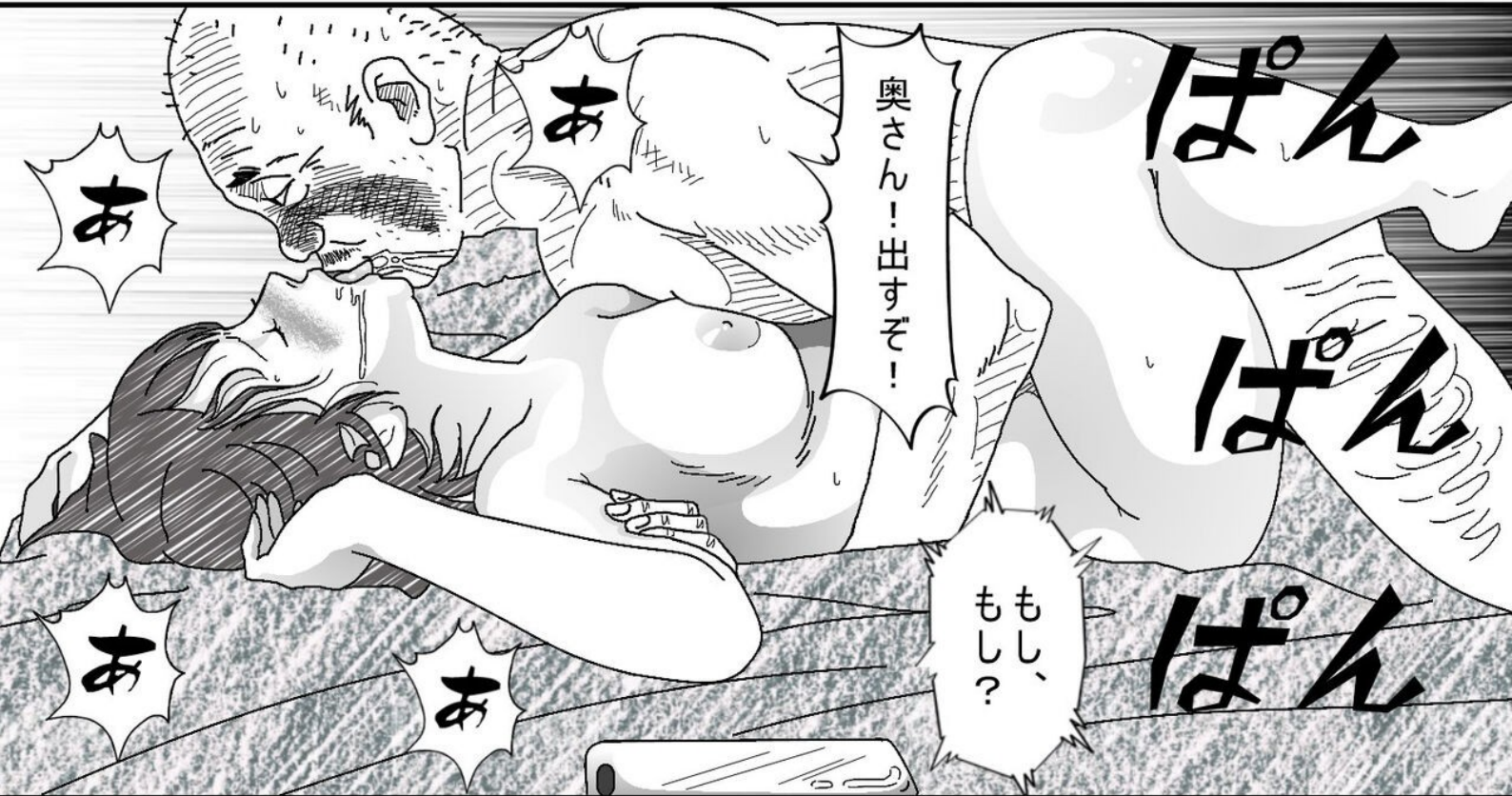


あっ...



お前の奥さんの方に
伝言あったわそのまま
待ってろ切るなよ。

あっ！ちよっと
待て、切るなよ。



あ

あ

あ

奥さん！出すぞ！

もし、
もし？

ぱん

ぱん

ぱん



ん

ん

...あっ！
聞こえちゃう。

ん

部長？

ぱん

ぱん

ぱん

この日、私の勤めている朝から晩までの間、
妻の身体は上司の玩具にされていた……………。


大きなおっぱいを気に入られて
一日中揉んだり、吸ったりして
遊んでいたそうだ……………。
一年後に妻がそう、教えてくれた。

おわり

次回です。

ありがとうございました。





疲れたニャン！